

令和5年度沖縄振興特別推進市町村交付金事業 成果一覧

令和7年3月

那覇市	1	嘉手納町	74
宜野湾市	14	北谷町	76
石垣市	19	北中城村	78
浦添市	23	中城村	81
名護市	26	西原町	85
糸満市	30	与那原町	88
沖縄市	34	南風原町	91
豊見城市	38	渡嘉敷村	97
うるま市	41	座間味村	100
宮古島市	48	粟国村	101
南城市	50	渡名喜村	103
国頭村	53	南大東村	104
大宜味村	55	北大東村	105
東村	56	伊平屋村	107
今帰仁村	57	伊是名村	109
本部町	59	久米島町	111
恩納村	61	八重瀬町	115
宜野座村	64	多良間村	118
金武町	67	竹富町	121
伊江村	69	与那国町	122
読谷村	72		

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1	1	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業	H25 ～ R13	外国人観光客への利便性確保を図るため、外国語対応可能なスタッフを配置している観光案内所の運営を支援する。	・外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(満足度80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか: 満足度100%	◎
01 那覇市	1	2	めんそーれ観光充実事業	H28 ～ R13	観光地としてふさわしい景観等を確保するため、国際通りを中心に迷惑行為の指導、是正要請等を行う。	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導回数及び車両の違法駐車への指導回数 看板: 月平均510回以内 車両: 月平均200回以内	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導回数及び車両の違法駐車への指導回数 看板: 481件 車両: 109件	○
01 那覇市	1	3	那覇三大祭り関連事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、那覇市の三大祭りである「那覇ハーリー」「那覇大綱挽」「琉球王朝祭り首里」の開催支援等を行う。	・「那覇ハーリー」来場者数: 194,000人 ・「那覇大綱挽」来場者数: 272,000人 ・「琉球王朝祭り首里」来場者数: 48,600人	・「那覇ハーリー」来場者数: 173,000人 ・「那覇大綱挽」来場者数: 275,000人 ・「琉球王朝祭り首里」来場者数: 40,000人	○
01 那覇市	1	4	観光入込統計調査事業	H28 ～ R13	本市における国内観光客の旅行行動、観光消費額等を把握し、その結果を観光施策の企画・立案及び成果検証に活用するため、WEBによるアンケート調査を実施する。	・WEBアンケート調査における回収件数600件以上	・WEBアンケート調査における回収件数900件	◎
01 那覇市	1	5	プロ野球キャンプ等支援事業	H24 ～ R13	読売巨人軍春季那覇キャンプ及びプロ野球公式戦を実施することで、観光誘客を図る。	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 84,000人 ・プロ野球公式戦 1試合入場者数: 14,000人	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 99,942人 ・プロ野球公式戦 1試合入場者数: 9,418人	○
01 那覇市	1	6	那覇まちまーい推進事業	H24 ～ R13	観光客の誘客を図るため、地元ガイドと那覇市内の観光地を巡る「那覇まちまーい」の支援を行う。	参加者数 5,280人	参加者数 1,244人	未
01 那覇市	1	7	外国人観光客受入整備事業	H26 ～ R13	外国人観光客の受入体制の整備を図るため、那覇クルーズ促進連絡協議会の活動支援を行う	クルーズ乗船客数: 188,000人	クルーズ乗船客数: 348,880人	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1	8	観光イベント等映像発信事業	H24 ～ R13	市内観光地への観光誘客を促進するため、移動式車載大型ビジョンを活用して、観光客向けに那覇市の観光情報を発信する。	年間稼働数:54回	年間稼働数:39回	○
01 那覇市	1	9	沖縄国際映画祭関連事業	H28 ～ R13	観光客の誘客を図るため、沖縄映画祭開催に係る運営費の一部を実行委員会に補助する。	国際通りレッドカーペット観客数 92,000人	国際通りレッドカーペット観客数 17,000人	未
01 那覇市	1	10	国際通りトランジットマイル推進事業	H24 ～ R13	観光客・地元客の誘客を図るため、那覇市国際通り商店街振興組合連合会が実施するトランジットモールの取組を支援する。	歩行者通行量(1日) 11,200人	歩行者通行量(1日) 24,202人	◎
01 那覇市	1	11	一万人のエイサー踊り隊推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、観光資源である「一万人のエイサー踊り隊」の開催支援等を行う。	来場者数:90,800人	開催中止	未
01 那覇市	1	12	第一牧志公設市場再整備推進事業	H26 ～ R5	那覇市の観光振興に寄与する拠点施設である第一牧志公設市場を再整備することで、第一牧志公設市場を含めた中心市街地の賑わいの維持及び観光客の誘客を図る。 令和5年度は、再整備に伴い撤去されたアーケードの再整備補助を実施する。	アーケード再整備補助の実施		繰
01 那覇市	1	13	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	H24 ～ R13	市内観光地への観光誘客を促進するため、観光拠点である国際通りにおいて、大型ビジョンを活用して那覇市の観光PR映像、ARコンテンツ、イベント中継等の観光情報を発信する。	月平均視聴者数:16,167人 ※視聴者測定システムで測定	月平均視聴者数:31,067人	◎
01 那覇市	1	14	マチグワー総合案内所事業	H26 ～ R13	観光客の利便性の確保を図るため、中心商店街(マチグワー)に、案内所を設置する。	①利用者数:14,000人 ②利用者満足度:80%以上	①利用者数:17,263人 ②利用者満足度:97%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1 15	歴史博物館企画展事業	H24 ～ R13	地域の歴史・文化を学べる機会を増やすため、歴史博物館において、沖縄の歴史・文化に特化した企画展を開催する。	来館者数 9,150人	来館者数 9,021人	○
01 那覇市	1 16	第2次那覇市観光基本計画策定事業	R5 ～ R6	令和6年度中の第2次那覇市観光基本計画策定に向け、基礎調査を行い、計画の将来像、骨子案を作成する。	第2次那覇市観光基本計画の骨子案を策定する。	第2次那覇市観光基本計画の骨子案を策定した。	◎
01 那覇市	1 17	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業	H25 ～ R13	観光誘客を図るため、観光資源である首里城祭「琉球王朝絵巻行列」の開催支援等を行う。	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」来場者数:33,400人	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」来場者数:30,000人	○
01 那覇市	1 18	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24 ～ R13	読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等を設置することにより、キャンプ会場を訪れる観光誘客を図る。	・読売巨人軍那覇キャンプ 延べ見学者数 84,000人	・読売巨人軍那覇キャンプ 延べ見学者数 99,942人	◎
01 那覇市	1 19	リュウキュウマツ害虫対策事業	H24 ～ R13	県木であり観光資源であるリュウキュウマツの松枯れ予防対策として薬剤注入等を行い、景観の保護を図る。	R7年度の松枯れ予防達成率90%以上	R7年度の松枯れ予防達成率100%	◎
01 那覇市	1 20	花いっぱい運動推進事業	H24 ～ R13	観光都市として魅力的な景観を創出するため、観光ルート沿線を対象に草花苗の配布や公園花壇への花卉植栽を行うとともに、亜熱帯特有の樹木を活かした都市公園の環境整備や情報発信の向上を図る。	・立体花壇等の設置完了 ・亜熱帯樹木活用のための計画作成完了	・立体花壇等の設置完了 ・亜熱帯樹木活用のための計画作成完了	◎
01 那覇市	1 21	歴史散歩道整備事業	H24 ～ R5	観光客が那覇の歴史を感じて歩くことができるようにするため、歴史散歩道を整備する。	本事業により、整備を行った歴史散歩道について、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができたか(80%以上)を検証する。		繰
01 那覇市	1 22	亜熱帯庭園都市の道路美化事業	H24 ～ R13	幹線市道や観光地周辺市道の美化(剪定・除草・植栽整備等)を推進し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。	本事業(剪定・除草・植栽整備等)による道路美化の対象路線について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	本事業(剪定・除草・植栽整備等)による道路美化の対象路線について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか:62.5%	未

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1 23	都市景観資源形成促進事業	R5 ～ R13	那覇らしい個性豊かな景観まちづくりを推進するために景観資源の維持保全費用の補助及び銘板設置を行う。	・補助金の交付 3件 ・銘板設置 5件	・補助金の交付 3件 ・銘板設置 5件	◎
01 那覇市	1 24	早朝・夜間の活動時間創出支援事業	R4 ～ R6	本県は、国内有数のクルーズ船寄港地であり、本市は、県内旅行の拠点として利便性の高い国際通りエリアが所在するが、時間の限られた観光客等に対する観光コンテンツの開発等に課題があるため、早朝・夜間の活動時間創出に繋がる市内事業者等の事業立ち上げに係る取り組みを支援し、継続的な事業実施を目指す。	R6年度以降も継続して事業実施することが見込まれる事業に対する支援件数:3件	R6年度以降も継続して事業実施することが見込まれる事業に対する支援件数:5件	◎
01 那覇市	1 25	那覇市営奥武山体育施設照明設備及びスコアボードLED化整備事業	R4 ～ R5	照明設備のLED化により、省エネ化を図るとともに、スコアボードフルLED化により、イベント開催のための機能強化を行い利用者増を図る。	照明設備LED化及びスコアボードフルLED化整備工事の完了	照明設備LED化及びスコアボードフルLED化整備工事の完了	◎
01 那覇市	1 26	那覇市スポーツコンベンション推進事業	R4 ～ R6	漫湖公園市民庭球場の人工芝コート整備及び照明設備のLED化を行い、スポーツコンベンション誘致施設としての魅力・利便性の向上を図る。	人工芝コートの張替え及び、照明設備のLED化整備工事の実施 観客席への日除け設置に係る用途許可申請手続きの実施	人工芝コートの張替え及び、照明設備のLED化整備工事の実施完了 観客席への日除け設置に係る用途許可申請手続きの実施完了	◎
01 那覇市	1 27	NAHAマラソン大会推進事業	R5 ～ R7	安全・安心かつ円滑な大会運営を行い、NAHAマラソン大会を継続して実施できるよう開催支援等を行う。	参加申込者数:21,000人	参加申込者数:21,144人	◎
01 那覇市	2 1	市魚マグロ等水産物流支援事業	H24 ～ R13	「那覇市の魚(市魚) マグロ」の消費促進を図るため、漁業組合等のイベントへ助成を行うとともに、民間企業及び組合等への業務委託をし、PR活動を実施する。	・市内世帯のマグロの年間支出金額の維持:5,148円以上 ・学生等若者向けの水産教室等マグロPR事業の参加者:107人 ・アンケートを実施し、その結果「マグロが市魚であることを知っているか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	・市内世帯のマグロの年間支出金額の維持:4,874円 ・学生等若者向けの水産教室等マグロPR事業の参加者:116人 ・アンケートを実施し、その結果「マグロが市魚であることを知っているか:61.8%	△

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
01 那覇市	2	2	漁船近代化機械設置事業	H24 ～ R13	漁業者数の維持を図るため、漁船の近代化機械等の整備を支援する。	漁業者数 197名	漁業者数 246名	◎
01 那覇市	2	3	水産物利活用調査事業	R4 ～ R5	マグロの胃袋等の現状では廃棄されている未利用部位を活用するための加工方法を調査し、得られた調査結果を広く漁業者へ周知することで所得向上を図ることを目的とする。	漁業者への活用事例の提供:3件	漁業者への活用事例の提供:4件	◎
01 那覇市	2	4	泊漁港将来像構想策定事業	R5 ～ R5	本市の水産業の中心地である泊漁港において、施設利用等の実態調査及び水産関係団体等のヒアリングをもとに、泊漁港の将来像構想を策定するための基礎調査を実施し、本市水産業を発展に繋げることを目的とする。	泊漁港将来像構想策定のための基礎調査の完了	泊漁港将来像構想策定のための基礎調査の完了	◎
01 那覇市	3	1	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	H24 ～ R13	市内中小企業事業者が開発もしくは代理店等として取り扱っている商品やサービスの販路拡大を目的として、商談会等へ出展する際の経費の一部を補助する。また、海外販路開拓に向けてセミナーを開催し、フォローアップを行う等実践的な支援を行う。	■商談成約率(商談成約件数/商談件数)が10%以上 ■セミナー等参加者へのアンケート調査を実施し、「販路拡大に役立った」旨の回答割合を80%以上 ■個別相談支援事業者のうち、実際に販路拡大に取り組んだ割合30%以上	■商談成約率(商談成約件数/商談件数) 3.8% ■セミナー等参加者へのアンケート調査を実施し、「販路拡大に役立った」旨の回答割合 100% ■個別相談支援事業者のうち、実際に販路拡大に取り組んだ割合 100%	○
01 那覇市	3	2	なはし創業・就職サポートセンター	H24 ～ R13	ビジネスアイデアやプランを持つ市民への効率的かつ効果的な創業支援や若年者から高齢者までのニーズに合った就職支援を行うことにより、民間活力を高め、産業の新陳代謝を進めるとともに、雇用のミスマッチや企業の人手不足等の改善を進めることで、本市の持つ成長可能性を着実な経済発展につなげ、市民所得の向上を図ることを目的とする。	・創業者7人以上 ・利用者のうち、就職した人数の割合5%以上	・創業者 16人 ・利用者のうち、就職した人数の割合 4.04%	○
01 那覇市	3	3	頑張るマチグワー支援事業	H25 ～ R13	観光客及び地元客の誘客を図るため、商店街等が行う事業を支援する。	中心商店街の平日歩行者通行量 106,000人	中心商店街の平日歩行者通行量 92,154人	○

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
01 那覇市	3	4	企業誘致活動サポート事業	H24 ～ R13	本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致活動を実施する。	①誘致企業:3社 ②ビジネスマッチング参加企業:30社	①誘致企業:0社 ②ビジネスマッチング参加企業:31社	△
01 那覇市	3	5	市内企業経営基盤強化事業	H27 ～ R13	市内中小企業の経営基盤の強化を図るため、各種セミナー等の実施、企業の実情に合った制度導入のための専門家派遣を行う。	セミナーに参加した事業者や専門家派遣による支援を受けた事業者に対するアンケート調査等を実施し、「経営基盤の強化に役立った」旨の回答割合80%以上	セミナーに参加した事業者や専門家派遣による支援を受けた事業者に対するアンケート調査等を実施し、「経営基盤の強化に役立った」旨の回答割合 95%	◎
01 那覇市	3	6	なは産業支援センター育成支援事業	H28 ～ R13	情報通信産業をはじめ、国際物流産業、観光関連産業等(沖縄振興特別措置法や沖縄21世紀ビジョン基本計画に規定する戦略的成長産業分野)の振興発展と那覇市経済の活性化に寄与するため、なは産業支援センターに入居する企業及び市内関連企業等を対象として育成支援のための事業を実施する。	対象となる事業者に対するアンケート調査等を実施し、支援を受けたことで、企業経営に役立ったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業の在り方について検討する。	対象となる事業者に対するアンケート調査等を実施し、支援を受けたことで、企業経営に役立ったか:88.9%	◎
01 那覇市	3	7	企業立地促進事業	H28 ～ R13	那覇市における雇用拡大と産業の振興を目的に、市内に事務所等を設置し、一定数・一定期間以上、市民の新規常用雇用を行った企業からの申請に基づき、事業内容、雇用効果、産業振興への効果を総合的に検討し、助成金を交付する。	・新規常用雇用者数:21名 ・新規企業立地社(申請者):3社	・新規常用雇用者数:5名 ・新規企業立地社(申請者):3社	△
01 那覇市	3	8	新商品開発支援事業	H29 ～ R13	那覇市の観光・地域資源を活用した商品の販売や売上の促進を図るため、新たな特産品、土産品の企画・開発を支援する。	・新商品開発については、実施年度、新商品の企画開発・テストマーケティングの実施。 ・セミナーについて、参加者へのアンケート調査を実施し、「商品開発等に役立った」旨の回答割合を80%以上。	・新商品開発については、実施年度、新商品の企画開発・テストマーケティングの実施 24件 ・セミナーについて、参加者へのアンケート調査を実施し、「商品開発等に役立った」旨の回答割合 92.5%	◎
01 那覇市	3	9	小中学生キャリア教育支援	R2 ～ R13	若年層の早期からの職業意識の醸成ならびに職業観及びキャリアデザインの形成を目的に、市内の小中学生を対象に、那覇市で活躍する中小企業の職業人の講話や企業見学・体験を実施する。	職業観や就業意識の上昇(80%以上)など、アンケート調査を通じて事業の成果や今後のあり方について検証する。	職業観や就業意識の上昇 90%以上	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
01 那覇市	3 10	那覇市IT人材育成支援事業	R3 ～ R13	次世代を担う市内の小中学生を対象にプログラミング講座及びプログラミングコンテスト(小学生対象)を開催し、情報技術に関する興味を抱き、論理的思考を身につけ、かつ日常生活が情報技術を活用した産業で支えられていることに気付くことで、将来のIT人材の育成やキャリア形成に役立てる。	知識習得度や情報技術への興味関心や就業意識の上昇(80%以上)を成果目標とする。	知識習得度や情報技術への興味関心や就業意識の上昇 90%	◎
01 那覇市	3 11	市内事業者事業刷新支援事業	R3 ～ R5	地域の事業者が事業活動を継続するため新たな分野への業態変化や、新事業への転換などにかかる経費の一部を補助する。	補助実績15事業者以上	補助実績 12事業者	○
01 那覇市	3 12	高度IT人材育成研修等補助事業	R4 ～ R13	市内の情報通信関連事業者が行う従業員の人材育成研修等に係る費用の一部を補助する。	補助実績10件以上	補助実績 7件	○
01 那覇市	3 13	那覇市長選定・販売促進事業	H24 ～ R13	那覇市長賞商品の募集・審査・選定を行う。市長賞を受賞した商品等を知ってもらい、売上増加に繋げるため、様々な媒体を活用した情報発信等を行う。	・市長賞申込件数:17件以上 ・受賞商品の販売実績(金額)前年比10%増	・市長賞申込件数:24件 ・受賞商品の販売実績(金額):8商品中5商品が10%増	○
01 那覇市	3 14	那覇MICE受入推進事業	R4 ～ R6	那覇市のMICE受入体制構築、誘致促進に繋げるため、MICEに関する取り組みを整理し、MICE振興戦略(案)を作成する。	・那覇MICE受入実証モニター事業の実施 ・MICE振興戦略(案)の作成	・那覇MICE受入実証モニター事業 実施 ・MICE振興戦略(案) 作成	◎
01 那覇市	3 15	那覇市産業DX促進支援事業	R5 ～ R5	市内事業者に対するアンケート調査や意向調査を実施し、DX推進に必要な取組等を整理の上、支援策のマトリクスを作成する。具体的な支援策案についての市内事業者向け報告会後に本市における支援策を決定し、モデル事業者の募集・支援策実施を行う。	・市内事業者の2/3以上(約12,000社以上)にアンケート調査を案内する。 ・分析結果から1業種以上を選定し、モデル事業としてDX支援を行い、取り組み内容を公表する。	・市内事業者の11,400社にアンケート調査を案内した。 ・分析結果から2業種を選定し、モデル事業としてDX支援を行い、取り組み内容を公表した。	○

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
01 那覇市	3 16	那覇市進出可能産業調査事業	R5 ～ R5	那覇市軍港跡地を本市の産業振興のために有効活用することを目的に調査事業を行う。	・那覇市での事業可能性のあるアイテムの発掘を実施する。 ・事業化に向けた課題の抽出を実施し、本市関係部署との共有を行う。 ・調査実施により進出可能な産業・業種について2つ以上候補を提示する。	・那覇市での事業可能性のあるアイテムの発掘を実施した。 ・事業化に向けた課題の抽出を実施し、本市関係部署との共有を行った。 ・調査実施により進出可能な産業・業種について2つの候補を提示した。	◎
01 那覇市	3 17	那覇市内事業者実態調査事業	R5 ～ R5	島嶼県の沖縄県では本市を含め、市のリーディング産業である観光業を中心に経営基盤が弱い事業者が多く、また、県民所得が全国一低い等の課題があり、特に新型コロナウイルス等の危機に対して強い経済の構築が必要である。 そのため、本市独自の経済状況の調査・分析を行い、市の経済政策へ反映させることで、危機に強い本市経済の構築を図る。	本市に求められる施策の分析をし、政策提言を2つ以上含む報告書を作成する。	本市に求められる施策の分析をし、政策提言を6つ含む報告書を作成した。	◎
01 那覇市	5 1	那覇市健康ウォーキング推進事業	H26 ～ R13	ウォーキングを通した市民の健康づくりの推進に向けて、健康ウォーキング大会やウォーキング講座等を開催する。	・健康ウォーキング大会 参加者 4,000人以上 満足度 90% (参加者アンケート) ・ウォーキング講座 受講後も継続して歩く割合 80%(受講者アンケート)	・健康ウォーキング大会 参加者 3,228 満足度 96.0% (参加者アンケート) ・ウォーキング講座 受講後も継続して歩く割合 98.5%(受講者アンケート)	○
01 那覇市	5 2	小中学校歯科保健予防事業	R4 ～ R13	学校歯科保健活動の活性化及び児童生徒の健康についての知識の醸成を図るために、小中学校において児童生徒の発達段階に応じたむし歯予防を推進するとともに、効果的なむし歯予防対策であるフッ化物洗口を実施する。	① 研修会後のアンケート結果 ・むし歯予防に関して概ね理解できたとする割合 80%以上 ② 実施校に対するアンケート結果 ・児童生徒のむし歯予防に対する意識が向上したと回答する学校 3校以上 ・令和6年度も継続実施を希望する学校 6校 ③ 未実施校に対するアンケート結果 ・令和6年度に実施を希望する学校 22校以上(小中学校53校中)	① 研修会後のアンケート結果 未実施 ② 実施校に対するアンケート結果 ・児童生徒のむし歯予防に対する意識が向上したと回答する学校 6校 ・令和6年度も継続実施を希望する学校 1校 ③ 未実施校に対するアンケート結果 ・令和6年度に実施を希望する学校 0校	△
01 那覇市	6 1	基礎学力向上のための学習支援事業	H24 ～ R13	学力向上と学校教育環境の充実を図るために、小中学校への学習支援員の配置及び申請のある小中学校への学習支援ボランティアの派遣を行う。中学校において採点システムを利用する。	①小学校算数(3年) 沖縄県学力定着状況調査の正答率の県平均との差 +1.5ポイント ②中学校数学(1年) 沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 +3.0ポイント	①小学校算数(3年) 沖縄県学力定着状況調査の正答率の県平均との差 +3.7ポイント ②中学校数学(1年) 沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 +4.0ポイント	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
01 那覇市	6 2	英語指導員配置事業	H24 ～ R13	多様性や国際性を身に着け、英語で適切に対応できるコミュニケーション能力の育成を図るため、市立の小学校及び中学校に英語指導員を配置し、長期的な英語指導を行う。	①小学校 英語に対する興味・関心が高まった児童割合 80%以上(アンケート調査実施) ②中学校 (中学2年生対象)沖縄県学力到達度調査の正答 率の県平均との差 +3.5ポイント	①小学校 英語に対する興味・関心が高まった児童割合 84.6%(アンケート調査実施) ②中学校 (中学2年生対象)沖縄県学力到達度調査の正答 率の県平均との差 +3.5ポイント	◎
01 那覇市	6 3	特別支援教育充実事業(小・中学校)	H24 ～ R13	特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育補助員の配置や特別支援教育相談員及び特別支援教育指導コーディネーターの派遣を行う。	・対象児童生徒の保護者へアンケート実施 ・特別支援教育補助員の対応への満足度(80%以上)	・対象児童生徒の保護者へアンケート実施 ・特別支援教育補助員の対応への満足度 84.6%	◎
01 那覇市	6 4	特別支援教育充実事業(認定こども園)	H24 ～ R13	特別な支援を要する園児に対応した支援等を行うことで、園児の園生活の困難の改善を図る。	特別支援教育ヘルパー対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる園児の保護者へのアンケート調査により、事業の成果を検証する。	特別支援教育ヘルパー対応への満足度 93%	◎
01 那覇市	6 5	不登校対策等支援事業	H24 ～ R13	不登校の改善を図るため、不登校など課題のある児童生徒に対応した支援(学習支援室、相談室、自立支援教室)を行う。	相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校20.0% 中学校17.0%	相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校15.1% 中学校21.4%	△
01 那覇市	6 6	教育相談支援員・生徒サポーター配置事業	H24 ～ R13	不登校の改善を図るため、学校内の相談室等において不登校傾向にある児童生徒の相談・支援等を行う。	相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校20.0% 中学校17.0%	相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校15.1% 中学校21.4%	△
01 那覇市	6 7	青少年旗頭事業	H24 ～ R13	児童生徒の居場所や出番、地域との絆を作るとともに、伝統文化の保存継承を図るため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を実施する。	「やる気・元気旗頭フェスタinなは」に参加した児童生徒数:888人	「やる気・元気旗頭フェスタinなは」に参加した児童生徒数:774人	○
01 那覇市	6 8	街頭指導(かいとうPolaris)事業	H24 ～ R13	青少年の非行の未然防止と早期発見・早期対応のため、専任指導員(6人)及び青少年指導員を学校外に配置し、巡回指導等を行う。	19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合 1.5%	19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合 1.03%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
01 那覇市	6	9	児童生徒のスポーツ県外派遣補助金	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答(80%以上)を含め、派遣された児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	児童生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答 100%	◎
01 那覇市	6	10	児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣)	H24 ～ R13	児童生徒の自立や意欲向上、能力の育成を図るために、児童生徒の積極的な参加を奨励し県外大会への派遣旅費を補助する。	児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答(90%以上)派遣後に保護者へのアンケート実施	児童生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答 97.8%	◎
01 那覇市	6	11	自然教室実施事業	H24 ～ R13	児童の社会性を育み豊かな人材の育成を図るために、市立の小学校5年生を対象に、沖縄独自の自然の中で様々な体験活動を実施する。	自然教室を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したと評価する学校の割合 88%以上	自然教室を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したと評価する学校の割合 96.7%	◎
01 那覇市	6	12	学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)	H24 ～ R8	小中学校校舎等の塩害を防止し長寿命化を図るため、校舎等外壁面の塗装工事を行う。	学校長及び教育委員会による点検を実施する。 ・外壁等の剥離件数:0件 ・外壁の亀裂等件数:0件	学校長及び教育委員会による点検を実施する。 ・外壁等の剥離件数:0件 ・外壁の亀裂等件数:0件	◎
01 那覇市	6	13	発達支援強化事業(乳幼児期)	H27 ～ R8	乳幼児の健やかな発達を保証し、就学後の学校生活での不適応行動を少なくするために、発達の気になる乳幼児及び子どもとのかかわり方に不安を抱く保護者等を早期に把握し支援を行う。	①アンケート調査により発達相談及び親子教室後の保護者等の満足度(80%以上) ②乳幼児健診や育児教室等における支援を必要とする児及び保護者の早期把握の数(健診会場保育観察から地区保健師につながった人数:年間120人以上)	①アンケート調査により発達相談及び親子教室後の保護者等の満足度 95% ②乳幼児健診や育児教室等における支援を必要とする児及び保護者の早期把握の数(健診会場保育観察から地区保健師につながった人数:年間323人)	◎
01 那覇市	6	14	認可外保育施設的环境整備事業	H24 ～ R13	認可外保育施設の衛生環境の向上を図ることを目的とし、保育室や調理室等必要箇所に衛生消毒及び害虫駆除等を実施するため専門業者へ委託を行う。	環境整備事業への申請施設数: 49施設(100%)	環境整備事業への申請施設数: 35施設(71.4%)	○
01 那覇市	6	15	夜間認可外保育施設安全対策事業	R5 ～ R13	夜間認可外保育施設における児童の安全対策及び保育の質の向上を目的に、児童の睡眠中の事故防止対策を実施するため夜間に保育士を配置した施設に対し、その雇用に要する費用の一部を補助する。	夜間保育時間中の保育士配置施設:3園	夜間保育時間中の保育士配置施設:1園	未

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
01 那覇市	6 16	保育士負担軽減等加配事業	R4 ～ R9	保育士の離職防止及び雇用環境の改善を図ることにより、保育士を確保し、待機児童を解消することを目的に、待機児童の多い1歳児クラスについて、国の職員配置基準を超えて配置する保育士1人分の人件費を保育施設へ補助する。	那覇市内私立認可保育施設等の平均離職率：12.6%	那覇市内私立認可保育施設等の平均離職率：14.9%	◎
01 那覇市	6 17	学校ICT支援員配置事業	R4 ～ R9	小中学校にICT支援員を派遣し、教員がICT機器を授業等で活用できるようサポートを行い、教員のICT活用指導力の向上を図る。	(1)アンケートを実施し、教員満足度を75%以上とする (2) 各種業務履行上の改善提案件数を月に1件以上とする	(1)アンケートを実施し、教員満足度 94.6% (2) 各種業務履行上の改善提案件数 1.7件/月	◎
01 那覇市	6 18	共生・多様性社会実現事業	R4 ～ R8	生涯学習施設や福祉施設等を機能集約し、多様な市民が施設の利用を通してつながることで、失われている地域のつながりを復活・再生させ、多様で複雑な課題に地域で対応できる社会を形成する。	・事業契約の締結 ・地域事業説明会の完了		繰
01 那覇市	6 19	こどもの学習意欲を高めるためのICT環境整備事業	R5 ～ R7	市内小学校の普通教室に液晶型電子黒板などのICT機器を整備し、児童の情報端末との連携を強化することで、主体的かつ協働的な教育活動を展開し、学習意欲の向上を図り、学力向上につなげていく。	・ICT機器を活用した授業が学習意欲を高めるのに効果があったとする児童の回答割合：85% (小学校平均) 以上 ・ ICT機器を活用した授業が児童の学習の理解(知識・技能)を高めるのに効果があったとする教員の回答割合：85%(小学校平均) 以上	未検証	未
01 那覇市	7 1	なは青年祭補助事業	H29 ～ R13	地域における伝統芸能の保存継承や新たな文化活動の創出を図るため、青年団体等が日頃の活動の成果を披露する「なは青年祭」の開催を支援する。	「なは青年祭」への参加数 ・演舞団体数：21団体 ・演舞者数：280人	「なは青年祭」への参加数 ・演舞団体数：11団体 ・演舞者数：220人	未
01 那覇市	7 2	文化芸術拠点施設整備事業(壺屋焼物博物館展示室環境整備)	R4 ～ R5	ポストコロナにおける外国人観光客を含む多様な観覧者への発信を強化するために、音声・映像等を活用した解説環境を整備する。R5年度は音声ガイドを製作する。	音声ガイドの製作完了	音声ガイドの製作完了	◎
01 那覇市	7 3	市民文化支援事業	H24 ～ R13	那覇市の市指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能団体の活動を支援することで、民俗芸能の保存継承を図ることを目的とする。	市民文化支援事業の対象となる、市内の民俗芸能団体12団体の保存継承	市民文化支援事業の対象となる、市内の民俗芸能団体12団体の保存継承	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
01 那覇市	7	4	子どもが輝くまちづくり事業	H24 ～ R13	子どもたちの文化芸術に対する興味や豊かな感性等を育むため、子どもたちの活動発表の場である「子どもフェスタinなは」の開催を支援する。	「子どもフェスタinなは」に参加した児童生徒数：730人	「子どもフェスタinなは」に参加した児童生徒数：435人	未
01 那覇市	7	5	文化芸術ふれあい事業	H24 ～ R13	那覇市の歴史や文化を再認識し、文化資産として普及・継承・発展させていくことを図るため、本市の指定無形民俗文化財等の地域に根付いた民俗芸能を一堂に披露する「地域文化芸能公演」を開催する。	地域文化芸能公演への来場者 1,070名以上	地域文化芸能公演への来場者 813名	○
01 那覇市	7	6	尚家文書公開・刊行事業	R5 ～ R13	国宝であり、沖縄・那覇において形成された独自の文化の記録として第一級の資料である尚家文書の内容を一般に公開することにより、沖縄の伝統文化の保全・継承を図る。	中城御殿について記された3点中2点の翻刻を行い、一般に公開する。	中城御殿について記された3点中2点の翻刻を行い、一般に公開する。	◎
01 那覇市	8	1	ボランティア振興事業	H27 ～ R13	ボランティア活動を促すため、ボランティアを養成するとともに、ボランティア活動のコーディネート等を行う。	①ボランティア登録者数(新規) 150人 ②ボランティアのマッチング件数 250件	①ボランティア登録者数(新規) 293人 ②ボランティアのマッチング件数 271件	◎
01 那覇市	8	2	ふれあいのまちづくり事業	H27 ～ R13	生活課題を抱える、障がい者や高齢者、生活困窮者等からの相談を受け、課題の解決を資するため、総合相談窓口を設置する。	対象となる相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検討する。	対象となる相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったか：96%	◎
01 那覇市	8	3	放課後まなび支援事業	R4 ～ R13	市内の低所得世帯の小学校4～6年生の児童に対し、国語、算数、理科、社会及び英語を学ぶ教育サービスを受けるための費用の一部を支援する。	支援を受けた児童へアンケート調査を実施し、児童の学力の向上50%以上、学習意欲の向上40%以上を目指す。	支援を受けた児童へアンケート調査を実施し、児童の学力の向上82%、学習意欲の向上53%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
01 那覇市	9 1	沖縄戦体験者証言記録映像制作事業	R4 ～ R5	戦争体験者の高齢化も進むなか、戦禍の記憶を風化させることなく、沖縄戦の実相や平和の尊さを次の世代へ継承していくことを目的に、沖縄戦体験者の証言を記録し、保存する。	体験者(2名)映像制作の完了	体験者(2名)映像制作の完了	◎
01 那覇市	9 2	那覇長崎平和交流事業	H25 ～ R13	平和について理解を深めるため、長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に生徒を派遣する等の事業を行う。	参加生徒の平和等に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、対象生徒及び保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	参加生徒の平和等に対する理解が深まったか:100%	◎
01 那覇市	11 1	救命講座普及啓発推進事業	H24 ～ R9	災害時等において市民及び観光客等の安全の確保を図るため、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	①応急手当講習受講者数:6000人以上 ②救命講習会の受講者へアンケートを実施し、応急手当に自信がある、できると思うが(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	①応急手当講習受講者数:2,876人 ②救命講習会の受講者へアンケートを実施し、応急手当に自信がある、できると思う:98%	○
01 那覇市	11 2	保安灯LED化推進事業	R4 ～ R13	二酸化炭素排出量を削減するため、既存保安灯を消費電力の少ないLED照明へ切り替える設置者(自治会等)に対して補助金を交付する。	二酸化炭素排出量の削減 28,428kg-CO2以上/年 削減	二酸化炭素排出量の削減 14,877kg-CO2以上/年 削減	未
01 那覇市	11 3	災害備蓄品整備事業	R5 ～ R7	大規模災害時等に備え、観光客の避難者を対象とした「最低3日間」分の食糧品及び資機材等の災害備蓄品の充足及び拡充に向け、令和5年度においては、整備予定数の概ね3分の1を整備する。	【目標到達率(備蓄率)】 (「最低3日間」比) ・R5 食糧品:95% 資機材:92%	【目標到達率(備蓄率)】 (「最低3日間」比) ・R5 食糧品:95% 資機材:92%	◎
01 那覇市	11 4	なは市民協働プラザ省エネ化推進事業	R5 ～ R6	なは市民協働プラザ(市民活動支援施設)の照明器具を二酸化炭素排出削減に効果のある省エネ型LED照明に切り替える。	・アスベスト調査の完了 ・設計業務の完了	・アスベスト調査の完了 ・設計業務の完了	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
01 那覇市	11	5	災害に強い塵芥収集運搬業務体制強化事業	R5 ～ R5	塵芥収集業務の確実な通信手段を確保することで、市民生活はもとより、観光業も含めた防災体制の強化を図り、安心・安全な観光まちづくりに寄与するため、天候や地形等に影響を受けやすいアナログ無線機をこれらに強いIP無線機に切り替える。	試用期間中に不通となる件数:0件	試用期間中に不通となる件数:0件	◎
02 宜野湾市	1	①	宜野湾西海岸エリア活性化事業	H24 ～ R13	沖縄西海岸の中心に位置するアクセス性の高い立地を生かして、各種イベントを開催し、観光産業の振興を図る。	・琉球海炎祭…来場者数1.75万人 ・はごろも祭り…来場者数16.8万人 ・産業まつり…来場者数2.8万人 ・海浜公園周辺宿泊施設宿泊者数 ⇒コロナ禍前の水準であるH30年度実績と同等数を目指値とする。 H30年度実績:279,874人 【目標値】:28万人	琉球海炎祭…1.18万人 はごろも祭り…9.5万人 産業まつり…4.2万人	○
02 宜野湾市	1	②	企画展開催事業	H24 ～ R13	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。	企画展1本あたりの平均入館者数:1,390人以上	企画展1本あたりの平均入館者数:1,345人	○
02 宜野湾市	1	③	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティー事業	H25 ～ R13	プロ野球のキャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信する。	キャンプ会場の装飾(花)に対する来場者の満足度 80%以上	キャンプ会場の装飾に対する来場者の満足度 72.8%	未
02 宜野湾市	1	④	宜野湾海浜公園施設等再編整備事業	H30 ～ R10	海浜という立地を活かした公園としての魅力の向上及び誘客の促進を図るため、文化スポーツ施設を中心に宜野湾海浜公園及びその周辺施設の整備を実施する。	再編整備工事(4期)(駐車場・照明灯整備)の完了	再編整備工事(駐車場・照明灯整備)完了	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	1 ⑤	嘉数高台公園等施設整備事業	H30 ～ R5	戦跡等もあり観光地としての側面もある嘉数高台公園において、来園者の利便性の向上を図るため、公園施設の整備を実施する。	再編整備工事(4期)(落下防止手摺等、展望台機能拡張)の完了		繰
02 宜野湾市	1 ⑥	ぎのわん美ら海クリーン活動支援事業	R3 ～ R13	宜野湾市の海は本島周辺地域でも有数のサンゴ礁が広がるきれいな海である。しかしその認知度が低いことから、サンゴの植樹、海の清掃活動を通じ広報活動を行う宜野湾まりん協会を支援することで、観光資源を保全しながら本市の新たな観光コンテンツの開発することを目的とする。	ダイビング・シュノーケリング客: 400人/年	ダイビング・シュノーケリング客:560人/年	◎
02 宜野湾市	2 ①	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24 ～ R13	スクールソーシャルワーカー(SSW)を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校や問題行動の未然防止、早期対応、改善に取り組む。	不登校や課題の改善に向けて変容が見られた割合、前年度実績(56%)以上	不登校や課題の改善に向けて変容が見られた割合、36%	未
02 宜野湾市	2 ②	適応指導教室事業	H24 ～ R13	不登校児童生徒の学校適応を促進するため、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施する。	入級児童生徒が適応指導教室または原籍校へ登校できた日数:出席すべき日数の60%	入級児童生徒が適応指導教室または原籍校へ登校できた日数:出席すべき日数の64.1%	◎
02 宜野湾市	2 ③	児童生徒等相談事業	H24 ～ R13	臨床心理士、青少年教育相談指導員を配置し、相談等支援をととして、不登校等の課題の改善に取り組む。	学校生活への適応や状況改善に向けて変容が見られた割合前年度実績(26%)以上	学校生活への適応や状況改善に向けて変容が見られた割合31%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	2 ④	非行防止等巡回活動事業	H24 ～ R13	街頭指導員を配置し、夜間街頭指導等を実施し青少年の健全育成に寄与するため関係機関や地域と連携しながら青少年の問題行動の未然防止、早期発見に取り組む。	・年間の街頭指導実績件数が、前年度実績の12%減	対前年比 43%増 (528件)	未
02 宜野湾市	2 ⑤	学習支援員活用事業	H24 ～ R13	学習に遅れをとっている児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置し、個々の学力に応じた学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	県学力調査(6月、2月実施)の正答率30%未満の児童生徒の割合(県平均差)を県学力調査 正答率30%未満の子の割合について、小中学校ともに県平均との差を-1ポイント減少(6月と2月比較)	正答率30%未満の子の割合(県との差)の差 小学校:-2.0 中学校:-0.1	△
02 宜野湾市	2 ⑥	派遣費補助金交付事業	H24 ～ R13	児童生徒が部活動等で県外の大会へ派遣される際の航空運賃に対し、補助金を交付する。	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果「補助を受けたことにより、旅費の負担が軽減され県外大会に参加がしやすくなった」:80%以上	アンケート調査において、対象児童生徒の視野が広がったとの回答【98%】	◎
02 宜野湾市	2 ⑦	スポーツ少年団派遣費補助事業	H25 ～ R13	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成及び県外の人との交流の機会を増やすため、一定の基準を満たすスポーツ少年団に加盟している団体等へ県外派遣を支援する。	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果「子どもの視野が広がったと思う」:80%以上	アンケート調査において、「対象児童生徒の視野が広がった」の回答:100%	◎
02 宜野湾市	2 ⑧	特別支援教育支援員派遣事業	H28 ～ R13	宜野湾市立の幼小中学校における特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	学校、保護者の満足度:88%以上	学校、保護者の満足度96%	◎
02 宜野湾市	2 ⑨	はごろも学習センター施設機能強化事業	R5 ～ R5	年々複雑多様化し、増加する教育相談・不登校対策業務に対応するため、プライバシー確保に配慮された間取りへの変更など、利用者が安心して通所できる施設整備を実施する。	工事の完了		繰

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	3 ①	文化財保存整備事業	H24 ～ R13	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。	①野嵩石畳道基本設計:1件	野嵩スディバナビラ石畳道基本設計の完了	◎
02 宜野湾市	3 ②	歴史公文書等整理・活用事業	H24 ～ R13	市立博物館が所蔵する写真資料の整理を行い、写真データおよび歴史的公文書の公開を行う。	・アンケートを実施し、市の歴史や文化への理解が深まった方の割合が80%以上。	アンケートを実施し、市の歴史や文化への理解が深まった方の割合が100%	◎
02 宜野湾市	4 ①	平和市民啓発事業	H24 ～ R12	戦争の悲惨さ、平和の大切さ及び命の尊さを次代へ継承する人材を育成するとともに、市民啓発により平和を希求する心を発信する。	本事業に参加した生徒や市民からアンケートを徴収し (1)「平和に対する理解が深まった。」 (2)「この事業で学んだことを誰かに伝えたいと思う。」と回答する割合:80%以上	(1)96% (2)88%	◎
02 宜野湾市	4 ②	英語教育推進事業	R4 ～ R13	英語指導助手(ALT)を小学校に1名～2名ずつ派遣し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。 また、英語指導助手(ALT)を中学校に1名ずつ派遣し、生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。	①ALT配置等による「英語が好き」な児童(小学校5・6年生)の割合85%(形成テストより)生徒(中学3年生)の割合60%(全国版生徒質問紙より) ②児童英検の正答率(小学5年生)90%以上 ③児童英検の正答率(小学6年生)85%以上 ④6月実施県学力定着度調査の県平均との正答率の差+1ポイント(中学校3年生)	①ALT配置等による「英語が好き」な児童(小学校5・6年生)の割合81%(形成テストより)生徒(中学3年生)の割合47.3%(全国版生徒質問紙より) ②児童英検の正答率(小学5年生)87.7% ③児童英検の正答率(小学6年生)82.5% ④6月実施県学力定着度調査の県平均との正答率の差+2.1ポイント(中学校3年生)	△
02 宜野湾市	4 ③	学校ICT活用指導支援事業	H24 ～ R13	児童生徒の情報活用能力を育成するため、学校ICT業務担当員2名を配置し、ICTを活用する授業の支援、教職員向けの校内研修の実施、ICT機器の障害対応を行う。	① 教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる割合:80%以上 ② 児童生徒にアンケート調査を実施し、ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	① 教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる割合:小学校99.4%、中学校96.7% ② 児童生徒にアンケート調査を実施し、ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた割合:小学校89.9%、中学校88.8%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	4 ④	中学生語学研修派遣事業	H31 ～ R13	語学施設等でさまざまなシチュエーションを想定した語学研修の機会を与え、異文化理解と実践的コミュニケーション能力の向上をめざし、国際性と国際的視野の育成に資する。 また、国の外交の中核となる官公庁施設を見学することで、国際外交の重要性に対する見聞を深める。	語学学習研修生徒に対する本事業へのアンケート調査による満足度を95%以上	満足の割合結果90%	未
02 宜野湾市	4 ⑤	図書館遠隔地サービス事業	R5 ～ R5	公立図書館へのアクセスが厳しい地域等を定期的に巡回し、図書館利用の難しい市民の学習環境の向上を図るため、移動図書館を導入する。	移動図書館配備完了		繰
02 宜野湾市	5	市民防災事業	H27 ～ R13	沖縄県は、島しょ県であるとともに、台風等の自然災害を被りやすい地域であるため、平常時から災害に対する備えを万全にする必要がある。本事業では、宜野湾市地域防災計画に基づき食糧、飲料水の備蓄を行い災害に強いまちづくりを推進する。	①保存食及び保存水等の備蓄 ・R5年度備蓄食糧 備蓄率100% ・R5年度保存水 備蓄率12% ・R5年度非常用おむつ(子供用)33% ・R5年度非常用おむつ(大人用)33% ・R5年度災害備蓄用生理用品38% ・R5年度液体ミルク33% ・R5年度アレルギー対応ミルク33% ・R5年度ほ乳ボトル100% 宜野湾市防災訓練において訓練参加者に対するアンケートの結果「備蓄の重要性を感じた。」:「80%以上」と設定。	備蓄食糧 備蓄率 100% 保存水 9.9% 備蓄率 12% 非常用おむつ(子ども用) 33% 非常用おむつ(大人用) 33% 災害用生理用品 38% 液体ミルク 33% アレルギー対応粉ミルク 33% ほ乳ボトル100% アンケート98.1%	○
02 宜野湾市	6 ①	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24 ～ R13	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、若手地権者等によって構成される「若手の会」等の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	市民向けの意向醸成イベント ①来場者数:230人 地権者向けの意見交換会 ②参加者:80人	①230人 ②80人	◎
02 宜野湾市	6 ②	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同調査)	H24 ～ R13	普天間飛行場の跡地利用計画策定に向けて、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討及び市民・県民・地権者との合意形成、情報発信等を実施する。	「跡地利用の実現に向けた取組の具体化」の作成に向けた検討調査を行い調査内容報告書の作成	令和5年度普天間飛行場跡地利用計画策定調査報告書作成	◎
02 宜野湾市	7	地域キャリア教育支援事業	H30 ～ R13	地域の企業、学校、保護者等が連携した連携協議会を開催、子どもたちが抱える課題の共有、解決策の検討をし、市内小中学校でキャリア教育プログラムを実施することで、児童生徒の就業意識の向上を図る。	児童生徒へのアンケートで就業意識が肯定的に変化したことが分かる割合:80%以上	就業意識の肯定的変化(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケート 小学校:97.4% 中学校:96.5%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	8	市民会館機能強化事業	H30 ～ R6	建設から40年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図り、市民が文化芸術公演に触れる機会や文化活動を行う場の確保を図るため、宜野湾市民会館の整備を実施する。	施設工事(機械設備)、施設工事(電気設備)、工事監理業務(機械・電気)の継続		繰
02 宜野湾市	9	宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	H24 ～ R13	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、基金を造成し、土地の先行取得に取り組む。	●普天間飛行場 特定事業の用に供する土地取得目標 25,000㎡ ※先行取得目標面積 195,400㎡ ●インダストリアルコリドー 特定事業の用に供する土地取得目標 5,000㎡ ※先行取得目標面積 25,000㎡	33,365㎡	◎
03 石垣市	1 ①	観光地受入基盤強化事業	H24 ～ R13	観光客の満足度向上並びに誘致拡大、利便性確保を図るため、観光スポット等における受け入れ態勢の構築、観光案内サービスの実施、ICTを活用した情報発信、観光誘客イベントへの支援を行う。	(観光誘客) ・コロナ禍で停滞していたクルーズ船受け入れ体制の再構築 ・南の島の星まつりへの来場者数: 4,500人 ・とぅばらーま大会観客数: 1,500人 ・音楽創造都市石垣推進市民協議会イベント: 500人 (観光客の利便性向上) ・空港での観光案内によって利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する。	・クルーズ船受け入れ体制の再構築 ・南の島の星まつりへの来場者数: 3,029人 ・とぅばらーま大会への来場者数: 1,500人 ・音楽創造都市石垣推進市民協議会イベントへの来場者数: 190人 ・空港での観光案内によって利便性が確保されたか(利便性が確保されたとの回答: 90%)	○
03 石垣市	1 ②	スポーツ!ウェルカム!石垣島!事業	H24 ～ R13	本市で各種スポーツ合宿が開催されることによって島外から競技関係者及び観客等の誘客を図るため、プロスポーツキャンプ等の誘致及び受入環境の整備を行う。	・プロスポーツキャンプ及びスポーツクラブのキャンプ実施団体数 8団体以上 ・プロ野球キャンプ期間中を通してキャンプ会場に会場した観客数 6,000人以上	・キャンプ実施団体: 22団体 ・キャンプ会場に会場した観客数: 20,670人	◎
03 石垣市	2 ①	石垣市中央運動公園リニューアル事業	H27 ～ R6	スポーツを通じた観光誘客を含め、中央運動公園の活用促進を図るため、中央運動公園の再整備を行う。	・屋内プール再整備基本設計の完了	-	-

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
03 石垣市	2 ②	クルーズターミナル整備事業	R4 ～ R5	クルーズ船の寄港増加を図るため、出入国に関する手続きに必要なクルーズターミナルの整備を行う。	・クルーズターミナル整備工事(2工区)の完了	－	繰
03 石垣市	3 ①	離島保育士確保総合対策事業	H28 ～ R13	待機児童ゼロの維持に必要な保育士の確保を図るため、島外からの保育士誘致や島内在住者の保育士資格取得支援等を行う。	・待機児童数:0名	・待機児童数:0名	◎
03 石垣市	3 ②	ひとり親家庭生活支援事業	H30 ～ R13	ひとり親世帯の生活状況の改善を図るため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親世帯に対し、各家庭の状況に応じた支援を組み合わせる実施する。	・支援開始1年後の自立した世帯の割合:75%以上	・自立した世帯の割合:100%	◎
03 石垣市	3 ③	ものづくり、マーケティング総合支援事業	H24 ～ R13	石垣産の牛肉などの海外輸出、販路開拓を図るため、石垣空港からの海外輸出体制の構築、国内外でのPR販促活動を行う。	・牛肉の輸出額:1,200千円/一頭当たり	・400千円/頭	未
03 石垣市	4 ①	”石垣産の牛”生産推進事業	H24 ～ R13	肉用牛の生産拡大を図るため、素牛及び肥育牛の増産及び売上増加に向けた支援並びに家畜伝染病対策を行う。	①素牛の年間出荷頭数:7,106頭以上 ②素牛の平均販売額:670千円以上/頭 ③肥育牛の年間出荷頭数:812頭以上 ④肥育牛の年間売上高:931百万円以上 ⑤伝染病等にかかった頭数:0頭	①:7,128頭 ②:455千円 ③:827頭 ④:1,108百万円 ⑤:0頭	○
03 石垣市	4 ②	水産振興事業	H24 ～ R13	養殖魚類の生産量の増加を促進するため、養殖魚類種苗を沖縄本島の本部にある栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。 また、鯖漁等の水揚げ量の維持を図るため、漁船用冷凍餌を沖縄本島から石垣島まで輸送する費用の補助を行う。	・養殖魚類種苗の輸送費支援完了 ・鯖漁等の水揚げ量:612トン	・輸送費支援の実施・完了 ・鯖漁等の水揚げ量:575t	○

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
03 石垣市	5 ①	児童・生徒派遣費助成事業	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、市外・県外で開催される大会等及び選抜選手による合同練習に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。	・申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答割合80%以上	・保護者アンケートで島内ではできない経験をすることができたと回答した割合:100%	◎
03 石垣市	5 ②	平和推進事業	H24 ～ R13	児童生徒を含め市民が平和の大切さに対する理解を深めるため、平和について学ぶ機会をつくる。	・コンクールや催事に参加した児童生徒を対象にアンケートを行い、平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業の在り方について検証する。 ・慰霊祭及び平和フォーラム等への参加者並びに絵画・作文コンクールへの応募者数 延べ740人以上	・平和に対する理解が深まったと回答した児童生徒の割合:89% ・絵画・作文コンクールへの参加者及び応募者数 延べ754人	◎
03 石垣市	5 ③	石垣市発達支援システム事業	H28 ～ R13	発達の気になる子を早期に発見し、早期の支援につなげるため、乳幼児から就労までライフステージに応じて、心理専門職による発達相談等を実施する。	・乳幼児健診(1歳6か月児・3歳児)等において、発達要フォロー児と判断された児について、1年以内に保護者が個別相談等の支援を受けた割合が15%以上 ・心理専門職等への相談により育児・発達等に対する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証	・保護者が個別相談等の支援を受けた割合:36% ・育児・発達等に対する不安が軽減されたとの回答した保護者の割合:100%	◎
03 石垣市	5 ④	児童生徒の自律支援事業	H24 ～ R13	自己肯定感の向上や自律的学習習慣の定着を図るため、子ども自律サポーターを配置する。	・自分にはよいところがあると思う(自己肯定感)との回答割合:児童36%以上、生徒30%以上 ・課題の解決に向けて自ら考え、自ら取り組んでいるとの回答割合:児童30%以上、生徒30%以上 ・家庭で計画を立てて勉強しているとの回答割合:児童35%以上、生徒20%以上	・自己肯定感があるとの回答した割合(児童:42.7%、生徒:37%) ・課題解決に向け、自ら取り組んでいるとの回答した割合(児童:31%、生徒:25.7%) ・家庭で計画を立てて勉強しているとの回答した割合(児童:35.7%、生徒:16.3%)	○
03 石垣市	5 ⑤	外国語学習支援事業	H24 ～ R13	英語に対する興味・関心の向上を図るため、外国語学習支援員を派遣する。	・英語への興味・関心が向上したと回答した児童生徒の割合(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	・英語への興味・関心が向上したと回答した児童生徒の割合:58%	未
03 石垣市	5 ⑥	情報教育充実事業	H24 ～ R13	ICT機器を使用し、分かりやすい授業を実施するため、学校ICT支援員を配置し、ICT活用推進を支援するとともに、デジタル教材の整備等を行う。	・ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証	・ICT機器を活用したわかりやすい授業であったと回答した児童生徒の割合:94%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
03 石垣市	5 ⑦	姉妹都市カウアイ郡中学生派遣事業	H27 ～ R13	国際交流を通して児童生徒の視野を広げるため、姉妹都市ハワイ州カウアイ郡へ市内の中学生を派遣する。	・国際交流を通して生徒の国際的な視野が広がったか(80%以上)を含め、派遣した生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・市内の生徒が、本事業による派遣・交流の報告書を見て英語や外国に以前より興味を持ったか(80%以上)を含め、市内の生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・保護者へのアンケートで生徒の国際的な視野が広がったと回答した割合:100% ・保護者へのアンケートで生徒が以前より英語や外国語に興味を持ったと回答した割合:68%	△
03 石垣市	5 ⑧	スポーツ教室・交流事業	H31 ～ R13	市民が様々なスポーツに触れる機会を創出するため、トップアスリートによる講演会、指導者講習会、スポーツ教室を実施する。また、スポーツ交流等を通じて児童生徒の視野を広げるため、県外市町村とのスポーツ交流を実施する。	・スポーツ教室等を通じて幼児、児童がこれからもスポーツを継続したい(80%以上)を含め、参加した幼児、児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・スポーツ交流等を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、参加した本市児童生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・幼児、児童へのアンケートでスポーツを継続したいと回答した割合:100% ・保護者へのアンケートでスポーツ交流等を通じて児童生徒の視野が広がったと回答した割合:100%	◎
03 石垣市	5 ⑨	石垣市小学生・中学生教育交流事業	H28 ～ R8	異文化に触れることで児童生徒の視野を広げるため、台湾蘇澳鎮の小学生中学生と相互教育交流を実施する。	・異文化に触れることで交流した児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、派遣した児童生徒並びに保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証	・保護者へのアンケートで異文化に触れることで交流した児童生徒の視野が広がったと回答した割合:100%	◎
03 石垣市	5 ⑩	不登校対策等支援員配置事業	H30 ～ R13	児童生徒の不登校未然防止及び不登校児童生徒の復学を図るため、市内の小中学校にスクールライフサポーターを配置し、児童生徒の学校生活支援や不登校児童生徒の復学支援を行う。	・不登校率の減少:0.3%以上	・対象小中学校における不登校率:2.49%増	未
03 石垣市	5 ⑪	子ども若者総合相談支援事業	H31 ～ R13	社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども若者の困難の解消を図るため、子ども若者相談窓口を設置、ユースアドバイザーを配置し、相談受付及び支援を実施する。	・本事業で支援を受けた者の数:50名以上 ・支援を受けた者の内、本事業の支援によって支援を要しない状況となった者の割合:50%以上	・支援を受けた人数:59名 ・本事業より支援を要しない状態となった者の割合:38.9%	△

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
03 石垣市	5 ⑫	専門人材育成事業	H28 ～ R13	島内から多くの教員採用試験合格者を輩出し、教育を担う人材の育成を図るため、教員採用試験対策講座を実施する。	・受講することで有効な試験対策ができたか(80%以上)を含め、受講者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・受講者へのアンケートで有効な試験対策ができたと回答した割合:95%	◎
03 石垣市	5 ⑬	石垣市省エネ推進事業	R5 ～ R6	石垣市立図書館照明のLED化および、窓ガラスへの断熱・UVカットフィルム導入による省エネ化の取組を行う。	・館内照明のLED化 43か所の完了 ・窓ガラスへの断熱・UVカットフィルム施工 144枚の完了	-	繰
04 浦添市	1	ひとり親世帯等放課後児童クラブ費支援事業	R4 ～ R13	放課後児童クラブがひとり親世帯の利用者に対し保育料を減免した場合に補助を行う。	ひとり親家庭等への放課後児童クラブ費の減免についてアンケートを取り負担軽減や就労支援につながっているか確認する。	ひとり親家庭等への学童クラブ費の減免についてアンケートを取り負担軽減や就労支援につながっているか確認する。	◎
04 浦添市	2	てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	H24 ～ R13	観光地としての魅力向上及び、地域の歴史文化の継承を図るため、「沖縄らしい美しいまちなみ景観」の創出・保全・再生に向けた各種の取組を行う。	①-1 風景づくり推進調査委託業務の計画策定 ①-2 景観向上行動計画改定の完了 ②補助工事14件(年間) 赤瓦葺き工事:5件 石積み・石張り工事:4件 生垣等の工事:5件 ③地域景観資源を保全、活用、創造する自主的なまちづくり活動団体等への支援 歴史ガイド参加者(300人/1年)		繰
04 浦添市	3	島桑産業拡大支援事業	R4 ～ R8	①沖縄県の在来品種であるシマグワを活用する事業者に対して産業拡大に係る支援を行うことで、シマグワに関する産業の振興を図る。 ②沖縄県の在来品種であるシマグワが持つ特性や機能性、技術課題を大学機関等と共同研究し科学的エビデンスの構築や新たな技術開発を行うことで地域産業の付加価値を向上させる。	①シマグワに係る新商品開発4件 シマグワ原料生産量5%増 ②研究成果及び学会発表等5課題	・研究成果及び学会発表等5課題 ・シマグワ原料生産量5%増 ・シマグワに係る新商品開発	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
04 浦添市	4	浦添観光振興事業	H29 ～ R7	本市へ観光客を誘客するため、観光情報発信を継続的に 行うことに加え、プロ野球キャンプを活用した市内周遊企 画を実施する。また、関係機関と連携し、これまでの通過 型観光から滞在型観光の実現を図る。	①ポータルサイト訪問者数:631,550人 ②プロ野球春季キャンプファン誘客: 34,000人	・ポータルサイト訪問者数(631,550人以上) ・プロ野球春季キャンプファン誘客(34,000人以 上)	未
04 浦添市	6	未来へ翔たく太陽っ子育成事 業	H24 ～ R13	市内在住又は市内小中学校在籍の児童生徒がスポー ツ・文化活動の全国大会において、県外生徒との競争や 交流機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる ため、全国大会に参加する児童生徒を対象として、大会開 催地までの渡航に必要な経費の一部を支援する。	県外大会に参加することで新たな課題や気づき を得られたと思いますか(80%以上)を含め、保護 者に対するアンケートにより、本事業の効果を検 証する。	県外大会に参加することで新たな課題や気づ きを得られた(80%以上)を含め、保護者に対 するアンケートにより、本事業の効果を検証す る。 目	◎
04 浦添市	7	自然体験学習事業	H24 ～ R13	協働的な学びを通じて、よりよい人間関係を築く力を育む ため、自然豊かな環境で、集団宿泊活動を実施する。	自然体験を通し、児童の協調性・協働的な態度 が向上したと評価する学校の割合90%以上。	自然体験を通し、児童のよりよい人間関係を築 く力(協調性・協働的な態度)が向上したと評価 する学校の割合 90%以上	◎
04 浦添市	8	学力底上げ推進支援事業	H24 ～ R13	市内小中学校へ、①学校教育支援員、②日本語教育支援 員を配置する。	県学力到達度調査において、下位層(正答率 30%未満)の児童生徒を中位層に上げる。	・沖縄県学力到達度調査平均正答率30%未満の 児童・生徒を中間層にあげる 【指標】 沖縄県学力到達度調査において、県と本市と の平均正答率の差・小学校:算数 +0.2ポイント 以上 ・沖縄県学力到達度調査平均正答率30%未満の 児童・生徒を中間層にあげる 【指標】 沖縄県学力到達度調査において、県と本市と の平均正答率の差・中学校:数学 +0.2ポイント 以上	未
04 浦添市	9	課題を抱える児童生徒支援事 業	H26 ～ R13	課題を抱える不登校児童生徒へ支援を行うために、各種 相談員、支援員を配置し、学校復帰や不登校未然防止を 図る。 また、適応指導教室に適応指導員を配置し、個々の状況 に応じた学習活動や体験活動等の支援活動を行う。	不登校児童生徒の内、相談・指導等を受けてい ない子の割合を低減 小学校:23.8%以下 中学校:19%以下	・不登校児童生徒のうち、相談・指導等を受けて いない子の割合を低減【小学校】 ・不登校児童生徒のうち、相談・指導等を受けて いない子の割合を低減【中学校】	△

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
04 浦添市	10	青少年巡回指導員事業	H26 ～ R13	青少年巡回指導員5名を配置し、青少年の非行の未然防止と早期発見・早期対応のため、青色回転車両にて青少年の問題行動が発生しやすい公園やたまり場等の巡回及び子ども達の安全な登下校を見守る。また学校からの依頼により不登校になっている児童生徒の登校支援を行う。	・不登校児童生徒の要因の中の「生活リズムの乱れ・あそび・非行」の低減 小学校目標:21.5%以下 中学校目標:23.7%以下	【小学校】 ・不登校児童生徒の要因の中の「生活リズムの乱れ・あそび・非行」の低減 【中学校】 ・不登校児童生徒の要因の中の「生活リズムの乱れ・あそび・非行」の低減	△
04 浦添市	11	こどもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業	H27 ～ R9	学校教育の質の向上を図るため、市立小中学校にICT機器を整備する。	①「ICT機器を活用した授業がわかりやすかった」と答えた割合(90%以上) ②授業での思考力・判断力・表現力の向上を図る活用の割合(80%以上) ③思考力・判断力・表現力の向上を実感した児童生徒の割合(50%以上)	・児童生徒へアンケート調査を実施し、「ICT機器を活用した授業がわかりやすかった」と答えた割合:90%以上 ・学力向上推進に係る児童生徒の実態調査における思考力・判断力・表現力の向上を示す項目の割合:80%以上 ・学力向上推進に係る児童生徒の実態調査における思考力・判断力・表現力の向上を実感した児童生徒の割合:50%以上	△
04 浦添市	12	浦添市南米移住者子弟研修生受入事業	H25 ～ R13	戦前戦後を通して南米へ移住した浦添出身者やその子弟とのネットワークを強化するため、浦添出身の子弟を招聘し日本語研修、文化研修等を通して、本市及び本県と移住先国との友好親善、沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	研修を受けた結果、①沖縄アイデンティティーが高まった②これまで以上に沖縄文化の継承に寄与したいと答えた研修生の割合:90%以上 研修生の報告を聞き、沖縄の文化を継承していきたいと感じた人の割合:80%	研修を受けた結果、①沖縄アイデンティティーが高まった②これまで以上に沖縄文化の継承に寄与したいと答えた研修生の割合:90%以上	◎
04 浦添市	13	浦添市中学生平和交流事業	H25 ～ R13	平和への願いを風化させることなく次代に引き継いでいくため、中学生を対象に平和研修を実施する。研修を修了した者は、「浦添市ピースメッセンジャー」として認定され、壁新聞展などを通して平和伝承の活動を行う。	研修やピースメッセンジャーの活動を通じ、平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証。	研修やピースメッセンジャーの活動を通じ、平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証。	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
04 浦添市	14	浦添市特定駐留軍用地等内 土地取得事業	H27 ～ R13	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、 牧港補給地区の土地の先行取得を実施するための基金 を造成する。	【R5成果目標】 特定事業の用に供する土地取得目標約 10,000 ㎡(達成率61.3%) H28～R4までの累計取得面積173,757㎡ ※達成率:先行取得目標累計面積(300,000㎡)に 対する累積取得面積の割合	基金積立 土地取得目標面積10,000㎡	◎
04 浦添市	15	てだこの都市・浦添「あまくま 歩っちゅん浪漫ウォーク」事業	H24 ～ R13	観光誘客及び地域住民の健康意識の向上を図るため、 ウォーキングイベント「てだこウォーク」を開催する。	市外からの参加者:3,600名 市内からの参加者:4,400名 合計8,000名	市外からの参加者:3,600人 市内からの参加者:4,400人 合計参加者数:8,000人	未
04 浦添市	17	浦添前田駅周辺地区賑わい 創出事業	H29 ～ R6	観光誘客並びに観光客と地域住民間及び地域住民相互 の交流機会の増加を図るため、沖縄都市モノレール浦添 前田駅周辺地域において、観光交流拠点施設等の整備を 行う。	多目的広場の擁壁工等の完了		繰
04 浦添市	18	浦添市都市計画マスタープラン 改定業務事業	R5 ～ R6	現在策定中の牧港補給地区跡地利用基本計画と整合を 図りながら、基地跡地の基盤整備等に早期着手できるよ う、浦添市都市計画マスタープランを改定する。	全体構想(将来都市像)案の策定完了	全体構想(将来都市像)案の策定完了	◎
04 浦添市	19	認可外保育施設こどものみらい 緊急応援プロジェクト	R5 ～ R9	①認可外保育施設における業務で大きな割合を占めている 給食業務を委託する。 ②厳しい運営状況が入所児童の処遇に影響しないよう、 賃借料の補助(月上限5万円)を行い、運営の安定化を通 じて保育の質の改善を図る。	「子どもを見る時間」や「保育従事者の質の向上 を図る時間」について、常勤換算値で0.7人(約 112時間)以上の増加(職員シフト表などで確認)	「子どもを見る時間」や「保育従事者の質の向上 を図る時間」の増加時間(1施設あたり月平均)	未
05 名護市	1 ①	学習指導支援者配置事業	H24 ～ R13	市内小中学校に学習指導支援者を配置し、児童生徒の 学力に応じた個々の学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率(県 と市との差) ①小学校 -4.0以内 ②中学校 -4.0以内	沖縄県学力到達度調査における平均正答率(県 と市との差) ①小学校 -1.6ポイント ②中学校 -0.5ポイント	◎
05 名護市	1 ②	生徒指導支援者配置事業	H24 ～ R13	生徒指導支援者を配置し、特別な支援を要する不登校 及び不登校気味の児童生徒個々のニーズに対応した支 援を行う。	支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の 割合 15%	支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の 割合 復帰割合5%	未

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
05 名護市	1 ③	小中学校英語支援員配置事業	H24 ～ R13	市内小中学校に英語支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	①学力調査(英語)の正答率 ・小学校6年生:正答率83% ②沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 中学2年生英語: -3ポイント	I)小学校英語学力調査 76.5% II)沖縄県学力到達度調査における 県平均正答率との差 +2.4ポイント	○
05 名護市	1 ④	中学生海外短期留学派遣事業	H24 ～ R13	小さな世界都市をめざす本市の中学生を英語圏に短期留学派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合:100%	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合:100%	◎
05 名護市	1 ⑤	適応指導教室支援員配置事業	H24 ～ R13	適応指導教室へ支援員を配置し、心理的、情緒的要因による不登校児童生徒及び不登校気味の児童生徒に登校復帰のための指導・支援を行う。	①適応指導教室に通級している児童生徒のうち、学校復帰できた児童生徒の割合20% ②適応指導教室に通級している児童生徒のうち、チャレンジ登校できた児童生徒の割合74%	①適応指導教室に通級している児童生徒のうち、学校復帰できた児童生徒の割合:14% ②適応指導教室に通級している児童生徒のうち、チャレンジ登校できた児童生徒の割合:100%	○
05 名護市	1 ⑥	名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24 ～ R13	小・中学校の児童生徒や高等学校及び高等専門学校の生徒が各種大会参加による県外児童生徒との競争・交流を通じ児童生徒の成長につなげるため、県外等で開催される各種大会へ参加する際の派遣費用を補助し、参加を支援する。	補助を受け各種大会へ参加した児童生徒の保護者に対するアンケート回答にて、「児童生徒が成長につながる機会が得られたと感じるか」の項目で80%以上。	派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が成長につながる機会が得られたと感じるか:99%	◎
05 名護市	1 ⑦	特別支援教育支援者配置事業	R4 ～ R13	特別支援教育支援者を配置し、特別な支援を要する児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。	特別支援教育支援者配置事業に対する満足度についてのアンケートで、大多数が満足していると考えられる割合85%以上	特別支援教育支援者配置事業に対する満足度についてのアンケートで、大多数が満足していると考えられる割合:94.4%	◎
05 名護市	2 ①	ファイターズ・キャンプ支援事業	H24 ～ R6	北海道日本ハムファイターズのキャンプ受入体制を整えることで、見学者数の増を図る。また、観光誘客を図るため、エスコンフィールド北海道で名護市PR イベント「名護スペシャルデー」を開催する。	プロ野球キャンプ時における見学者数 28,950人以上	プロ野球キャンプ時における見学者数:29,345人	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
05 名護市	2 ②	名護市観光プロモーション推進事業	R3 ～ R7	本市の関係人口増加に繋げるため、観光プロモーションを実施する。関係機関等と連携・協働して戦略的に情報発信を行い、本市の観光資源の認知度向上を図る。	・アンケートによる認知度向上80%以上	アンケートによる認知度向上:96%	◎
05 名護市	2 ③	名護市地域商業グロウアップ支援事業	H31 ～ R6	市内の中小規模の事業者の新商品の開発、既存商品の高付加価値化や新たな販売システムを構築することにより、販路拡大及び売上増加を図る。	新商品開発・既存商品のブラッシュアップ:3品 ふるさと納税返礼品登録数:3品	新商品開発・既存商品のブラッシュアップ:3品 ふるさと納税返礼品登録:1品	△
05 名護市	2 ④	21世紀の森公園周辺エリア活用推進事業	R3 ～ R5	P-PFIによる事業者公募、事業者選定、協定締結等	「21世紀の森公園周辺エリア」におけるP-PFIによる事業者公募、事業者選定、協定締結等の完了		繰
05 名護市	2 ⑤	名護市スポーツ推進計画策定事業	R5 ～ R6	本市のスポーツに係る戦略的な計画を策定し、スポーツによる地域経済の活性化に繋げることを目的とする。令和5年度においては、基本構想を策定する。	基本構想策定の完了	基本構想の策定完了	◎
05 名護市	2 ⑥	観光客誘致プロモーション事業	R5 ～ R7	コロナ5類移行後の観光需要回復に向けて安定した市内入域客増加を図るため、観光商品等の企画・造成に向けたセミナー・ワークショップ、プレミアム商品券事業の運営支援など、市内事業者や観光関連団体と連携した観光客誘致プロモーションを実施する。	①本事業への参画事業者数:156社 ②本事業展開後の秋期における市内宿泊入込客数:127,785人	本事業への参画事業者数:161社 本事業展開後の秋期における市内宿泊入込客数:136,234人	◎
05 名護市	3	第3次名護市観光振興基本計画策定事業	R5 ～ R6	次期観光振興基本計画策定に向けた基礎調査及び内容検討を行ない、観光需要回復後の産業発展に対応する計画案を策定する。	第3次観光振興基本計画策定に向けた調査・検証、成果指標案策定完了	第3次名護市観光振興基本計画策定に向けた調査・検証、成果指標案策定:完了	◎
05 名護市	4 ①	優良繁殖雌牛導入事業	H27 ～ R8	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合10%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:108%	○

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
05 名護市	4 ②	地域循環型農畜産業推進事業	R5 ～ R5	地域循環型農畜産業推進に向けて、名護市堆肥センターにおける堆肥原料の受け入れ体制及び堆肥の生産力向上のため、ホイールローダー及び計量システムの導入を行う。	年間堆肥原料受け入れ量 9,994t 年間堆肥販売量 3,436t		繰
05 名護市	5 ①	救命処置普及強化支援事業	H27 ～ R6	急病、事故及び災害等により観光客、市民が負傷した際の救命体制を確保するため、救命講習を実施する。また、市内コンビニエンスストアへAEDを設置する。	・救急救命士等の資格を持つ会計年度職員の採用…3名 ・各種救命講習においてアンケートを実施し、救命手当が「不安だができる」、「できる」と回答した割合が80%以上 ・まちかど救急ステーション認定(更新)…3件(3件) ・市内コンビニエンスストアへのAED設置…2店舗(前年度までに開店した店舗)設置した店舗への取り扱い、心肺蘇生法の講習の実施	・救急救命士等の資格を持つ人材の採用:3名 ・各種救命講習参加者へアンケートで「応急手当を実施することができる。」と回答した割合:99.8% ・まちかど救急ステーション認定(更新):3件(3件) ・コンビニエンスストアへのAED設置:2店舗	◎
05 名護市	5 ②	ハブ等対策事業	H27 ～ R13	観光客や地域住民のハブ等による咬傷被害を防止するため、危険なハブ等を捕獲・駆除する。	捕獲器設置箇所周辺における咬傷被害件数:0件	捕獲器設置箇所周辺における咬傷被害件数:0件	◎
05 名護市	6	スポーツ力向上促進事業	H31 ～ R13	児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。	①スポーツ教室・講演会への参加児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識がさらに高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 ②講習会を受講した参加者(指導者)に対して、指導力が向上したと感じたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	①スポーツ教室・講演会への参加児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識がさらに高まったか:98.5% ②講習会を受講した参加者(指導者)に対して、指導力が向上したと感じたか:未実施	△
05 名護市	7	名護さくらのまち推進事業	R5 ～ R7	本市のシンボルであるカンヒザクラの環境整備として、後継樹の植栽及び既存桜の剪定・防腐処理を行い、地域ブランドの強化及び観光客の誘客を図る。	・後継樹の植栽の完了 ・既存の桜の剪定及び防腐処理の完了	・後継樹の植栽:完了 ・既存の桜の剪定及び防腐処理:完了	◎
05 名護市	8	名護自然動植物公園機能強化事業	R4 ～ R7	名護自然動植物公園は、動植物と直接触れ合える自然共生型動植物園である。令和3年7月に沖縄島北部が世界自然遺産に登録され、世界的にも注目されていることやアフターコロナを見据え、観光客の取り込み拡大及び滞在時間の伸長による観光振興を図る。	・名護自然動植物公園実施設計完了	名護自然動植物公園機能強化実施設計:完了	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
05 名護市	9	21世紀の森公園周辺エリア魅力向上推進事業	R4 ～ R6	これまでに策定してきた21世紀の森公園周辺エリアを含めた構想である「名護湾沿岸基本構想・基本計画」に基づく取組として、同エリアが市民と来訪者で賑わう空間として、魅力ある観光の目的地となるための必要機能を精査し、具体的な整備計画を策定する。	実施設計書の作成完了	実施設計書の作成:完了	◎
05 名護市	10	名護市総合交通ターミナル実現化検討調査事業	R5 ～ R5	名護市はこれまで豊かな自然を生かしたまちづくりに取り組んできたが、名護湾をはじめとする地域資源を十分に活用できていないことや、近隣町村に観光名所が点在しており、素通り型の観光地になっていることなどが課題となっている。 令和3年度に策定した名護湾沿岸(名護漁港周辺エリア)実施計画をもとに、名護漁港周辺エリアの魅力向上の取組として、総合交通ターミナルを整備し、市民及び来訪者の公共交通に関する利便性の向上を図る。	名護市総合交通ターミナル実現化検討調査調査の完了	名護市総合交通ターミナル実現化検討調査調査:完了	◎
05 名護市	11	名護市周遊バス推進事業	R5 ～ R5	持続可能で安定した公共交通の提供及び観光客の利便性向上を図るため、コミュニティバスを導入し、市内の周遊促進に向けた環境を整備する。	・EVバス車両の購入 ・充電設備の整備 ・キャッシュレス決済システムの導入 ・公共交通協議会の開催		繰
06 糸満市	1 ①	沖縄らしい風景づくり事業	H24 ～ R8	風景づくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。	・助成金による景観形成整備の完了(6件) ・実施設計の完了	助成金による景観整備の完了:0件 重点地区実施設計:完了	△
06 糸満市	2 ①	観光地危険生物駆除事業	H25 ～ R13	観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除を行う。	市内における観光客の年間ハブ咬傷被害0件	観光客のハブの咬傷被害件数:0件	◎
06 糸満市	2 ②	糸満イベント推進事業	H24 ～ R13	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、糸満ふるさと祭りへの支援を行う	糸満ふるさと祭り ・来場者数:10,000人	糸満ふるさと祭到来場者数:24,000人	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
06 糸満市	2 ③	観光地公園環境美化強化事業	R4 ～ R13	西崎運動公園、山巔毛公園、みどりの遊歩道の花木の植栽管理、美化清掃等を行い、魅力ある観光地づくりに取り組む。	観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光地としてふさわしい景観であるとの回答:80%	◎
06 糸満市	2 ④	プロスポーツキャンプ推進事業	R5 ～ R13	プロスポーツキャンプを継続して受入れるために、選手及び見学者等が安全・快適に過ごせるよう受入体制を構築する。	プロスポーツキャンプ見学・来場者 10,000人	プロスポーツキャンプ見学・来場者:16,410	◎
06 糸満市	3 ①	確かな学力を育むサポート事業	H24 ～ R13	学習支援や登校支援等を実施することで、基礎学力の向上と登校復帰を図るため、小中学校へ学習指導等支援員を配置する。	県学力到達度調査の県平均との差 小学校算数-0.4ポイント 中学校数学-0.9ポイント	県学力到達度調査の県平均との差 小学校(6年生)算数:-0.3% 県学力到達度調査の県平均との差 中学校(2年生)数学:-2.5%	△
06 糸満市	3 ②	英語指導事業	H24 ～ R13	英語における実践的コミュニケーション能力と基礎学力の向上を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導をサポートする英語指導助手を配置する。	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を、本人へのアンケートにより調査 ・中学生 県学力到達度調査の県平均との差 中学校英語:0.9ポイント	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか:100% ・中学生 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差:-2.5%	△
06 糸満市	3 ③	適応指導教室設置事業	H25 ～ R13	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。	復帰率:35%(適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率)	適応指導教室へ通室している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率:67%	◎
06 糸満市	3 ④	障害児学習環境づくり事業(小中学校)	H24 ～ R13	児童生徒の障害による学習上又は生活上の支援をするため、小中学校へ特別支援教育支援員を配置する。 また、学校・関係機関の多方面の支援、連携強化を図るため、教育委員会へ特別支援教育指導コーディネーターを配置する。	・支援員の対応について、児童生徒の保護者へアンケートを実施→満足度:85%以上	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度:100%	◎
06 糸満市	3 ⑤	障害児学習環境づくり事業(こども園)	H30 ～ R13	発達障害を含む様々な障害を持つ児童に支援ヘルパーを配置し、身辺介助や安全面・生活面での支援を行う。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度100%を成果目標とする。	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援ヘルパーの対応への満足度:100%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
06 糸満市	3 ⑥	情報教育環境づくり事業	H25 ～ R13	子どもたちの情報活用能力の育成や情報教育の充実を図り、新たなICT教育の活用にも対応して効率的な学習が行えるよう教師支援及びICT教育環境整備を支援する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか(85%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・学校職員 情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか(90%以上)を含め、教員へのアンケートにより本事業のあり方の検証	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったとの回答:92.1% 情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったとの回答:98.2%	◎
06 糸満市	3 ⑦	糸満市小中学校ICT教育強化環境整備事業(電子黒板購入)	R4 ～ R7	液晶型電子黒板を整備し、タブレットとの連携強化及び液晶画面により視認しやすさと手元明さを確保し、より効率的、効果的にICT教育を推進する	・児童生徒にアンケート調査を実施し、液晶型電子黒板を活用した授業が従来機器より分かりやすかったと答えた割合(80%以上)	児童生徒にアンケート調査を実施し、液晶型電子黒板を活用した授業が分かりやすかったとの回答:80.4% 児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったとの回答:90.80%	◎
06 糸満市	3 ⑧	糸満市スポーツ・文化活動派遣費支援事業	R5 ～ R13	県外等へ派遣される小・中学生等に対して補助金を交付して経済的負担を軽減することで、派遣参加を促進し、優れた人材を育成する。	・派遣された児童生徒等に対してアンケートを実施し、派遣されたことで視野が広がったとする回答割合80%以上 ・派遣された生徒に対してアンケートを実施し、国際的な学科や仕事に関わりたいとする回答割合75%以上	派遣された児童生徒等に対してアンケートを実施し、派遣されたことで視野が広がったとする回答:99.8%	◎
06 糸満市	4 ①	運動公園・体育施設機能強化事業	H24 ～ R7	・スポーツ観光の一層の充実を図るため、プロ野球や社会人野球キャンプの誘致をめざし、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化を図る。	・合宿誘致件数13件 ・プロ野球や社会人野球キャンプの誘致。		繰
06 糸満市	5 ①	母子生活支援事業	H29 ～ R13	ひとり親家庭の子どもの心身の健全な発達等を支援するため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親家庭に対して、民間アパート等を借上げし、地域の中で自立した生活が送れるよう支援する。	・支援終了者のうち自立につながった割合100% ・就労率100%	自立割合:100% 就労率:100%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
06 糸満市	6 ①	地場産品販路拡大事業	H24 ～ R8	コロナ禍によりリモートでの販売や誘客が増えている中、ブランディングやマーケティング強化し、SNSを活かした「稼ぐ力」を高め、自立型経済の構築を図る。また、姉妹都市等を中心とした物産展の開催により、糸満市ファンの獲得を目指す。事業者育成、糸満市ファン獲得の両輪で、県内に限らず、県外、広くは海外での販路拡大を目指し、チャレンジ精神を市内全体に広め、本市商工業の振興に資することを目的とする。	・「糸満フェア」の売上が前回(令和元年度)比1倍以上 ・講座に参加する業者数が10者以上 ・事業アンケートで「稼ぐ力」に繋がったと答える事業者が80%以上 ・事業から得られたスキルを実際に活用した事業者が8者以上(海外を含めた販路拡大や誘客)	販促活動を支援する講習の開催:10回 糸満フェアの来場者数:22,800人 糸満フェアの売上 前回比:1.46倍 講座に参加する事業者数:23者 アンケートで稼ぐ力に繋がったとの回答:90ポイント 得られたスキルを実際に活用した事業者:8者	◎
06 糸満市	6 ②	企業誘致推進事業	R5 ～ R13	・本市への企業誘致を推進し、物流団地等への産業集積を図るため、企業誘致ノウハウのある専門家等による調査分析に基づく企業誘致活動等を実施する。	①意向調査:5,000社以上に実施 ②企業訪問:本市へ立地可能性の高い企業を50社以上訪問	5,000社以上に意向調査を実施 立地可能性の高い企業を47社訪問	○
06 糸満市	6 ③	糸満市IT人材育成支援事業	R5 ～ R13	市内小中学生の情報技術に関する知識・技術向上を図り、本件の自立型経済の構築・発展を目指すため、市内小中学生向けプログラミング講座を実施する。	アンケートを実施し、知識習得度や情報技術への興味関心や就業意識の上昇(80%以上)を成果目標とする。	アンケートを実施し、知識習得度や情報技術への興味関心や就業意識の上昇との回答:85%	◎
06 糸満市	7 ①	公共施設予防改修事業(塩害防止)	R5 ～ R6	市の公共施設の塩害を防止し、長寿命化を図るため公共施設の外壁塗装を行う。	外壁塗装実施設計(中央図書館)の完了	外壁塗装実施設計を完了した	◎
06 糸満市	8 ①	糸満市ふれあい事業(市民ふれあいセンター兼福祉避難所整備事業)	R5 ～ R10	地域における多世代交流機会を推進するため、市民ふれあいセンターを整備し、災害発生時には隣接する地域福祉センター(仮)や地域活動センター(仮)と連動した福祉避難所として活用する。	市民ふれあいセンター兼福祉避難所基本計画策定の策定完了	市民ふれあいセンター兼福祉避難所整備基本計画の策定を完了した	◎
06 糸満市	9 ①	省エネ設備化推進事業	H24 ～ R6	南浜公園及び運動公園屋内プールの照明を省エネ化するため、LED化工事を行う。	南浜公園及び運動公園屋内プールの省エネ化工事の完成	南浜公園及び運動公園屋内プールの省エネ化工事を完成した	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	1 ①	新商品開発等支援事業	R4 ～ R13	市内事業者の収益の向上を図るため、商品開発研修や新商品開発のハンズオン支援、バイヤーを招へいた商談会やWEB等を活用した情報発信等の事業者支援を行う。	新商品開発数(10商品)	新商品開発数(15商品)	◎
07 沖縄市	1 ②	音楽資源活用事業	H24 ～ R13	沖縄民謡や戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な音楽資源の展示や音楽イベント等を開催することで、観光客の誘客を図る。	観光客来館者数:2,700人 動画視聴数:5,300回	観光客来館者数:6,165人 動画視聴数:2,974回	○
07 沖縄市	1 ③	音楽観光誘客事業	H24 ～ R13	市内の音楽イベント情報などを発信し、音楽イベント等を開催することで、音楽のまちをPRし、観光客の誘客を図る。	「おきなわ音楽月間」期間中における主要イベントの集客数:55,100人	「おきなわ音楽月間」期間中における主要イベントの集客数:34,406人	未
07 沖縄市	1 ④	音楽産業拠点施設機能強化事業	H30 ～ R5	音楽産業の振興を図るため、音楽ライブや伝統芸能に加え、県内外有名アーティストのコンサート等幅広いジャンルで活用される音楽産業拠点施設の設備機能を強化する。	・音響設備更新工事完了	・音響設備更新工事完了	◎
07 沖縄市	1 ⑤	国際交流事業	H24 ～ R13	多国籍住民の相談窓口を開設し、生活上等の困難の改善を図る。 市民等に語学講座や交流会等を開催し、国際感覚を持つ人材の育成を図る。	来所者数3,800人	来所者数4,595人	◎
07 沖縄市	1 ⑥	エイサーのまち推進事業	H24 ～ R13	エイサーのPRや振興等を通して、エイサーの保存継承や観光客の誘客拡大を図る。	・エイサー会館来場者数:15,176人 ・沖縄全島エイサーまつり来場者数:309,000人	・エイサー会館来場者数:28,872人 ・沖縄全島エイサーまつり来場者数:360,000人	◎
07 沖縄市	1 ⑦	観光宣伝事業	H25 ～ R13	国内外での観光PR活動を実施することで、本市の認知度向上及び誘客拡大を促進するとともに、滞在型観光の推進を図る。	・主要ホテル宿泊延べ人数:167,774人	・主要ホテル宿泊延べ人数:292,591人	◎
07 沖縄市	1 ⑧	文化芸能推進事業	H25 ～ R13	文化芸術祭や本市の伝統芸能を中心とした公演を開催し、文化芸能に触れる機会の提供による、文化芸能への関心・理解を深めるきっかけをつくり、鑑賞者及び後継者の育成へとつなげる。	イベント参加者数 3,300人	イベント参加者数 5,365人	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	2 ①	スポーツコンベンション推進事業	H24 ～ R13	プロスポーツチームの応援機運醸成による市民のチームに対する愛着醸成や、アウェイツーリズムの推進によるアウェイ観戦者の市内宿泊割合の増加、これらの取り組みによるホームゲーム年間来場者数の増加を図る。 また、スポーツコンベンションシティの推進に向け、2023年FIBAバスケットボールワールドカップの機運醸成及びレガシー構築に関連するイベントを開催するとともに、アーバンスポーツパーク整備に係る調査等を実施する。	①ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数:281,916人 ②スポーツツーリズムコンテンツの活用件数:8件 ③アウェイ観戦者の市内宿泊割合:30% ④アーバンスポーツパーク整備基本設計の策定:1件 ⑤W杯の開催記念イベント 来場者数:32,000人／2日間	①256,605人 ②0件 ③46% ④1件 ⑤:21,000人／2日間	○
07 沖縄市	2 ②	モータースポーツ推進事業	H27 ～ R13	モータースポーツ振興イベントを開催し、モータースポーツ愛好家等の観光誘客を図るとともに、モータースポーツの聖地化に向けた取組を推進する。	・イベント来場者数:42,000人	・イベント来場者数:28,000人	○
07 沖縄市	3 ①	緑化景観推進事業	H30 ～ R13	沖縄市の玄関口である南インター前に四季折々の植物を配置することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:89.84%	◎
07 沖縄市	3 ②	リュウキュウマツ保全事業	R3 ～ R13	沖縄独自の景観を保全するため、在来種であるリュウキュウマツの幹に薬剤を注入し、松くい虫による枯死被害を防止する。	薬剤を注入した約120本のマツのうち、約116本(97%)の枯死被害を防止	100%	◎
07 沖縄市	4 ①	こども科学力育成事業	H24 ～ R13	こどもたちが、科学の面白さや学ぶことの楽しさを学校で体験する出前科学講座の開催や科学クラブの設立に向けた支援を行う。	・参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったか(参加児童生徒へのアンケートで、満足度96%以上)	アンケート結果:98.4%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	4 ②	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24 ～ R13	児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学習支援員、外国語指導助手等を配置することにより、きめ細やかな指導の充実に取り組む。	①全国学力調査において、国と本市との平均正答率の差 小学校: 国との差±1ポイント以内を目指す。 中学校: 国との差－5ポイント以内を目指す。 ②全国学習状況調査における設問、小学6年生「5年生までに受けた授業は自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたか」、 「中学3年生」「1、2年生までに受けた授業は自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたか」 目標: 小中学生ともに全国平均以上	① 小学校: 国との差 -3.8ポイント 中学校: 国との差 -11.1ポイント ②-2.7ポイント	未
07 沖縄市	4 ③	気になる子等の学びを支援する事業	H24 ～ R13	特別な支援が必要な子に対し、幼稚園、小中学校までの継続的な支援を行う。 また、不登校や学力不振の児童生徒への登校支援、学習支援を行う。	・特別支援教育について、対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 85%以上 ・教員及び児童デイサービス関係者にモデル事業への満足度を調査し有効性を確認する(目標値: 満足度75%以上) ・不登校児童生徒登校復帰率 30%以上	①81.6% ②66.6% ③9.0%	未
07 沖縄市	4 ④	青少年等支援事業	H25 ～ R13	巡回指導、相談、支援を行い、青少年等の健全育成を図る。	①午前・午後巡回指導件数 前年度比 10.3%増 ②夜間・合同街頭指導件数 前年度比 28.7%減 ③若者の主訴改善件数 23%増	① 84.2%増 ② 26.2%増 ③ 76.9%増	未
07 沖縄市	4 ⑤	中学生海外ホームステイ派遣事業	H25 ～ R13	国際的な広い視野を持った人材を育成するため、市内中学校の生徒を対象にホームステイ活動を支援し、異文化交流体験をとおして、国際理解教育を推進する。	・保護者へのアンケートで、プログラム終了後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合90%以上	アンケート結果: 83%	未
07 沖縄市	4 ⑥	学校ICT活用支援事業	R4 ～ R13	児童生徒の情報活用能力の育成を図るため、ICT支援員を学校へ派遣し、授業等においてICT(校務用PC、教育用PC、電子黒板、デジタル教材など)が効果的に活用されるよう支援する。	授業にICTを活用して指導できる割合: 80%以上 ICT活用により、授業がわかりやすかったと答えた児童生徒の割合: 80%以上	①100% ②94%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	4 ⑦	生活困窮者学習支援事業	R4 ～ R13	高校進学を促進し貧困の世代間連鎖を防ぐため、被保護世帯の中学1・2年生に対し、学習支援を行い、基礎学力や学習意欲の向上を図る。	①学習教室への出席率:85%以上 ②通学生徒の学力テスト点数増加率:10% ③通学生徒の高校進学率:95%以上	①82.7% ②10.4% ③98.7%	◎
07 沖縄市	5 ①	就労等支援事業	H24 ～ R13	若年者や子育て世代等に対する就労相談や各種セミナー等を実施し、求職者の就職決定に繋げる。また、実践的・専門的なITスキル習得の研修を実施し、デジタル技術に対応した人材の育成を図る。	①就職決定者数:250名 ②職場体験/デジタル人材育成研修参加者へのアンケートで、職業理解/デジタル技術に関する理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	①就職決定者数:228名 ②アンケート結果:86%	◎
07 沖縄市	5 ②	産業集積推進事業	R2 ～ R7	創業ワンストップ相談窓口や投資家・金融機関との面談機会を設ける等、スタートアップ支援を行うことにより、関係人口を増加させながら、企業誘致に取り組み、質の高い雇用の創出や市民所得の向上を図る。	①創業スクール卒業生:15名以上 ②創業者数:20名 ③スタートアップ企業誘致:5社	①39名 ②69名 ③8団体	◎
07 沖縄市	6 ①	地域防災対策事業	H24 ～ R13	自主防災組織の結成及び体制を強化し、地域防災力の向上を図るため、資機材、倉庫の整備を行う。	・整備した防災資機材等を活用した避難訓練を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 ※防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練するものとする。	避難訓練回数:16回	未
07 沖縄市	7 ①	キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業	R4 ～ R9	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、跡地利用整備計画(案)の作成をする。	跡地利用整備計画(案)の作成	跡地利用整備計画(案)の作成	◎
07 沖縄市	8 ①	東部海浜地区開発事業	H25 ～ R13	東部海浜地区の認知度向上を図り、同地区の利活用が円滑に行われることを目的に、市民や県民等に対して東部海浜地区開発事業のPRを行うとともに、広報資料等の作成、スーパーヨット誘致効果等の検証、事業アドバイザー業務を行う。また、効果的に東部海浜地区等への企業誘致を図るため、県外企業にヒアリングを行う。	①公募条件整理に向けたヒヤリング(サウンディング)の実施6回(22件) ②来場者等へのアンケートによる認知度(60%以上)向上を含め、本事業のあり方について検証する。 ③広報資料等作成業務実施 ④スーパーヨット誘致効果等検証業務実施 ⑤事業アドバイザー業務実施	-	繰

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	9 ①	平和推進事業	H30 ～ R12	沖縄戦の体験や教訓を考える取組を行うとともに、沖縄戦への理解を深め、平和を発信する。	①参加者数 1,200人 ②第2次沖縄市平和事業推進アクションプラン策定	①1099人 ②策定	○
07 沖縄市	10 ①	商店街等活性化事業	R1 ～ R13	令和元年度に実施した調査等を基に、課題を整理し銀天街地域のコミュニティ形成に取り組むことの出来る人材を育成するとともに、誘客効果のあるイベントの企画運営によりにぎわいを創出することで、地域の魅力を高める。	①交流拠点の来客・問い合わせ対応件数(400件) ②イベントのべ集客数(500名)	①424件 ②5,222名	◎
07 沖縄市	11 ①	沖縄こどもの国施設整備事業	H24 ～ R8	沖縄県で唯一の本格的な動物園や科学館等を有し、広域的な児童・青少年のための人材育成拠点施設である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき施設の整備をおこない、観光誘客及び人材育成拠点の充実を図る。	・沖縄こどもの国周辺エリア地域連携計画の策定 ・備品購入 ・園内Wi-Fi整備工事の完了 ・カンガルー舎周辺環境整備工事の完了	-	繰
08 豊見城市	1 ①	とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタ事業	H25 ～ R13	県内外及び国外へ、本市の成長力、若い力及び市特産品を広くアピールするとみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの開催に負担金を交付する。	・とみぐすく祭りの来場者数：60,000人	・とみぐすく祭りの来場者数：51,520人	○
08 豊見城市	1 ③	豊見城市観光施設環境美化強化事業	R4 ～ R12	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、大型商業施設及び宿泊施設などが所在する豊崎、瀬長地域の市道植樹樹の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・来訪者へのアンケートで魅力的な観光地としての景観形成を図られたと回答した割合：81%	◎
08 豊見城市	1 ④	オリオンECO美らSUNビーチ観光整備事業	R4 ～ R5	豊崎海浜公園の来園者数の増加に向けた遊泳エリア等の環境改善・施設整備を行い、観光振興及び地域活性化を図る。	航路浚渫、施設備品整備の完了	-	繰
08 豊見城市	1 ⑤	文化観光創出事業	H24 ～ R7	平成25年度策定の「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、必要な施設等の設計や整備等を実施する。	・実施設計、基礎調査業務、磁気探査業務の完了。 ・整備工事の完了。	-	繰

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
08 豊見城市	1 ⑥	第2次豊見城市観光振興計画 策定事業	R5 ～ R5	第1次観光振興計画における各施策の取組成果を検証し、その結果と社会情勢や環境の変化を踏まえた観光政策の指針となる第2次観光振興計画を策定する。	第2次豊見城市観光振興計画の策定完了	-	繰
08 豊見城市	1 ⑦	豊見城市観光PR事業	R4 ～ R5	首都圏において本市の物産展と、本市の観光・文化等についてのPR展を併せて開催し、ノベルティの配布やアンケート調査等を実施する。	実施場所における来場者数 首都圏 5,500名以上(3日間)	・物産展・PR展の来場者数:5,618人(3日間)	◎
08 豊見城市	2 ①	特別な支援を必要とする子の 巡回相談事業	H26 ～ R13	特別な支援を必要とする子の保護者や保育士を支援するため、臨床心理士の専門指導員を配置し巡回相談・支援を行う。	臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者・保育士へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・保護者・保育士へのアンケートで臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたと回答した割合 (保護者:81.1%、保育士:79.7%)	○
08 豊見城市	2 ②	発達支援保育事業	R4 ～ R13	支援を必要とする子を預かる施設を対象に、保護者が安心して預けることのできる環境の整備を行うため、加配保育士等の人数に応じて補助金を交付する。	・加配保育士の対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる児童保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・市内障害児(対象児)に必要な加配保育士の人数に対する実際に配置できた人数(85%以上)	・保護者を対象にしたアンケートで加算保育士への対応に満足したと回答した:87% ・必要な加配保育士の人数に対して実際に配置できた人数の割合:100%	◎
08 豊見城市	3 ①	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R13	特別な支援を必要とする児童生徒に対し教育活動の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、教育活動の充実を図る。	特別支援教育支援員の配置による対応満足度(80%以上)と今後の事業のあり方について保護者アンケートを実施する。	・保護者を対象にしたアンケートで特別支援教育支援員の配置による対応について、満足と回答した割合:73.9%	未
08 豊見城市	3 ②	学力向上サポート事業	H24 ～ R13	小中学校において担任教諭の授業補助を行い、個に応じたきめ細かい支援を行うため、学力向上推進補助員を配置し、学力向上へと繋げる。	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ①小学校:+2.6ポイント以上 ②中学校:+0.0ポイント以上	①小学校:+1.7ポイント ②中学校:+1.7ポイント	△
08 豊見城市	3 ③	スクールソーシャルワーカー 配置事業	H27 ～ R13	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境改善のため関係機関とのネットワーク構築を図るためスクールソーシャルワーカーを配置し、環境改善に向けた支援を行う。	支援対象ケース改善率:51.8%以上 (改善ケース件数/支援対象ケース件数)	・支援対象ケースの改善率:30.4%	未

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
08 豊見城市	3 ④	不登校等対策支援事業	H24 ～ R13	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し、各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談、学習支援など適切な指導を行い学校復帰や社会的自立に向けて支援を行う。	不登校児童生徒復帰率:20%以上 (学校復帰人数/新規不登校者数)	・不登校児童生徒復帰率:18.1%	未
08 豊見城市	3 ⑤	英語教育推進事業	H25 ～ R13	グローバルな社会情勢の変化に適応していく上で重要な素養と基礎知識を身に付けるため、中学校に外国人英語講師を配置し、小学校に日本人英語講師を配置する。	【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合80%以上 【中学校】 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+0.0ポイント以上	【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合:78.7% 【中学校】 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+1.2ポイント	△
08 豊見城市	3 ⑥	ICT教育推進事業	H24 ～ R13	わかりやすい授業による児童生徒の学力向上と情報活用能力の向上に向けたICT機器等の整備及び情報教育指導補助員を派遣し、グローバル社会、情報社会に対応できる人材の育成を図る。	①教員にアンケート調査を実施し、情報教育指導補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。 ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	・教員を対象としたアンケートでICT機器の熟読度が上がったと答えた割合:90.03% ・自動生徒を対象としたアンケートでICTを活用した授業がわかりやすかったと答えた割合:92.8%	◎
08 豊見城市	3 ⑦	児童生徒等派遣費補助事業 (部活分)	H25 ～ R13	本市児童生徒等がスポーツ及び文化活動において、県外又は離島大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	・児童生徒を対象としたアンケートで視野が広がったと回答した割合:100%	◎
08 豊見城市	3 ⑧	児童生徒等派遣費補助事業 (部活外)	H25 ～ R13	本市の児童生徒及びその指導者がスポーツ及び文化活動において、代表選手として県内離島又は県外等で開催される大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。	補助対象者の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	・児童生徒を対象としたアンケート視野が広がったと回答した割合:100%	◎
08 豊見城市	3 ⑨	青少年国際交流事業	H25 ～ R13	市内在住の中学生をハワイ州へ派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供して、次代を担う国際的な人材を育成する。	派遣後、団員アンケートを実施し「将来、国際関係の仕事をしたいまたは国際科に進学したい」と回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する	・本事業に参加した中学生で「将来、国際関係の仕事をしたいまたは国際科に進学したい」と回答した割合:79%	○

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
08 豊見城市	3 ⑩	お仕事体験事業	H30 ～ R13	豊見城市在住の小中学生を対象に、将来の職業観を育むため、仕事の疑似体験ができるイベントを実施する。	就業意識が向上したか(85%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・児童生徒を対象としたアンケートで就業意識が向上したと回答した割合:93.5%	◎
08 豊見城市	4 ①	デジタル博物館事業	R2 ～ R11	地域の歴史・文化に育まれた地域知的資産情報を電子化・コンテンツ作成・集約・整理・連携を図り、公開・普及啓発を行う。	webサイトアクセス数 66,000回/年 地域資料共有報告書発行種類 2種類	webサイトアクセス数 68,300回/年 地域資料共有報告書発行種類 2種類	◎
08 豊見城市	5 ①	サッカーキャンプ誘致推進事業	R1 ～ R13	サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入環境を強化し、継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。	サッカーキャンプ誘致件数:2件/年	サッカーキャンプ誘致件数:1件/年	未
08 豊見城市	5 ②	スポーツコンベンション拠点機能向上事業	R2 ～ R5	バレーボール等のナショナルチームレベルの合宿が可能になるよう備品購入を行うことで、継続的な合宿誘致を実現する。	市民体育館バレーボール用サーブマシン:1台	-	繰
08 豊見城市	6 ①	豊見城市総合交通戦略推進等支援事業	R5 ～ R9	公共交通不便地域における移動手段の確保及び路線バス等の公共交通利用促進に向けた意識啓発、公共交通関係者で組織する協議会の開催支援を行う。	市内一周線バスの利用者数 前年度比1%増	市内一周線バスの利用者数 前年度比10.6%増	◎
08 豊見城市	6 ②	低炭素社会構築事業	R5 ～ R5	公共施設を省エネ化することで、自然環境に配慮したまちづくりを推進するため、市立中央公民館の空調設備の機能強化を行う。	空調設備の機能強化工事の完了	・空調設備の機能強化工事の完了	◎
09 うるま市	1 ①	観光客誘客促進PR事業	R1 ～ R6	うるま市の魅力をPRをするため、県外でのプロモーション・市内イベントの実施・メディアを活用した情報発信を実施し、「観光のうるま」のイメージを定着させ、市外からの誘客促進を図る。	・市内イベント参加者 5,000人以上 ・主要観光施設の入場者数 目標値 355,051人	・市内イベント参加者 7,700人 ・主要観光施設の入場者数 323,713人	◎
09 うるま市	1 ②	共創型ワーケーション推進事業	R4 ～ R6	都圏企業と地元企業及び行政との事業共創・地域課題解決のビジネスモデル化を促し産業振興を図るため、共創型ワーケーションプログラムを開発し実施する。	事業共創案件 3件	事業共創案件 3件	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
09 うるま市	1 ③	めんそーれうるま！キャンプ・合宿事業	R1 ～ R7	・スポーツ合宿誘致活動 ・国内プロスポーツチームを活用したプロモーション ・受入環境整備(具志川多種目球技場) ・受入環境整備(与那城陸上競技場)	キャンプ・合宿件数 10件以上		繰
09 うるま市	1 ④	モータースポーツ振興推進事業	R4 ～ R6	R4年度に実施した可能性調査の結果を基に、本市において実現可能性のあるモータースポーツ競技の実証イベントを実施することにより、市民ニーズの把握や意識の醸成を図り、具体的な実施計画の策定について検討を行う。	実証イベントの来場者数 5,000人	実証イベントの来場者数 1,637人	未
09 うるま市	1 ⑤	「闘牛のまち・うるま」PR事業	R4 ～ R6	闘牛文化の保存・継承・活用と観光・商工業の活性化を図るため、うるま市の闘牛文化をPRする。 SNS等を活用した闘牛情報の発信、闘牛文化PRイベント及び入場料無料の闘牛大会の開催、闘牛関連グッズ、飲食メニューの開発継続等を行う。	①観光闘牛開催回数年12回以上 ②闘牛関連グッズ・飲食メニュー販売店舗年間3社以上増加	①観光闘牛開催回数年12回 ②闘牛関連グッズ・飲食メニュー販売店舗年間3社増加	◎
09 うるま市	1 ⑥	観光防災危機管理対策事業	R3 ～ R3	平常時からの減災対策として、観光危機管理対策に関する知識等の普及啓発を図る。	・勉強会新規参加事業者数:8団体 ・訓練新規参加団体:3団体	・勉強会新規参加事業者数:3団体 ・訓練新規参加団体:1団体	未
09 うるま市	1 ⑦	勝連城跡を中心としたうるまの総合的魅力プロモーション事業	R4 ～ R5	勝連城跡を中心としたうるまの文化・観光・物産等の総合的魅力プロモーションを実施し、市内周遊滞在型の観光誘客を図ることを目的とし、実行委員会へ補助金交付を行う。	・首都圏におけるシティプロモーション事業の実施 ・首都圏における事前PRプロモーションの実施	完了	◎
09 うるま市	1 ⑧	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24 ～ R8	世界遺産として登録されている勝連城跡の周辺に体験・交流及び観光客の誘客を図るため複合的な文化観光拠点施設を整備する。 今年度は魅力向上誘客強化、駐車場整備工事(その2)を行う	歴史文化施設魅力向上誘客強化委託業務の完了 駐車場整備工事(その2)の完了	歴史文化施設魅力向上誘客強化委託業務の完了 駐車場整備工事(その2)の完了	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
09 うるま市	2 ①	津堅島農業活性化事業	R1 ～ R7	島の5割が優良農地にも関わらず灌漑施設が未整備である津堅島において、散水作業を行う。また、有人離島における農業経営に必要な堆肥等の円滑な供給を図るため、海上輸送費の一部を補助することで津堅島農業の活性化を図る	津堅島農業支援業務の完了	津堅島農業支援業務の完了 津堅ニンジン生産量 0.8t/10a	○
09 うるま市	2 ②	うるま市の頑張る農業を応援します事業	H30 ～ R7	生産施設の整備及び農業用機械の導入に必要な支援を行い、農作物の出荷量の向上を図る。	強化型パイプハウス設置及び農業用機械の導入の完了	強化型パイプハウス設置 1,242㎡/4000㎡ 農業用機械の導入 一式	△
09 うるま市	2 ③	病害虫防除資材補助事業	R4 ～ R8	事業実施主体による市内農家の病害虫防除に係る資材の購入経費補助事業に対して補助金を交付する。	病害虫の適期防除により蔓延予防を目的とする。	病害虫の蔓延予防	◎
09 うるま市	2 ④	うるま市農水産業振興戦略拠点施設機能強化整備事業	R4 ～ R5	うるま市農水産業振興の一層の充実を図るため、拠点施設であるうるま市農水産業振興戦略拠点施設(うるマルシェ)の機能強化を図る。	防風設備設置の完了		繰
09 うるま市	3 ①	商品プロモーション事業	H25 ～ R13	市内事業者の販路拡大や売上の向上を図るため、物産展への出展、商談会の開催、PR活動、商品開発等の支援を行う。	R4実績を踏まえ設定。 ・物産展の1事業者平均売上額80,400円以上 ・商談成立件数12件以上 ・参加事業者へのアンケートで商品開発等への参考となったか(80%以上)	・物産展の1事業者平均売上額67,000円 ・商談成立件数8件 ・参加事業者へのアンケートで商品開発等への参考となったか(89%)	○
09 うるま市	3 ②	国際物流トライアル推進事業	H30 ～ R13	市内事業者の新たな物流モデル構築の取組に対して実証実験を実施し、取扱貨物量の増加を図る	○新規航路実証試験 1件以上 ○東ふ頭を利用する新たな荷主企業の獲得 3件以上	○新規航路実証試験 1件 ○東ふ頭を利用する新たな荷主企業の獲得 12件	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
09 うるま市	3 ③	研究開発支援事業	H30 ～ R8	市内に立地する企業に対し、研究開発費を補助することで新商品の開発及び高付加価値商品の開発促進を図ることを目的とする。 さらに、企業が行うデジタル技術を活用した産業波及の大きな事業開発、技術革新を伴うサービス開発に対して社会実装に向けた費用を補助することで市内企業のDX化を支援し産業振興を図る。	商品・技術開発件数:9件	商品・技術開発件数:8件	○
09 うるま市	3 ④	うるま市石川地域まちづくり推進事業	R4 ～ R6	R4度に策定した石川地域まちづくり推進計画に基づき、石川庁舎周辺の公共施設の活用推進並びに石川IC周辺の活用推進となる「石川ゲートウェイ拠点形成基本計画」を策定する。	・石川ゲートウェイ拠点形成基本計画の策定 ・公民連携導入調査の実施	・石川ゲートウェイ拠点形成基本計画の策定 ・公民連携導入調査の実施	◎
09 うるま市	3 ⑤	勝連・与那城地域まちづくり推進事業	R4 ～ R7	海中道路入口周辺や県道37号線沿線整備にむけた調査・検討を行い、観光資源等のソフトパワーを基軸とした新たな観光産業の創出及び観光施策の展開を行うための構想を策定する。	海中道路入口周辺活用拠点構想計画の完了	海中道路入口周辺活用拠点構想計画の完了	◎
09 うるま市	3 ⑥	企業誘致推進事業	H24 ～ R7	沖縄が東アジアの中心に位置する地理的優位性や当市における投資環境を企業誘致推進役を介して企業へPRすることにより誘致へ繋げ、新たな産業の振興と雇用の創出を図る。	①投資環境ツアーへの参加企業:10社以上 ②開発事業者へのアプローチ:10社以上	①投資環境ツアーへの参加企業:20社 ②開発事業者へのアプローチ:13社	◎
09 うるま市	4 ①	就労支援事業	H24 ～ R12	街角コンタクトセンターを設置し、市内求職者及び就業者に対しキャリアカウンセリングを行うと共に、以下の各対象者それぞれのニーズ合わせたりカレント講座(高卒認定、ビジネスマナー等)やリスキリング講座(PCスキルアップ講座、介護初任者研修等)等の各種セミナーを行う。また、合同企業説明会の開催やインターンシップ等を実施し求職者と企業のマッチングを図る。	就労支援を行った新規雇用者数:350人以上	就労支援を行った新規雇用者数:237人	未
09 うるま市	4 ②	地域雇用人材育成事業	H24 ～ R13	新規雇用者を対象に、雇用後に行われる人材育成(OJT、OFF-JT等)支援を実施し、地域人材の雇用促進を図る。 また、テレワーカー人材を育成し、即効性のある市民の新たな収入源確保に繋げ、地域経済の立て直しを図る。	・新規雇用者を対象にした人材育成の完了 ・テレワーカーを対象にした人材育成の完了	・新規雇用者を対象にした人材育成の完了 ・テレワーカーを対象にした人材育成の完了	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
09 うるま市	5 ①	うるま型産業人材育成事業	R4 ～ R7	業界団体等や関連企業体が主体となつて必要な知識・技能を体系化し、人材育成カリキュラムの開発及び研修を行うことで、市内の人材の抜本的な能力向上を図る。	研修受講生の満足度 平均 80%以上	製造業部門 研修満足度 平均96% 情報通信産業部門 研修満足度平均93% バイオ産業部門 研修満足度平均91%	◎
09 うるま市	5 ②	島人ベンチャースクール事業	R4 ～ R6	所得や失業率が高い一方で、起業意欲が高い沖縄県及びうるま市において、起業支援を通して市民所得の向上を目指すことを目的とする。	起業者数 5組	起業者数(法人登記又は開業届出) 6件	◎
09 うるま市	5 ③	スポーツ力向上促進事業	R1 ～ R13	スポーツを通じた人材育成を目指して部活動加入率を向上させるため、トップアスリート等を招聘したスポーツ教室や講演会の開催及び専門的な知識を有する外部指導者(元アスリートや地域内における全国大会出場経験者等)と事業全体を円滑に推進するために必要なコーディネーターを配置し、学校・地域・専門家(外部指導員)が一体となった体制構築を図る。	・生徒等へのアンケート回答率 80% ・部活動加入率 60% ・教員へのアンケート回答率 80%	・生徒等へのアンケート回答率 94% ・部活動加入率 49% ・教員へのアンケート回答率 98%	○
09 うるま市	6 ①	ICTを活用した特色ある学校づくり事業	R2 ～ R13	児童生徒が減少傾向にある彩橋小中学校、津堅小中学校、与勝第二中学校の3校において、本市に拠点を置く企業と連携し、そのリソースを活用することにより、インターネットを利用した学校間・生徒間で協働で取り組む部活動やプロジェクト学習などを実施し、地域内外と連携して課題解決や価値創造に取り組める人材育成を図ることにより特色ある学校づくりを行い、生徒数の増加及び学力向上を図る。	参加した生徒のライフスキル自己評価 10項目平均10%増	参加した生徒のライフスキル自己評価 10項目平均0.4%増	未
09 うるま市	6 ②	学力向上対策推進事業	H24 ～ R13	児童・生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	・学習意欲の向上 ・自学時間の増加 ・学びの定着	・学習意欲の向上 小 -3.7(中-3.9) 小 +0.8(中-1.8) ・自学時間の増加 小学校 +3.6 中学校 -3.0 ・学びの定着 小学校 -7.5 中学校 -14	△

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
09 うるま市	6 ③	教育ICT支援員派遣事業	R3 ～ R7	ICT機器を効果的に活用し、児童生徒の学習意欲の向上を図るため、ICT支援員を各学校に派遣し、授業等でのICT機器の活用支援を行う。	児童生徒へのアンケート調査 「ICT機器を活用した学習活動により、学習意欲が向上したと思うか」:80%以上	児童生徒へのアンケート調査 「ICT機器を活用した学習活動により、学習意欲が向上したと思うか」:92%	◎
09 うるま市	7	伝統文化・民俗芸能伝承活動事業	R5 ～ R9	伝統行事や民俗芸能を継承する団体や自治会が、行事等を開催する際に必要な用具の購入や修繕、出演経費等を補助する。	伝統芸能やイベントへの出演回数:5回	伝統芸能やイベントへの出演回数:20件	◎
09 うるま市	8 ①	ひとり親家庭生活支援事業	H25 ～ R12	支援が必要なひとり親家庭の中でも自立する意欲のある家庭に対し、民間アパート等の居室を提供するとともに、就労や児童生徒の生活学習支援等を実施し、自立に向けた総合的な支援を行う。 また、各支援世帯に合った、より細やかな支援計画を作成し、支援の充実を図る。	①居室借上、転職・債務整理等により生活改善した世帯の割合(100%) ②就労スキルアップ講座資格取得者(20名) ③学習習慣の定着度(90%) ④高等学校卒業程度認定試験合格(2名)	①居室借上、転職・債務整理等により生活改善した世帯の割合(87.5%) ②就労スキルアップ講座資格取得者(7名) ③学習習慣の定着度(90.1%) ④高等学校卒業程度認定試験合格(2名)	△
09 うるま市	8 ②	中学校教育指導推進事業	H24 ～ R13	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを活用し、児童生徒の置かれた環境へ働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用するなど多様な支援方法を用い課題解決を図る。	・相談及び支援のべ件数 1000件 ・問題等を解決した件数 40件	・相談及び支援のべ件数 4,933件 ・問題等を解決した件数 323件	◎
09 うるま市	8 ③	教育相談事業	H24 ～ R13	教育相談室に相談員を配置し、幼児・児童生徒・教師・保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援し、課題の解決を図る。	相談件数実績に対するケース終結の割合を36%以上を目標にする。	相談件数実績に対するケース終結の割合を34.3%	未
09 うるま市	8 ④	適応指導教室事業	H24 ～ R13	小中学生の心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対し、適応指導教室を開級し、児童生徒に自立心や社会性を高めることを目指す。	体験活動に参加することができた割合91%以上 中学校3年生の卒業後の進路決定割合82%以上	体験活動に参加することができた割合81% 中学校3年生の卒業後の進路決定割合100%	△
09 うるま市	8 ⑤	作業療法士巡回相談事業	R4 ～ R13	発達障がい等により、学校生活にうまく適応できず困り感のある児童生徒の行動と心を理解し、支援方法や指導方法、環境調整等を工夫改善し課題解決への対応を図る。	・困り感が解消した割合 80%	・困り感が解消した割合 66%	未

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
09 うるま市	9 ①	うるま市島しょ地域振興事業	R4 ～ R5	新たな離島振興計画に掲げられている「島々がそれぞれの個性と潜在力を発揮し、活力と希望に溢れる地域社会を実現」するため、過疎化や高齢化が進み、活動できる人材が不足する離島において、離島を支える産業振興体制の構築とコミュニティ経済の振興に向け、多様な人材の関りにより産業振興・地域経済の活性化を図る。	・地域への滞在者(世帯)数 15世帯 ・プロジェクト創出数 5件 ・移住定住世帯数 5世帯	・地域への滞在者(世帯)数 12世帯 ・プロジェクト創出数 5件 ・移住定住世帯数 0世帯	△
09 うるま市	9 ③	津堅島フェリー車両運搬費支援事業	R5 ～ R9	津堅島住民の利便性向上と交通コストの低減を図るため、高額となっている津堅島フェリー車両運搬費の半額相当額を支援する。	車両運搬台数:前年度比 5%増 (参考) R3年度(R2年10月～R3 年9月) 車両運搬台数:2,420台	車両運搬台数:前年度比 14.7%増	◎
09 うるま市	10 ①	自主防災組織活動強化事業	H25 ～ R8	各種補助金(防災士育成・防災マップ・防災資機材)交付要綱に基づき、自主防災組織から補助金申請書を受受理し、実績に応じて補助金を交付。 また、R4年度に実施した防災士資格認定者を中心に、うるま市防災士連絡協議会(仮称)を立上げ、防災士の資質向上や防災教育、防災訓練など実働的な活動を通し、防災力向上を目指す。	防災士資格取得者数:50人(計96人) 防災資機材支援補助:10団体(計20団体) 防災減災マップ作成補助:30団体(61団体) 防災教育講座開催数:2回(受講200人以上)	防災士資格取得者数:18人 防災資機材支援補助:12団体 防災減災マップ作成補助:18団体 防災教育講座開催数:回	○
09 うるま市	10 ②	省エネ設備推進事業	R4 ～ R9	本市の有する公共施設の照明設備等を省エネ機器への切り替えを行い、温室効果ガスの削減を図る。	照明機器への切り替え完了(1施設)	照明機器への切り替え完了(1施設)	◎
09 うるま市	11 ①	新たな交通システム検討調査事業	R3 ～ R7	公共施設間連絡バスの実証実験を行いながら、ルートの検証を行い有償化に向けた市民懇談会を開催し、問題点を整理する。また、路線バスを活用した実証実験や津堅島において実証実験を行い、地域毎の交通ニーズを整理する。	公共施設間連絡バス 年間利用者数:19,000人 津堅島実証実験 実証期間利用者:2,200人	公共施設間連絡バス 年間利用者数:28,935人 津堅島実証実験 実証期間利用者:7,046人	◎
09 うるま市	11 ②	うるま市総合食育センター整備事業	R5 ～ R8	食育交流拠点としての機能を有した食育センターを、給食センターと一体的に整備し、食育の推進を通じた健全な食生活の確立に向けた取組を実施する。 ・R5:用地購入・物件補償 ・R6～R7:敷地造成 ・R6～R8:実施設計及び建築工事	用地購入・物件補償の完了。		繰

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
10 宮古島市	1	八重干瀬及び周辺地域自然環境保全活用促進事業	R4 ～ R9	R4年度では自然環境の概況調査を行っているが、特筆すべき生物群集の候補が多数確認されているので、その詳細調査を実施する。サンゴについてはR4年度に大規模白化による斃死が生じたと思われるため、その程度についても調査を行う。またR4年度では対象地域の地形図データを購入したことから、これを調査に利用すると共に、順次、関係者や市民等に公表していく。 加えてR5年度では国定公園指定を見据えて、保全体制構築の検討として関係者ヒアリング等を進める。	①約3.9万haの対象地域のうち、約10m以浅の海域及び隣接沿岸域について、サンゴ及び植生等を主とした生物群集特性を明らかにする。 ②R4年度業務の成果について、市民等を対象とした報告会を2回開催する。	①対象域の生物群集特性の把握 ②2回開催	◎
10 宮古島市	2	地産地消による地域内経済循環システム構築事業	R4 ～ R8	市内で消費する食料は、多くを域外から調達しており、地域経済の流出が生じていることから、地産地消による地域内経済循環促進と生産者及び関連事業者の所得向上を図るため、学校給食等における地産食材活用の推進、地産地消ブランドづくり、地域経済循環分析などに関するシステム作りを推進する。	学校給食における地産食材利用率の向上(20%以上)	23.5%	◎
10 宮古島市	3	地下水保全調査事業	H29 ～ R5	東添道・平良地下水流域の流域界位置精度向上調査を行う。	1)東添道・平良地下水流域の流域界位置精度向上調査の完了	完了(平良・東添道地下水流域界位置精度向上調査完了)	◎
10 宮古島市	4	宮古島市ひとり親家庭生活支援事業	R5 ～ R9	ひとり親家庭世帯の自立を図るため、自立に向けた具体的な目標及び意欲のある世帯に対し、民間アパートを活用した住宅支援や就労支援、子育て支援等を原則1年間行う	ひとり親世帯の自立率 65%	ひとり親世帯の自立率 58%	○
10 宮古島市	5	課題を抱える児童生徒の支援事業	H24 ～ R13	課題や問題のある児童生徒の生活環境や不登校の改善を図るため、個々に応じた適切な指導・支援を行うスクールソーシャルワーカーおよび問題行動学習支援員を配置する。	・不登校児童生徒のうち登校復帰または学びの場へつながった児童生徒の割合60%以上	不登校児童生徒のうち登校復帰または学びの場へつながった児童生徒の割合15%	未
10 宮古島市	6	選手派遣支援事業	H24 ～ R12	島外との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツや文化活動において、地区選抜代表選手として県大会や全国大会へ派遣される旅費に対し補助金を交付する。	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:99.7%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
10 宮古島市	7	救命処置普及強化支援事業	H28 ～ R13	①救命講習会受講者数 1300名以上 ②救命講習会受講者へのアンケートで適切な応急手当が 理解できたか(80%以上)を含め本事業のあり方を検証す る。	①救命講習会受講者数 1300名以上 ②救命講習会受講者へのアンケートで適切な応 急手当が理解できたか(80%以上)を含め本事業 のあり方を検証する。	①1,933名 ②アンケート結果:89.0%	◎
10 宮古島市	8	“宮古島産の牛”生産推進事 業	R4 ～ R13	肉用牛の生産拡大を図るため、素牛増産及び売上増加に 向けた支援を行う	・素牛の年間出荷頭数:3,972頭 ・素牛の平均販売額550千円	・素牛の年間出荷頭数:3,838頭 ・素牛の平均販売額:484千円	○
10 宮古島市	9	観光地アクセス道路環境美化 強化事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図る。	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道 路環境及び景観であるか(80%以上)を含め、観 光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり 方について検証する。	アンケート結果:83.6%	◎
10 宮古島市	10	観光地公園環境美化強化事 業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地と して利用されている公園の環境美化作業を行う。	観光地公園について、観光地としてふさわしい景 観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象とし たアンケートにより、本事業のあり方について検 証する。	アンケート結果:94.8%	◎
10 宮古島市	11	持続可能な観光地域づくり推 進事業	H24 ～ R13	宮古島市観光推進協議会による観光マネジメント及びプロ モーション活動、国内外の新規航空路線就航に向けたPR 活動を行い、官民連携して地域住民・環境に配慮した持続 可能な観光地域づくりを推進する。	・観光客の満足度75%	R5年度の観光満足度はR6.10月発表予定のため、後年度発現で検証する。	未
10 宮古島市	12	クルーズ船受入体制強化事業	H29 ～ R8	クルーズ船観光客の受入体制を強化し観光誘客を図るた め、観光案内所の運営、歓送迎セレモニーの開催、情報 の発信・収集等を実施する。	クルーズ船観光客観光消費単価13,400円	R5年度の観光満足度はR6.10月発表予定のため、後年度発現で検証する。	未
10 宮古島市	13	スポーツ施設整備促進事業	R5 ～ R5	照明LED化により、夜間でも利用しやすい環境を整え、 市民の健康促進とスポーツ合宿誘致による地域振興を目的とする。	スポーツ合宿誘致件数 26件	スポーツ合宿誘致件数 24件	○

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
10 宮古島市	14	観光循環バス自走化実証事業	R4 ～ R6	観光循環バスの将来的な自走化運行実現へ向けて、R4の実証結果を基にした採算性のあるルート・ダイヤの検討を行う。	事業採算性の改善を図るため、R4実証結果を基にしたルート・ダイヤの運行した上で、再度ルート・ダイヤの選定を行う。	選定	◎
10 宮古島市	15	下地島空港を活用した航空貨物輸送体制構築事業	R3 ～ R5	宮古圏域における農水産物等の移出量増及び滞貨状況の改善等を図るため、貨物上屋のない下地島空港において航空貨物輸送体制を構築する。	【R5成果目標】 下地島空港における航空貨物取扱量:630t/年	下地島空港における航空貨物取扱量:140.4t/年	未
10 宮古島市	16	宮古島市歴史文化活用推進事業	R5 ～ R9	宮古島市歴史文化資料館を拠点とした文化財(芋麻績み技術・文化及び埋蔵文化財を中心とする)の魅力を発信し、宮古島市の独自の地域文化の利活用の推進を図る	宮古島市歴史文化資料館の入館者数5,000人	宮古島市歴史文化資料館の入館者数2,086人	未
10 宮古島市	17	城辺詰所緊急車両(消防ポンプ自動車)導入事業	R5 ～ R5	城辺詰所緊急車両(消防ポンプ自動車)を導入し、災害時の被害抑制等、防災体制の向上を図る。	城辺詰所緊急車両(消防ポンプ自動車)導入事業完了	事業完了	◎
10 宮古島市	18	宮古島市観光景観形成推進事業	R2 ～ R5	電線類を地中化することで、景観に配慮した風景を形成し更なる観光地としての魅力向上を図るため、無電柱化を推進する。	ケーブル等機材購入・ケーブル入線工事。民地引込管路および連系管路工事。NTT既設ケーブルの地下化工事の完了。	-	繰
10 宮古島市	19	宮古馬利活用スタートアップ事業	R5 ～ R6	宮古馬の利活用に向けて、宮古馬放牧場での駐車場の整備や、宮古馬利活用者の育成及び堆肥場の整備を行い、市民及び観光客の利用方法について計画を行う。	放牧場への観光客利用者数1,000人	放牧場への観光客利用者数1,103人	◎
10 宮古島市	20	宮古島市総合博物館デジタル・ミュージアム推進整備事業	R5 ～ R7	①デジタルアーカイブシステム導入へ向けた事例収集 ②総合博物館デジタル・ミュージアム基本計画の策定 ③デジタルデータ作成用機材購入 ④計画に基づく令和6年度以降の事業費精査、算定	①総合博物館デジタル・ミュージアム基本計画書作成・報告 ②デジタルデータ作成用機材の購入	①先行事例等調査報告書の作成 ②機器の購入2件	◎
11 南城市	1 ①	スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ R13	プロサッカーチームのキャンプ誘致を図るため、市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、キャンプ受入に適した環境整備を行う。	プロサッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム以上	プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム以上	未

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
11 南城市	1 ②	デジタルアーカイブ事業	H30 ～ R13	地域学習の機会の創出及び観光誘客を図るため、南城市に所在する文化財等をデジタルアーカイブ化し、ウェブ上で公開する。	・デジタルアーカイブを活用した観光コンテンツの利用者数 延べ1,200人以上 ・デジタルアーカイブ閲覧数70,000pv以上	デジタルアーカイブを活用した観光コンテンツの利用者数 デジタルアーカイブ閲覧数	◎
11 南城市	1 ③	南城市歴史文化発信事業	R4 ～ R8	南城市の文化財の活用や伝統芸能を体験・体感を通じた地域振興を図るため、歴史文化発信拠点を整備する。今年度は基本計画の策定及び用地購入等を行う。	・南城市歴史文化発信拠点基本計画策定の完了 ・収蔵庫測量調査造成設計の完了 ・収蔵庫用地購入の完了		繰
11 南城市	1 ④	奥武島いまいゆ市場観光施設機能強化事業	R4 ～ R6	奥武島いまいゆ市場に飲食スペースの整備を行い、施設の利便性を向上させることで、更なる県内外の観光客を誘客し地域の活性化を図る。	実施設計の完了	実施設計の完了	◎
11 南城市	1 ⑤	観光地美化等環境整備事業	H28 ～ R8	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、東海岸を望む道路沿線や景勝地の環境美化作業を行う。	環境美化作業による草木処分量:70t/年	環境美化作業による草木処分量:70t/年	◎
11 南城市	1 ⑥	尚巴志ハーフマラソン大会を核とした地域振興事業	R5 ～ R7	県内屈指の人気スポーツイベントとして定着している尚巴志ハーフマラソンの観光連携、DX推進を図ることで、関係人口増加や地域経済の発展につなげる。	・アンケート調査の完了 サンプル数1000名 ・交流イベントの集客 1000名 ・尚巴志ハーフマラソン20回記念大会参加者数5,000名 ・アクションプランの策定完了	アンケート調査の実施調査の完了(サンプル数1000名) 交流イベントの集客(1000名) 尚巴志ハーフマラソン20回記念大会の開催ハーフマラソン20回記念大会参加者数(5000名) アクションプラン策定完了	◎
11 南城市	2 ①	学習支援員配置事業	H25 ～ R13	児童生徒の学力向上を図るため、市内の小中学校に学習支援員を配置し、児童生徒の習熟の程度に応じた学習支援を行う。	・小学校:児童生徒理解度調査の算数の満足度80パーセント以上 ・中学校:沖縄県学力到達度調査における中学1年生の数学の県の平均正答率の平均以上	・小学校:児童生徒理解度調査の算数の満足度80%以上 ・中学校:沖縄県学力到達度調査における中学1年生の数学の平均正答率の県平均以上	△

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
11 南城市	2 ②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、市内の公立認定こども園、小中学校に特別支援教育支援員を配置し、それぞれに対応した支援を行う。	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者のアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	◎
11 南城市	2 ③	ICT支援員派遣事業	R3 ～ R7	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図り、教育の質を確保するため、市内の小中学校にICT支援員を派遣する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上 ・教諭にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合が80%以上	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上 ・教諭にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合が80%以上	◎
11 南城市	2 ④	電子黒板等学校ICT機器機能強化整備事業	R4 ～ R7	GIGAスクール構想で整備したタブレット等との連携やICT慣用によるわかる授業、魅力ある授業の質を保証することを目的に、市内各小中学校へ電子黒板を整備する。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上	◎
11 南城市	2 ⑤	不登校児童生徒支援体制強化事業	R3 ～ R10	不登校児童生徒に対する更なる支援体制を強化するため、校務支援システムの導入、適応指導教室・校内自立支援教室の設置、不登校支援員の配置等を行う。	・適応指導教室の設置完了 ・校内自立支援教室の設置完了 ・不登校支援員の配置完了	校務支援システムのカスタマイズ、データ移行、グループウェアクラウド構築及び運用環境設定作業、メーカー研修が完了 適応指導教室、校内自立支援教室の設置完了 不登校支援員の配置完了	◎
11 南城市	3 ①	優良繁殖牛導入支援事業	H26 ～ R8	市内の肉用牛繁殖農家の経営の安定化に向けて、農家が生産する子牛の品質及び価格の向上を図るため、優良繁殖牛を貸し付けるものに対して支援を行う。	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合:117.1%以上	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合:117.1%以上	○

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
11 南城市	3 ②	優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ R8	酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の確保を図るため、優良乳用牛を導入し、市内の酪農家に貸し付ける。	南城市酪農・肉用牛生産近代化計画の目標値を 基に設定した。 乳用牛1頭あたりの 生産乳量:8,500kg(年間) 乳質(脂肪率):3.87%以上	・生産乳量(1頭):8,500kg以上/年 ・乳質(脂肪率):3.87%以上	◎
11 南城市	3 ③	南城市耐候性野菜栽培施設 整備事業	H27 ～ R6	気象条件に左右されにくい耐候性ハウスを整備すること で、農家の生産量の増加及び南城市産野菜の産地形成 を図る。	耐候性ハウスの整備完了	耐候性ハウスの整備完了	◎
11 南城市	4 ①	低炭素なまちづくり推進事業	H28 ～ R6	二酸化炭素排出量の削減を図るため、公共施設の照明 機器や空調機器を省エネ型の機器に切り替える。	照明機器取替工事の工事完了	(文化センター) 照明機器取替工事の工事完了 (大里中学校グラウンド) 屋外照明LED化によるCO2削減量	◎
11 南城市	4 ②	南城市エコリサイクル推進事 業	R5 ～ R5	刈草や伐採樹木等の資源化(チップ化)に係る資機材を 整備し、ゴミ減量化、3R推進に繋げ、自然環境の保全を 図る。	資機材購入完了	資機材購入完了	◎
11 南城市	5 ①	なんじょう歴史文化保存継承 事業	H24 ～ R13	南城市の歴史・文化について調査研究を行い、冊子や 学習会等で普及し、その継承を図る。	学習会等への参加延人数 60人以上	学習会等への参加延人数 60人以上	◎
11 南城市	6 ①	南城市農畜水産物利用促進 拠点整備事業	R5 ～ R6	地元農畜水産物の高付加価値化に向けた加工品の製 造・販売を行う利用促進拠点機能を有する観光交流施設 を民間資金も活用して整備するため、用地購入及びマス タープランの作成を行う。	用地購入実施		繰
12 国頭村	1 ①	スポーツコンベンション観光振 興事業	H25 ～ R5	くいなエコ・スポレク公園施設で合宿を実施する県内外 の団体及び村民の健康づくりに寄与するため、利用者が 安全安心かつ快適に施設を利用できるよう必要な備品 を整備することにより、施設の機能強化を図る。	・陸上競技大会実施対応備品の購入 ・ラグビー用Hゴール設置実施設計及び工事の 完成・供用開始 ・合宿及び備品運搬用車両(2tトラック)の購入		繰

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
12 国頭村	2 ①	やんばるの自然環境保全事業	R4 ～ R6	村内の観光施設における外来種及び重要な種の分布状況を把握するとともに、必要に応じて外来種の対策を講じる。また、村営林道を中心とした監視体制強化及び外来種や希少種等の分布状況を把握するとともに、必要に応じて外来種対策を講じる。	・村内観光施設の外来植物減少率 A=60%以上 ・村営林道における無許可で設置されたトラップ N=0件	・村内観光施設の外来植物減少率 A=95% ・村営林道における無許可で設置されたトラップ N=0件	◎
12 国頭村	3 ①	観光施設機能強化事業	R4 ～ R5	観光誘客や環境教育の活用を図るため、本村における観光施設の機能強化を図る。	・やんばる学びの森遊歩道改修工事の完了 ・やんばる学びの森照明改修実施設計の完了 ・やんばる学びの森照明改修工事の完了 ・奥ヤンバルの里照明改修実施設計の完了 ・奥ヤンバルの里照明改修工事の完了 ・国頭村森林公園照明改修実施設計の完了 ・国頭村森林公園照明改修工事の完了 ・安田くいなふれあい公園照明改修工事の完了		繰
12 国頭村	4 ①	国頭村農林水産物販売強化事業	R5 ～ R6	国頭村産農林水産物の新たな市場を獲得するため、国頭村産農林水産物の魅力を発信し、都心部での販売促進など販売力強化を図る。	本事業での取引の価格の上昇 県の拠点産地の認定を受けている作物 ・マンゴー 単価 1,590円/kg ・タンカン 単価 455円/kg	本事業での取引の価格の上昇 県の拠点産地の認定を受けている作物 ・マンゴー 単価 2,000円/kg ・タンカン 単価 1,500円/kg	◎
12 国頭村	5 ①	国頭村畜産糞尿利活用調査事業	R5 ～ R5	畜産糞尿の賦存量を把握し、再生可能エネルギーとしての利活用の検討や事業実施の可能性について調査を行う。	畜産糞尿利活用調査の完了		繰
12 国頭村	6 ①	国頭村交通不便地域における2次交通実証事業	R5 ～ R6	持続可能で安定した公共2次交通の導入に向けて、コミュニティバスの実証実験を行う。	実証実験の実施、評価及び地域公共交通会議の開催	実証実験の実施、評価及び地域公共交通会議の開催	◎
12 国頭村	7 ①	星空観光推進事業	R5 ～ R6	国頭村が有する自然資源の中でも、新たな観光資源として注目を浴びている「星空観光」の魅力を発信し、さらなる事業推進を図る。	・星空観光を推進するホームページの公開 ・星空観光の普及を図る備品の購入	・星空観光を推進するホームページの公開 ・星空観光の普及を図る備品の購入	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
12 国頭村	8 ①	国頭村農産物加工施設整備計画策定事業	R5 ～ R5	市場における商品価値が低い農産物の高付加価値化を図るため、多様なニーズに応じた農産物の加工・貯蔵に対応できる農産物加工施設の実現に向けた計画策定を行う。	・計画の策定完了		繰
13 大宜味村	1 ①	大宜味村観光情報発信事業	H24 ～ R13	観光資源(文化財、自然資源、特産品、体験事業)などの情報をより効果的に広く発信するため、大宜味村産業まつりを開催し、誘客を促進する。 また、大宜味村の認知度向上を図るため、県内外でPRイベントを開催し、情報発信を図っていく	産業まつり参加者数 約5,000名 (参考 H29年度 役4,400名 H30年度 役4,700名 PRイベントの参加者数 約11,000名以上	・大宜味村産業まつり来場者数:4,761人 ・各実施イベント来場者数:約481,000人	○
13 大宜味村	1 ②	環境保全・美化推進事業	H28 ～ R13	地域住民や観光客の安全確保及び貴重な野生生物の保護を図るため、ハブ、野良犬、野良猫対策を行う。保護した猫については譲渡強化を図る。	①ハブ咬傷被害:0件 ②ヤンバルクイナの生息率:33.3%以上 ③保護した猫の譲渡:100件以上	①ハブ咬傷被害:0件 ②ヤンバルクイナの生息率:43.6% ③保護した猫の譲渡:59件	○
13 大宜味村	1 ③	ふるさと河川環境再生・活用整備事業	H26 ～ R9	観光誘客や観光教育の場としての活用を図るため、大川川とその周辺整備を行う。	・累計河川工事整備率 81% (2,109m/全体延長2,600m)	累計河川工事整備率:81%	◎
13 大宜味村	1 ④	塩屋湾周辺利活用推進事業	R4 ～ R7	本村の観光産業の振興を図り、かつ定住促進を進めるため、沖縄八景として指定されている塩屋湾の持続的な利活用に向けた調査及び計画策定を行う。	・塩屋湾水環境再生調査完了		繰
13 大宜味村	1 ⑤	大宜味村観光地安全対策整備事業	R5 ～ R5	大宜味村内の観光拠点を整備し、観光周遊ルートを形成することにより、観光客の受入体制を強化するとともに、災害時、安心安全に避難できるよう観光地整備を行い観光地形成に取り組む	雨天の増水に伴う消防の出動件数0件 雨天の増水に伴う死亡・事故件数0件		繰
13 大宜味村	2 ①	学習支援員配置事業	H25 ～ R13	学力の向上を図るため、村内小中学校に学習支援員を配置する。	・令和5年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 県平均値をさらに超える2.3ポイント以上 中学校 県平均値に近づく-0.6ポイント以上	・小学校:2.6ポイント ・中学校:-7.0ポイント	△

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
13 大宜味村	2 ②	地域支援員配置事業	H25 ～ R13	不登校および不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らない支援を行う。	不登校出現率10%以下	・小学校:0.7% ・中学校:1.2%	◎
13 大宜味村	2 ③	「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	H25 ～ R13	本村の自然や文化等についての学習機会を拡充し、人材の育成を図る。	講座受講者数:240名以上	講座受講者数:186名	○
13 大宜味村	2 ④	児童生徒等県外派遣支援事業	H26 ～ R13	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援する。	児童・生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、派遣された児童生徒の保護者に対するアンケートにより、当該事業のあり方について検証する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が県内ではできない経験をする事ができたとの回答割:100%	◎
14 東村	1 ①	特別支援教育支援員配置事業	H27 ～ R13	教育上、特別な支援を必要とする児童生徒が、円滑な学校生活が送れるよう、在籍する小中学校において特別支援教育支援員を配置する。	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へアンケート調査を実施し、当該事業のあり方について検証する。	支援員に対する満足度したとの回答:100%	◎
14 東村	2 ①	東村自然環境保全事業	R3 ～ R8	貴重な漁場及び観光資源となる海を保全するとともに産業振興を図るため、R4年度基本設計を基に赤土等流出が著しい古島川流域における土木的対策の実施設計を行い、赤土等流出の抑制を図るため検証事業を実施する。	R4年度に実施した調査測量基本設計を基に実施設計の完了。	R4年度に実施した基本設計を踏まえ、実施設計を完了させた。	◎
14 東村	3 ①	東村健康づくり事業	R3 ～ R6	村民の健康増進を図るため、(宮城区・川田区)の2地区に健康器具を設置する。	健康器具の設置工事の完了	健康器具の設置工事を完了させた。	◎
14 東村	4 ①	東村博物館機能高度化事業	R4 ～ R7	生涯学習に資することを目的に、文化発信拠点である村立博物館の施設機能高度化を実施する。今年度は実施設計を行う。	実施設計の完了	実施設計を完了させた。	◎
14 東村	5 ①	環境保全・ネコの適正飼養推進事業	R4 ～ R9	地域住民の安全確保及び世界自然遺産登録された貴重な自然生態系の保全のため、R4年度に実施したネコの実態調査を基に、本村における飼いネコの適正飼養推進及び飼い主不明ネコ・地域ネコの譲渡強化を図る。	ネコの捕獲数60頭	ネコの捕獲頭数:60頭	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
14 東村	6 ①	小中学校電子黒板設置事業	H26 ～ R5	将来の本村や沖縄振興に資する人材育成や沖縄が抱える学力向上における課題克服の為に村内小中学校の特別教室に電子黒板を整備し、児童生徒に解りやすく効果的な授業を実施し、学習意欲を高め学力向上を図る。	・児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)	児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったとの回答:94.1%	◎
14 東村	7 ①	東村コミュニティバスデマンド化実証実験事業	R5 ～ R6	現在、定時運行している東村コミュニティバスの利便性向上を図り、利用者の拡大を目指すためデマンド化実証実験を行う。	東村コミュニティバス利用者へアンケートを実施し、利便性の向上を実感したものの割合を60%以上とする。	東村コミュニティバス利用者へアンケートを実施し、利便性の向上を実感したものの割合:36%	未
14 東村	9 ①	避難経路整備事業	R5 ～ R6	地震・津波災害の対策における住民や観光客等の安心安全を確保するため、避難経路を整備する。今年度は実施設計を行う。	実施設計の完了	実施設計を完了した。	◎
14 東村	10 ①	産業支援住宅整備事業	H29 ～ R6	本村地域産業の推進と後継者・担い手の人材確保を図る為、産業支援住宅を整備する。	実施設計の完了	実施設計完了	◎
15 今帰仁村	1 ①	教育環境充実事業	H25 ～ R13	児童生徒、個々の特性に応じたサポートを行うため、各小中学校に支援員を配置する。	対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	◎
15 今帰仁村	1 ②	児童生徒等の県外派遣事業	H25 ～ R13	県外の人との競争や交流により、児童生徒の主体的なスポーツ競技への参画を後押しするため、村内児童生徒が各種スポーツ大会等に参加するための県外派遣の費用を支援する。	①事業申請(相談)件数:(10件以上) ②アンケートで「児童生徒の競技参画への主体性が増した」割合:(80%以上)	・事業申請(相談)件数:(10件以上) ・県外の人との競争や交流を通じて、児童生徒の主体的なスポーツ競技への参画につながったか(80%以上)	◎
15 今帰仁村	1 ③	キャリア教育推進支援事業	R2 ～ R13	農業が基幹産業の本村にとって高校卒業を機に村外へ出る生徒が少なくない。キャリア教育を通して基礎的・汎用的能力を育み、地域の良さと長所を違う場所から見たり、新しい環境に適應できる人材を育成する為、県外の世界を体験させ、より幅広い視野と選択肢を見つけるため、県外インターンシップ事業、プロデューサー育成事業等を行い、以て将来地域貢献・社会貢献できる人材の育成に努める。	本事業によって基礎的・汎用的能力が育まれ就業に対する意識の向上が図られたか(向上度80%以上)を含め、各プログラムに参加した児童生徒からのアンケートにより本事業を検証する。	就業に対する意識が向上したか(80%以上)を含め、各プログラムに参加した児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
15 今帰仁村	1 ④	教育支援事業	R2 ～ R13	特別支援教育の充実を図るため、村内小中学校において臨床心理士による巡回相談の実施や教育支援指導員による対象児童生徒の心理検査を実施し、障害を有する児童生徒に対する支援の強化を行う。	・対象となる児童生徒のうち、問題の解消や症状が改善したと判断した場合(67%以上)を含め、特別支援コーディネーターへのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	対象となった児童生徒のうち、問題の解消や症状が改善したと判断した割合(62%以上)を含め、養護教諭や特別支援員へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	◎
15 今帰仁村	1 ⑤	教育相談事業	R2 ～ R13	児童生徒の不登校や問題行動等カウセリングを充実させる。	児童生徒の不登校や問題行動、不安や悩みを改善する。 ・対象となる児童生徒が集団生活や日常生活に対応できるようになったか(80%以上)アンケートにより本事業のあり方を検証する。	対象となる児童生徒の不登校や問題行動等の課題解決につながったかを含め、学校及び保護者に対するアンケート(87%以上)により本事業のあり方を検証する。	◎
15 今帰仁村	1 ⑥	中高生海外語学留学支援事業	H25 ～ R13	海外でのホームステイ等を通じ、外国文化の交流を行うことで、国際的な広い視野を持つ人材育成を図る。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	◎
15 今帰仁村	1 ⑦	人材育成事業	H24 ～ R13	小学生を対象に、矢野健酒田市と将来のリーダー育成の為、交流事業を行う。南国沖縄にとって、本州の北に位置する東北地方はまさに「異文化」であり、異なる環境で生活している同年代と交流を行うことにより、子どもたちの視野の広がり及び教養に対する意欲と、将来に向けての刺激を与える。	交流を通じて児童の他文化に対する視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	交流を通じて児童の異文化に対する視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	◎
15 今帰仁村	2 ①	環境保全美化推進事業	H24 ～ R13	観光地として魅力的な景観形成を図るため、観光地及び観光ルートの美化を行う。また、併せて観光客の安全確保のため危険生物等の除去を行う。	今帰仁城跡及び観光地等の美化を行い、観光地として魅力的な景観が確保されているか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	今帰仁城跡及び観光地等の美化を行い、観光地として魅力的な景観が確保されているか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	◎
15 今帰仁村	2 ②	今帰仁城跡ガイド強化事業	H25 ～ R13	今帰仁城跡における無料案内ガイドの実施およびガイド内容の質の向上を図る。	ガイドによる来訪者の案内10,000名	ガイドによる来訪者の案内 10,000名	○
15 今帰仁村	2 ③	今帰仁村着地型観光推進事業	R1 ～ R13	教育旅行民泊事業者の受入体制強化及び誘致活動を行い、継続した着地型観光を促進する	・令和6年度の予約人数 13,500人(70校) ・2泊5食プランの増加(2校) ・リピート校の増加(2校)	民泊次年度予約数	○

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
15 今帰仁村	2	④	今帰仁村体験・滞在型観光推進事業	R3 ～ R13	村内宿泊滞在者を増やすため、宿泊を伴う自然体験や生活体験等の地域資源を活かした体験プログラムを創出する。	・ガイド(人財)育成 ・提携企業3社	・新たな宿泊体験プログラムの創出 ・体験プログラムの販売 ・連泊数3泊以上の村内宿泊観光客数300人増	△
15 今帰仁村	2	⑤	観光力基盤強化事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、村内で実施するイベントの支援を行う。 ・現代版組踊「北山の風」 ・古宇利ハーフマラソン ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり ・今帰仁まつり ・今帰仁ハーリー大会 ・三村交流事業 (運天港いいなまつり)	・現代版組踊「北山の風」来場者数:1,150人 ・古宇利ハーフマラソン村外からのエントリー者数:3,500人 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数:3,000人/日 ・今帰仁まつり来場者数:10,300人 ・今帰仁ハーリー大会参加者数:770人 ・三村交流事業来場者数:1,100人	・現代版組踊「北山の風」来場者数:1,150人 古宇利島ハーフマラソン来場者数:3,500人 今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数:3,000人/日 今帰仁まつり来場者数:10,300人 今帰仁ハーリー大会来場者数:770人	○
15 今帰仁村	2	⑥	観光地安全強化事業	H24 ～ R13	世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、繁忙期に駐車場、横断歩道等へ交通整理員を配置する。	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件。	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件	◎
15 今帰仁村	2	⑦	今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24 ～ R12	魅力的な景観形成を図る為、河川全体の自然環境を最大限に活かし、景観に配慮した河川の整備を行う。	全体計画における3.8%整備 (累積整備率74.3%)	全体計画における3.8%整備 (累積整備率74.3%)	○
15 今帰仁村	2	⑧	景観形成強化事業	H24 ～ R13	魅力的な景観形成を図る為、観光ルート且つ、昔ながらの景観が残る集落を対象に、景観に配慮した道路整備を行う。	景観に沿った道路整備を行う。また、次年度に工事予定箇所の測量設計委託業務を実施する。	景観に沿った道路整備を行う。また、次年度に工事予定箇所の測量設計委託業務を実施する。	◎
15 今帰仁村	3	①	今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業	H25 ～ R13	今帰仁村和牛改良組合員が沖縄県農業協同組合の貸付牛等を導入する際に1頭あたり50万円を上限に支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合105%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合	未
16 本部町	1	①	ハブ咬傷防止事業	H25 ～ R13	地域住民の生活圏や観光施設周辺などにおいて、ハブが多く出没していることから、捕獲器設置による駆除を実施することで、地域住民や観光客の咬傷被害防止を図る。	ハブによる咬傷被害件数0件	・ハブによる咬傷被害件数:0件	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
16 本部町	1 ②	伝統興行観光化事業	H25 ～ R8	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」、「古典・民謡」等を新たな観光資源として活用し、ナイター闘牛や闘山羊大会、伝統芸能等の夜間イベントを定期開催することで、観光客の誘致を図る。	・伝統興業来場者数:742人	・伝統興業来場者数:746人	◎
16 本部町	1 ③	もとぶマイクロツーリズム推進事業	R4 ～ R6	本町を訪れる観光客等に対し地域資源を案内するガイドツアーの企画・運営等を行う事務局員を配置し、観光ガイドの養成とスキルアップ研修を行い、地域住民主体のマイクロツーリズムの推進を図る。	町認定ガイドの養成(観光ガイド養成講座実施):15人/年	町認定ガイドの養成:0人/年	◎
16 本部町	1 ⑤	もとぶ観光地クリーンアップ事業	R3 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路の環境美化作業を行う。	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や町民へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観形成が図られたと回答した観光客、町民の割合:86%	未
16 本部町	1 ⑥	花いっぱい運動の推進事業	H24 ～ R13	観光地としての魅力的な景観形成を図るため、国道及び県道沿い等に花木の植付を行い、花いっぱいの環境づくりを行う。	観光地の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じたか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	観光地の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じたかと回答した観光客の割合:77%	◎
16 本部町	1 ⑦	本部町観光誘客周遊バス実証事業	R5 ～ R7	二次交通の整備による観光客の移動手段を確保するため、町内の観光施設等を巡る周遊バス運行に向けた実証実験を行う。	周遊バス利用者数 13,400人	周遊バス利用者数 12,240人	◎
16 本部町	2 ①	もとぶブランド牛改良促進事業	R4 ～ R6	肉用牛生産農家及び農業生産法人で生産する牛のブランド化に向けた改良を促進するため、採卵用優良雌牛の導入及び人工授精等を行うための機械器具購入を行う。	・人工受精卵移植の完了	・人工受精卵移植の完了	◎
16 本部町	2 ②	メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業	H28 ～ R8	本部町の地域の特性を活かしたもとぶ産品のPRや販売支援員の配置、町産品活用推進に向けた販促支援、物産展等への出展等を支援し、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	新規取引契約数 10件以上	新規取引契約数 10件	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
16 本部町	3 ①	テレワーカー人材育成事業	R4 ～ R6	町民を対象にテレワークに関する講習から就労支援までを一体的に実施することで、テレワーカー人材の育成を図る。	テレワーカーとして就労した人数(受講者の25%以上)	テレワーカーとして就労した人数(受講者の34%)	◎
16 本部町	4 ①	本部町学力向上学習支援事業	H26 ～ R13	町内小・中学校に学習支援員等を配置し、国語、算数・数学、英語及びその他の主要教科において児童生徒の学力に応じた個々の学習指導等を行うことにより、学力の向上を図る。	令和5年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -7.7ポイント以上 中学校 -4.0ポイント以上	令和5年度沖縄県学力到達度調査での県平均正との差 小学校 -8.32ポイント以上 中学校 -6.1ポイント以上	未
16 本部町	4 ②	特別支援教育環境充実事業	H28 ～ R13	特別な支援を要する園児児童生徒(心身の障害及び発達障害)に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを派遣することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、園児児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	特別支援員の対応への満足度について園児児童生徒の保護者へのアンケート:86%	◎
16 本部町	4 ③	本部っ子短期留学チャレンジ事業	H27 ～ R13	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休みを利用し町内中高生を英語圏へ短期間派遣または県内での宿泊英語学習を行う。	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広まったかについての保護者へのアンケート:93%	◎
16 本部町	5 ①	低炭素なまちづくり推進事業	R5 ～ R13	二酸化炭素の排出量の削減を図るため、公衆街灯路や公共施設等の照明機器を省エネタイプのLED照明に切り替える。	R5年度中に切り替えるLED照明による二酸化炭素排出量の削減●●kg-CO2/年	-	繰
17 恩納村	1 ①	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)	H24 ～ R13	観光客や地域住民のハブ咬症被害防止を図るため、村内各地に生息するタイワンハブ等のハブの駆除を行う。今年度はハブ捕獲器を450箇所に設置する。	捕獲器設置箇所周辺におけるハブによる咬傷被害件数:0件	捕獲機設置周辺における咬傷被害件数:1件	◎
17 恩納村	1 ②	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、イベント及びプロモーション活動を実施する。また観光客の利便性確保を図るため、村の観光案内所である文化情報センターへ観光案内人を配置する。	①イベント入場者数:8,000人以上 ②村内主要ホテルへの年間宿泊客数:延べ230万人以上 ③観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、観光案内所を訪れた観光客等にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	①11953人 ②246万人 ③82%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
17 恩納村	1 ③	赤間総合運動公園機能強化整備事業	R4 ～ R13	R4年度に策定した機能強化整備計画を基にR6年度からの工事開始に向け実施設計を行う。	設計業務2件の完了	設計業務完了	◎
17 恩納村	1 ④	観光地景観形成促進事業	R5 ～ R13	観光地恩納村の景観形成を図るため、枯木の伐倒や剪定を行い、安心・安全で快適な観光地として魅力的な景観の保護を図る。	観光客、住民からの観光地エリア(公有地)の繁茂した樹木や枯れ木等に対する苦情:0件 伐採・剪定作業の完了	苦情なし 伐採・剪定作業完了	◎
17 恩納村	2 ①	特別支援教育支援員配置事業	H29 ～ R13	特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。	特別支援教育支援員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	改善が図られた等の肯定的な回答が76%	○
17 恩納村	2 ②	学校ICT支援員配置事業	R5 ～ R13	小中学校にICT支援員を派遣し、教員がICT機器を授業等で活用できるようサポートを行い、児童生徒のGIGA端末を活用し、学力の向上や人材育成を図る。	ICT支援員の対応で教員のICT活用指導力の向上等が図られたか(80%以上)を含め、教員へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	ICT指導力の向上等が図られた等の回答が60%	○
17 恩納村	2 ④	日本語通級指導教室補助員配置事業	R5 ～ R13	外国籍児童の学習や学校生活の対応のため、英語の堪能な日本語通級指導教室補助員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。	日本語通級指導教室補助員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	改善が図られた等の肯定的な回答が100%	◎
17 恩納村	3 ①	恩納村景観むらづくり計画改定事業	R4 ～ R5	豊かな自然景観や歴史文化景観を保全し、良好な眺望景観の確保・創出を図るために、恩納村景観むらづくり計画の検討及び策定を行う。本年度は景観計画(案)をもとに住民説明会およびパブリックコメントを実施し、計画の策定を行う。また、準景観地区(山田地区等)の指定検討を行う。	・恩納村むらづくり計画(改訂版)作成 ・山田地区・準景観地区(案)報告書作成	・恩納村むらづくり計画(改訂版)作成完了 ・山田地区・準景観地区(案)報告書作成完了	◎
17 恩納村	3 ②	恩納村防災事業	H24 ～ R13	大規模自然災害が発生したと想定し各自治会、観光事業所等と連携し、避難訓練及び避難所運営訓練を実施する。又、防災倉庫や備蓄品を整備し、災害に強いまちづくりを推進する。	防災訓練の実施 防災倉庫の設置(1基) 備蓄食料及び資機材の整備	防災訓練の実施 防災倉庫の設置(2基)完了 備蓄食料及び資機材の整備完了	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
17 恩納村	4 ①	スマート農業と観光連携型農業推進による村内農産業の活性化に関する調査事業	R5 ～ R5	観光連携型農業事業の可能性及びスマート農業整備の可能性について調査し、「稼ぐ力」を目指した観光連携型農業の構築を図ることを目的とする。	スマート農業と観光連携型農業推進による村内農産業の活性化に関する調査の完了	スマート農業と観光連携型農業推進による村内農産業の活性化に関する調査の完了	◎
17 恩納村	4 ②	恩納村農業拠点産地品目等担い手育成研修施設整備事業	R5 ～ R5	農業分野で拠点産地認定を受けている品目の担い手不足を解消するため、農業担い手研修施設を整備し、担い手不足及び生産量の拡大を図る。	担い手育成研修施設の整備 3棟		繰
17 恩納村	5 ①	地域特産品等開発支援事業	R5 ～ R13	地域資源を活用した商品やレシピの開発、販売促進を支援することで地域経済等の活性化を図る。	○開発された商品 5品	○開発された商品 6品	◎
17 恩納村	5 ②	恩納村産業まつり実施事業	R5 ～ R13	本村で生産される農畜産物・水産物・加工品・お土産品・観光土産等を一堂に展示、販売、村内外へPRし、生産者及び事業者の売上向上に資することを目的に「恩納村産業まつり」の開催に係る運営費を実行委員会に補助する。	○出店者に対してアンケートを行い、恩納村産業まつりに出店し、農産物又は特産品等のPRに繋がったと感じる割合:8割	PRに繋がったと感じる回答割合が100%	◎
17 恩納村	6 ①	恩納村各種競技等の県外派遣に関する支援事業(部活分)	R5 ～ R13	本村の生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。	派遣された生徒の自立や意欲、競争能力が向上したか(保護者アンケート):80%以上	派遣された生徒の自立や意欲、競争能力が向上したか(保護者アンケート):100%	◎
17 恩納村	6 ②	恩納村各種競技等の県外派遣に関する支援事業(部活外)	R5 ～ R13	本村に在住の方で県代表として県外大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。	派遣された児童生徒の自立や意欲、競争能力が向上したか(保護者アンケート):80%以上	派遣された児童生徒の自立や意欲、競争能力が向上したか(保護者アンケート):100%	◎
17 恩納村	6 ③	恩納村アメリカホームステイプログラム派遣費支援事業	R5 ～ R13	次代を担う中・高生をアメリカ合衆国へ派遣することで、国際性豊かな視野を身につけ、国際交流推進の担い手となる人材育成を図るとともに、国際共通言語といわれる英語を直接現地で体験することで、観光立県を目指す沖縄県全体の振興に資する次世代の人材育成を図る。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合:80%以上	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合:100%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
17 恩納村	6 ④	恩納村アジア圏内(文化・交流)体験プログラム派遣費支援事業	R5 ～ R13	アジア圏内に小・中学生を派遣し、現地小・中学校の授業や学校行事への参加、現地家族との交流の中で外国語や文化に触れることで、国際性豊かな視野を身につけ、観光立県を目指す沖縄県全体の振興に資する人材育成を図る。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合:80%以上	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合:100%	◎
17 恩納村	6 ⑤	学力向上支援員配置事業	R5 ～ R13	授業における学習指導を補助し、学習内容の定着と思考力、判断力、表現力等の育成のために、個に応じたきめ細やかな学習支援を行うとともに不登校状態の児童生徒や教室に入ることが難しい支援が必要な児童生徒に対し、一人ひとりの特性や興味関心に応じて、個別最適で効率的な知識やスキルの習得、自立に向けた支援を行う。 また、デジタル学習ドリルを活用し、基礎基本の定着に向けた補習指導、個別学習など放課後学習支援を行う。	学力向上支援員の対応で学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	学力向上支援員の対応で学習上の困難の改善が図られたと回答した割合:78%	○
18 宜野座村	1 ①	阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H24 ～ R13	阪神春季キャンプ受入による観光誘客を図るため、防球ネットやテント、グラウンド等を整備し受入体制を強化する。	・阪神春季キャンプ見学者数(43,000人)	・阪神春季キャンプ見学者数 101,800人	◎
18 宜野座村	1 ②	宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24 ～ R13	村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保及び、村外からの誘客を図るため、宜野座村文化センターがらまんホールを中心に芸能文化・伝統芸能公演等の実施及び映像配信を行う。	・芸能文化・伝統芸能公演の集客数(2,916人以上) ・お出かけ公演対象者数(3,037人以上)	①2,849人 ②6,232人	○
18 宜野座村	1 ③	宜野座村着地型観光誘客推進事業	H25 ～ R13	宜野座村への観光誘客を図り、着地型観光を推進するため、観光誘客プロモーション活動やイベントの開催、観光人材の意図を行う。	宜野座村の観光入客数(20万人)	23.3万人	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
18 宜野座村	1 ④	宜野座村美ら島花火大会事業	H28 ～ R13	スポーツが盛んな秋の行楽シーズンに、プロ野球阪神タイガースのキャンプ施設等のある農村公園を中心とした場所で大花火大会を開催し、宜野座村の魅力を発信することにより観光誘客を図る。	美ら島花火大会集客数(14,500人/2日間)	20,010人	◎
18 宜野座村	1 ⑤	農村沿道景観向上事業	H31 ～ R13	村内の観光ホテル、民泊等の宿泊施設周辺の観光客散策ルートの除草等を実施し、安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観形成を図る。	安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観であったか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:72%	未
18 宜野座村	2 ①	小学校学力向上対策事業	H24 ～ R13	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を小学校に配置し、個々の児童の学力に応じた学習指導等を行う。	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) 小学校 5年・6年(算数)	5年算数(-7.7) 6年算数(+0.7)	未
18 宜野座村	2 ②	中学校学力向上対策事業	H24 ～ R13	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながらチームティーチングによる指導を行い、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置し、個々の生徒の学力に応じた学習指導等を行う。	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) 中学校2年(国語・数学・英語)	中2国語(-4.8) 中2数学(-10.0) 中2英語(-8.4)	未
18 宜野座村	2 ③	幼稚園預かり保育事業	H24 ～ R13	保護者が安心・安全に子どもを預けることができ、育児における負担感の軽減を図るため、村立幼稚園において預かり保育を実施する。	保護者が安心・安全に子どもを預け、育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、対象園児の保護者に対するネットアンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:100%	◎
18 宜野座村	2 ④	宜野座村ジュニア海外語学研修派遣事業	H28 ～ R13	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休み期間中に中・高校生6名を英語圏へ派遣する。	帰国後、保護者へアンケートを実施し、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%以上)を中心に、本事業のあり方を検証する。また、研修生OBへ追跡調査としてネットアンケートを実施し、本事業の在り方の検証を行う。	アンケート結果:88%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
18 宜野座村	3 ①	有機の里宜野座村確立事業	H24 ～ R13	①有機の里推進協議会を開催し、エコ農産物の生産販売拡大に向けた取り組みについて協議を行う。 ②農業栽培指導技術員により、農家に対し栽培指導(土づくり、害虫防除方法、台風対策等)を実施し安定した農産物の生産につなげる。 農業栽培技術員や農家と連携して有望な栽培品目について生産体制を構築する。さらに、特産品加工直場センターと連携して有望作物の情報やエコファーマーにつながる可能性の高い農家の情報、新たな販路の情報収集を強化しエコ農産物の生産拡大につなげていく。	①エコファーマー認定数 3名 ②エコ農産物販売目標 116t	①エコファーマー認定数 0名 ②エコ農産物販売目標 57.6t	未
18 宜野座村	3 ②	さとうきび営農指導委託事業	H28 ～ R13	本村の基幹作物であるさとうきびの増産を図るため、営農指導員による営農指導や巡回指導を行う。	令和5年さとうきび生産量 5,959t	令和5年さとうきび生産量 4,043t	未
18 宜野座村	4 ①	観光景観向上対策事業	H27 ～ R13	観光地の景観向上を図るため、監視カメラを設置及び観光ルートに専属の監視員を配置し、観光地に放置された不法投棄物の撤去等を実施する。	・観光地における不法投棄件数:0件/年	0件/年	◎
18 宜野座村	4 ②	危険生物駆除捕獲事業	H27 ～ R13	観光地におけるハブやハチ等の咬傷事故を未然に防ぎ、観光客や修学旅行生等の安全を確保するため、危険生物捕獲・駆除及びパトロールを行う。	観光客及び住民のハブの咬傷件数:0件	0件	◎
18 宜野座村	5 ①	宜野座村企業誘致推進事業	H28 ～ R13	定住人口増加の基盤となる雇用の創出を促進するための企業誘致活動、広報普及活動等を行う。	①企業誘致ブース来場者250名 ②招聘セミナー参加者/企業数 20人/10社	①282名 ②16人/11社	○
18 宜野座村	6 ①	世界のギノザンチュ子弟研修生受入事業	H29 ～ R12	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、宜野座村出身の海外移住者子弟を受け入れ、研修及び村民との交流を行う。	受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証するとともに村人会へのアンケート調査も追加して本事業の成果をはかる。	アンケート結果:100%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
18 宜野座村	7 ①	小中高キャリア教育支援事業	R3 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、産学官が連携したキャリア教育支援を行う。	対象校の児童生徒に事前・事後アンケートを実施し、就業意識が向上したと回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:85%	◎
18 宜野座村	8 ①	宜野座村新しい地域公共交通導入検討事業	R5 ～ R8	本村は住宅が広く分布し、公共交通空白地帯があるため、新しい地域公共交通を導入し実証実験を行い、交通空白地域に交通弱者の移動利便性の向上を目指す	分析、評価及び課題を整理し、定量的な目標値を設定する	登録者数を目標値とした(R5:150名) 実績:177名	◎
18 宜野座村	9 ①	防犯灯脱炭素化推進事業	R5 ～ R10	本村は、村民憲章で「自然環境の保護育成」が謳われ、第5次宜野座村総合計画において、地球温暖化対策として公共施設等の整備・更新において、環境負荷を低減したLED化等の機器類を使用し、脱炭素化を推進することを掲げている。 村内全域に設置されている既設防犯灯は約1,160基あるが、年間消費電力量が高く、CO2を多く排出する照明器具が用いられているため、環境負荷の低い器具に切り替え、脱炭素化を推進する。	LED化工事の完了	LED化工事の完了	◎
19 金武町	1 ①	プロスポーツ受入事業	H28 ～ R13	プロ野球チームやプロサッカーチームの春季練習場として使用されている金武町陸上競技場、金武町フットボールセンター及び金武町ベースボールスタジアムの芝管理やグラウンド整備により競技環境整備を強化することで、今後も継続してスポーツキャンプの受入れを図る。また、受入れ時の感染対策の強化や衛生環境を向上することで、受入れ体制の強化を図り、当該箇所への誘客を円滑にすることを目的とする。	R5年度プロチーム4チームの受入	R5年度プロチームキャンプの受入4チーム以上	◎
19 金武町	1 ②	金武町観光振興等推進事業	H31 ～ R8	本町の魅力ある観光資源を活用して多くの誘客を目指す。	①媒体等による情報発信 企画・実施数:9件 ②観光物産PRの実施等 ○観光物産展来場者数:1,972人	・媒体等による情報発信 ・観光物産PRブース来場者数	○

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
19 金武町	1 ③	金武町ベースボールスタジアム機能高度化事業	R3 ～ R6	ベースボールスタジアムグラウンド内外と周辺の環境一体的な整備を行うことで、プロキャンプの継続的な誘致、利用者及び観戦者の増加に繋げ、地域の活性化や観光振興に寄与することを目的とする。	○内野スタンドベンチ設置工事の完了	内野スタンド改修工事の完了	◎
19 金武町	2 ①	金武町就職活動支援補助事業	H27 ～ R8	本町の雇用状況の改善を図るため、求職者等に対する職業相談や求人・求職等の情報提供、及び求職者や町内事業所の従業員のスキルアップのための各種講座開催、町内の小・中学生へキャリア教育等を実施するため、金武町就活支援センターに補助金を交付する。	①就業率10%以上 ②資格取得率80%以上 ③キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	・就業率 ・資格取得率 ・キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%)を含め、当該事業のあり方を検証する。	△
19 金武町	2 ②	観光地周辺環境美化事業	R5 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光地へのアクセス道路の環境美化を行う。	魅力的な観光地としての景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	◎
19 金武町	3 ①	小中学校学習等支援事業	H24 ～ R13	児童・生徒の学力(英語)の向上を図るため、日本人英語指導員・外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置する。	①小学校 児童英検(シルバー)において、全国平均との平均正答率の差 -4%以上 ②中学校 英語検定3級において、校内受験者数の合格率31.6%以上	・①小学校 児童英検(シルバー)において、全国平均との平均正答率の差 -4%以上 ・②中学校 英語検定3級において、校内受験者数の合格率31.6%以上	◎
19 金武町	3 ②	特別支援教育支援事業	H24 ～ R13	支援を必要とする幼児・児童・生徒の学習や学校生活面においてのサポートをおこなうため、特別支援教育支援員を配置する。	特別支援員教育支援員の支援により学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%)以上を含め、対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで本事業のあり方を検証する。	特別支援員教育支援員の支援により学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%)以上を含め、対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで本事業のあり方を検証する。	◎
19 金武町	3 ③	金武町ハワイ短期留学派遣事業	R2 ～ R13	中学生・高校生12人及び引率職員(2人)をハワイへ派遣する。	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったと感じたか(80%以上)を含め、生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったと感じたか(80%以上)を含め、生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
19 金武町	4 ①	金武町海外移住者子弟等研修生受入事業	H29 ～ R12	海外と本町を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、海外移住者子弟等研修生を受け入れる。	研修生が所属する各国金武町人会にアンケートを実施し、「研修に参加した子弟が、帰国後本町と移住国におけるネットワーク強化に貢献できる人材として、活動できているか」について80%以上を目指し、当該事業のあり方を検証する。	研修生が所属する各国金武町人会にアンケートを実施し、「研修に参加した子弟が、帰国後本町と移住国におけるネットワーク強化に貢献できる人材として、活動できているか」について80%以上を目指し、当該事業のあり方を検証する。	◎
19 金武町	4 ②	金武町移民の日記念事業	H29 ～ R12	本町の移民の歴史を継承するため、顕彰式等を実施する。	①移民の日関連事業参加者数: 延約500人以上 ②参加者に対するアンケートで、移民の歴史に対する理解が深まったか(80%以上)	・①移民の日関連事業参加者数: 延約500人以上 ・②参加者に対するアンケートで、移民の歴史に対する理解が深まったか(80%以上)	△
19 金武町	5 ①	改製原戸籍の附票電子化事業	R5 ～ R5	本町は、沖縄戦後より現在に至るまで町面積の約55%を米軍基地が占めており、それによる土地利用料を得ている。 その使用料の一部は、各区財産管理会の会員に支給されており、会員資格の確認には、改製原戸籍の附票の確認が必要となっている。過去の附票は、紙媒体による保存のため劣化が激しく、これ以上の長期保存が難しいため、今後も住民からの写しの交付請求に対して、滞りなくサービスを提供するために電子化する。	過去の改製原戸籍の附票を100%電子化し、今後も永続的に住民からの写しの交付請求に対して、滞りなくサービスを提供する	除附票、改製原附票、平成改製原附票の電子化率	◎
20 伊江村	1 ①	伊江村ハブ対策事業	H27 ～ R13	本村に生息するハブによる健康被害から、村民及び観光客を守るため、生息地となっている目撃場所や観光地の清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲器を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。	・ハブ咬傷による健康被害0件	ハブ咬傷による被害件数0件	◎
20 伊江村	2 ①	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業	H26 ～ R13	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。そのため、自動車航送運賃コスト負担の軽減を目的に助成を行うことで定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
20 伊江村	3 ①	村花・世界のゆり植栽推進事業	R4 ～ R12	観光誘客を図るため、村花であるテッポウユリと世界のゆり球根を植栽し、花の島づくりを推進する。	令和4年度第25回伊江島ゆり祭り来場者数 R4年 33,000人	第25回伊江島ゆり祭り来場者数 R4年 33,000人	○
20 伊江村	3 ②	観光地クリーン事業	R4 ～ R12	魅力的な観光地としての景観形成及び観光客数の維持・増加を図るため、観光地の環境美化及び保全をし、観光客の受入体制を強化する。	魅力的な観光地として景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地として景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	◎
20 伊江村	3 ③	観光誘客整備事業	R4 ～ R12	村の観光振興を図るため、観光地整備や、県内外のイベントで観光誘客を行う。	①令和5年度伊江村入域観光客数 :96,000人 ②ゆり祭り等の来場客に対して、アンケート調査を実施、利便性(満足度)が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	①青少年旅行村来場者数 R5:96,000人 ②本事業について、観光客へアンケート調査を実施し、利便性(満足度)が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。	△
20 伊江村	4 ①	確かな学力を育む学習支援員配置事業	H25 ～ R13	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより学力の向上を図るため、学習支援員等を配置する。	・小学校・中学校共に沖縄県学力到達度調査での県平均正答率を上回る。	小学校、中学校ともに沖縄県学力到達度調査において県平均正答率を上回る。	未
20 伊江村	4 ②	各種大会派遣費助成事業	H25 ～ R13	村外の児童生徒との競争や交流の機会を増やし、広い視野を持たせるため、本村の児童生徒のスポーツ活動・文化活動において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。	・対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	◎
20 伊江村	5 ①	伊江村型就業意識向上支援事業	H28 ～ R13	高校進学等のため、中学卒業と同時に親元を離れ、1人で生活することを余儀なくされる島の子どもたちへ、将来への就業意識の向上を図るため、キャリア教育や職業人講話等を実施する。	・就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
20 伊江村	6 ①	伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	R2 ～ R5	村内の戦跡保存及び周辺整備・安全柵・案内板・説明版を設置し、歴史の生きた教材として平和学習に活用する。	整備工事の実施完了	整備工事の実施完了	◎
20 伊江村	7 ①	ICT支援員配置事業	R3 ～ R5	教員のICT機器の習熟及びICT機器を活用した授業等を効果的かつ持続して実施できるよう、小中学校に教員をサポートするICT支援員を配置する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上) ・教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上) ・教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)	△
20 伊江村	8 ①	ひとり親世帯等学童利用支援事業	R4 ～ R5	ひとり親世帯等の育児の負担軽減を図るため、学童保育施設がひとり親世帯等の学童利用者に対して利用料を減免した場合に補助を行う。	安全・安心に子どもを預けることができ、子育てへの負担が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	安心・安全に子どもを預ける事ができ、育児の負担軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する	◎
20 伊江村	9 ①	離島定住環境基盤整備事業	R4 ～ R5	村民が安心・安全に日常生活必需品等の荷さばきを実施できる施設を整備する。	・荷さばき施設新築工事の完了	荷さばき施設新築工事の実施	◎
20 伊江村	10 ①	優良繁殖雌牛預託増頭支援事業	R5 ～ R7	本村における肉用牛生産業基盤の維持並びに、繁殖雌牛飼養頭数の増頭を目的として、村内の肉用牛生産者が生産する子牛の品質及びセリ販売価格向上に繋がる、優良繁殖素牛(雌子牛・初妊牛)をセリ市導入する生産者に対し、本村畜産総合施設への預託を条件に、導入価格の支援を行う。	活動目標指数(年間:30頭導入)の達成(優良繁殖雌牛を30頭導入し、繁殖雌牛飼養頭数拡大及び優良遺伝素牛の増加が期待され、子牛市場上場頭数の拡大及び伊江村畜産総合施設の利用促進を図る。)	成果目標指数(年間:30頭導入)の達成	未

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
20 伊江村	10 ②	ET受精卵造成機器購入事業	R5 ～ R5	本村における体内受精卵移植事業において、現在優良受精卵造成時に様々な機器を用いて、受精卵の採卵からストロー封詰めまでを実施している。しかし、受精卵凍結作業に係る従来製品の「凍結機」では一度に凍結できるストロー本数や凍結作業段階において、ストロー破損及び移植受胎率の停滞が課題となっており、本事業において従来より性能が向上した新たな凍結機を購入し、凍結受精卵の受胎率向上及び受精卵移植事業の普及促進を図る	活動目標指数(凍結機購入:1台)の達成 (凍結機導入後、本村における受精卵造成移植事業において、年間の採卵頭数目標を50頭並びに、採取した受胎可能凍結卵数を平均8個と掲げ、年間400個以上の受精卵造成を達成する。)	採卵頭数年間50頭	未
21 読谷村	1 ①	危険生物駆除事業	H25 ～ R13	より安全な観光地を目指し、来村する観光客や村民をハブの咬傷被害から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除、注意喚起を実施する。	村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:0件	0件	◎
21 読谷村	1 ②	ヨミタンJOHO県外発信事業	R4 ～ R13	本村の認知度向上と観光誘客を図るため、県外のラジオ番組にて観光情報の発信及びイベント等にて読谷村PR活動を行う。	・県外での情報発信聴取人数120万人以上 ・県外PR活動イベント来場者数4,000人以上	①2,670,762人 ②82,215人	◎
21 読谷村	1 ③	読谷村スポーツコンベンション促進事業	H24 ～ R6	スポーツキャンプ等の誘致を促進し、地域への波及効果を高める取り組みを行う。また、キャンプチーム本拠地等でファン層に向けた観光・物産PRを実施し、観光誘客を図る。	・スポーツコンベンション受入件数…18件以上 ・県外誘客イベントPR観客数…48,000人以上 ・キャンプ期間中の来場者数…20,000人以上 ・スポーツコンベンション経済波及効果調査の完了	①16件 ②53,518人 ③21,600人 ④完了	○
21 読谷村	2 ①	特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R13	村立幼稚園、村立小中学校に特別支援を要する幼児・児童生徒の学校生活や学習上の困難を改善するための支援員を配置する。	特別支援教育支援員の支援により困難が改善された割合80%以上	アンケート結果:89%	◎
21 読谷村	2 ②	中学生海外ホームステイ派遣事業	H25 ～ R13	海外での生活や体験を通して、国際的な視野を持つ人材を育成するため、村内在住の中学生を英語圏へ派遣する。	【保護者を対象としたアンケート】帰国後に国際的な視野が広まったと回答した割合80%以上	アンケート結果:100%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
21 読谷村	2 ③	ICT機能強化事業(小学校デジタル教科書)	H27 ～ R5	ICT教材を活用した「わかる授業」を展開する事により、児童生徒の興味・関心を高め学習意欲及び学力の向上を図り、「確かな学力」を育成するため、村立小学校にデジタル教科書を整備する。	デジタル教科書の整備の完了(村立5小学校)	完了	◎
21 読谷村	3 ①	沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業	H25 ～ R13	現在では日常生活で会話することも少なくなった沖縄語の保存継承に寄与するため、身近な生活の中で語られてきた沖縄語をわかりやすく学び、親しむためのデータベース及び辞典などを作成・公開する。	・①HPアクセス数:2万件 ・②辞典作成のための必要情報確定(品詞、表記方法など) ・③総受講者人数550人及び講座満足度80%以上	・①91,351件 ・②必要情報確定 ・③受講者数:701人、講座満足度:86%	◎
21 読谷村	3 ②	ユンタンザミュージアム南側駐車場整備事業	H30 ～ R5	ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者のための駐車場を整備するため、整備工事を行う。	整備工事の完了	整備完了	◎
21 読谷村	3 ③	歴史資料の整理活用事業	R4 ～ R13	沖縄や本村に特徴的な歴史を後世に継承していくため、本村が所蔵する種々の歴史資料や歴史公文書等を調査し、整理・保存する。また、貴重資料から順次デジタル化、データベース化をすすめ公開する。	・①デジタル化資料数500件(簿冊数) ・②公開資料点数100点 ・③村史編集室収蔵図書・資料約1万点 ・④1950～2000年代まで広報誌枚数約1万7千点(ページ)の公開	・①531件 ・②101件 ・③約12,000点 ・④17,105件	◎
21 読谷村	3 ④	フィールドミュージアム整備活用事業	R5 ～ R13	グスク時代開始期の遺跡である大湾アガリヌウガン遺跡と周辺環境を保全し、世界遺産座喜味城跡へと続く沖縄・読谷村の歴史と魅力を発信するフィールドミュージアムとして整備・活用することで、村内文化財及び文化観光施設の魅力の向上を図る。	用地購入の完了	完了	◎
21 読谷村	4 ①	読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業	H26 ～ R8	本村工芸品であるヤチムン、読谷山花織、琉球ガラスの販路拡大とヤチムン等を活用した観光誘客を図るため、県外マーケティングやプロモーションを行う。	①見本市での商談件数 10件 ②オンラインイベントの売上 4,403,127円	①23件 ②2,524,948円	○
21 読谷村	5 ①	瀬名波通信施設跡地(非農用地部分)実施設計策定事業	R3 ～ R5	瀬名波通信施設跡地の土地利活用を促進するため、非農用地部分の実実施設計を行う。	令和5年度実施設計の完了	完了	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
21 読谷村	5 ②	第3次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画策定事業	R5 ～ R5	「第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画」を踏まえ、改めて整備施設の規模・配置を明らかにし、村民センター地区全体の土地利用を確定するための基本計画を策定する。	基本計画策定の完了	完了	◎
21 読谷村	6 ①	かんしょ生産振興事業	R5 ～ R7	特産品である紅いもの安定した生産体制を確保するため、かんしょ生産に係る機械を整備する。	いも類収穫機を整備完了	実施	◎
22 嘉手納町	1 ①	観光プロモーション事業	R3 ～ R13	観光誘客を図るため、観光イベント等においてプロモーション活動を行う。また、観光客の利便性の確保のため、町の観光主要施設等への誘導案内板等を整備する。	町入域観光客数 540千人 誘客イベント来場者数 2.8千人	町入域観光客数 590.4千人 誘客イベント来場者数 4.7千人	◎
22 嘉手納町	1 ②	観光振興推進事業	R5 ～ R6	本町の観光振興を推進するため、嘉手納町観光振興基本計画策定に向けた基礎調査を実施する。	基礎調査の完了	基礎調査の完了	◎
22 嘉手納町	1 ③	スポーツツーリズム推進計画策定事業	R5 ～ R5	プロスポーツチームの合宿誘致やスポーツ大会の誘致などスポーツを通じた新たなまちづくりの戦略を構築する。	スポーツツーリズム推進計画策定	スポーツツーリズム推進計画策定	◎
22 嘉手納町	2 ①	学習支援員事業	H24 ～ R13	児童生徒の学力向上を図るため、小中学校に学習支援員を配置し、個々の実態に応じた学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差、及び正答率30%未満の児童生徒減少 小学校：県平均並み、それ以上 正答率30%未満の児童の割合県平均より減少 中学校：県平均-3ポイント以内、正答率30%未満の生徒の割合県平均より減少	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差、及び正答率30%未満の児童生徒減少 小学校：県平均-0.7 正答率30%未満の児童の割合県平均より減少 中学校：県平均-2.3ポイント、正答率30%未満の生徒の割合県平均より微増	△

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
22 嘉手納町	2 ②	英語力強化事業	H24 ～ R13	小学生の英語への興味・関心の向上及び中学生の英語学力の向上を図るため、小中学校に英会話指導員を配置し、小学生の英語学習への関心・意欲を高めるとともに、中学生に対する実用的な英語教育を実施する。	英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、英語に関する意識調査により本事業の在り方を検証する。	英語に対する興味・関心が高まったか(85%)	◎
22 嘉手納町	2 ③	生徒指導強化事業	H24 ～ R13	・学校での居場所づくりを中心として、対象生徒への支援の充実を図る。 ・問題を抱えた児童生徒に対し、当該児童生徒が置かれた環へ働き掛けたり、関係機関等とのネットワークを構築する。	不登校出現率 2.7%以下	不登校出現率 3%	未
22 嘉手納町	2 ④	秋田交流学習体験事業	H26 ～ R7	小中学校における学習規律や授業の改善を図るため、本町の児童生徒及び教師を教育先進地である秋田県大館市内の学校へ派遣する。また、大館市の教師を招聘し、授業改善等についての研修を行う。	①(派遣された児童生徒へのアンケート) ・「学習規律を学ぶことができたか」で80%以上ができたと回答 ②(授業改善に関するアンケート) ・「授業のねらいに合わせた学び合いの場の設定」に関する項目で80%以上の教師が取り組んでると回答	①(派遣された児童生徒へのアンケート) ・「学習規律を学ぶことができたか」でできたと回答100% ②(授業改善に関するアンケート) ・「授業のねらいに合わせた学び合いの場の設定」に関する項目で教師が取り組んでると回答90%	◎
22 嘉手納町	2 ⑤	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R13	学習や生活面で特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難への支援を図るため、町内の各小中学校に特別支援教育支援員(教育サポーター、介助員)を配置し、必要な支援を行う。	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%)	◎
22 嘉手納町	2 ⑥	ICT機器活用推進事業	R5 ～ R5	校内ネットワーク接続や指導者用端末及び学習者用端末と連携可能な電子黒板を整備することで、情報活用能力の向上及び学びの深化を図るため、町内小中学校に電子黒板等を整備する。	児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったか(85%)	◎
22 嘉手納町	2 ⑦	プログラミング力育成事業	R5 ～ R5	情報通信関連産業と連携し、プログラミング出前講座を放課後時間に実施し、プログラミングの仕組みや思考を体験することによりプログラミング力を養い、プログラミングへの興味関心を高めることで、論理的思考力の習得やICTに親しむ機会の創出。	参加者へ体験後にアンケートを実施し、プログラミングへの興味関心が高まったか(80%以上)を成果目標とする。	参加者へ体験後にアンケートを実施し、プログラミングへの興味関心が高まったか(89%)	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
22 嘉手納町	3 ①	雇用促進事業	H25 ～ R4	求職者の就職促進を図るため、就職相談窓口を開設し、就職活動の支援を行う。	①相談者のうち就職が決まった人数:8人以上 ②相談者のうち就職が決まった人数の割合:2.6%以上 ※「就職が決まった人数」は、支援後に就職が決まった(内定を得た)人数。支援後の後追い調査(年2回)で確認。	①相談者のうち就職が決まった人数:7人 ②相談者のうち就職が決まった人数の割合:2.1%	未
22 嘉手納町	4 ①	廃棄物リサイクル事業	H25 ～ R13	ごみの排出量を削減し、ゴミ処理施設及び最終処分場の長寿命化を図るため、本町で排出される草木を回収、チップ化し、再資源化を行う。	排出された草木ごみの再資源化率100%	排出された草木ごみの再資源化率100%	◎
22 嘉手納町	5 ①	避難施設防災機能強化整備事業	R5 ～ R13	沖縄県は島嶼県であり、自然災害による被害も多いことから、町民や観光客等の災害時の安全確保を図るため、防災非常食等の計画的な導入を図る。	年1回以上防災訓練等を実施し、アンケートにより、備蓄の重要性を感じたとの回答割合:「80%以上」	年1回以上防災訓練等を実施し、アンケートにより、備蓄の重要性を感じたとの回答割合:「92%」	◎
22 嘉手納町	6 ①	嘉手納町公共施設等省エネ化推進事業	H30 ～ R5	CO2の排出量を削減するため公共施設等の照明を環境負荷の少ないLED照明に切り替える。	R5年度中に切り替える器具による二酸化炭素排出量の削減効果を設計後に、算出し、設定する。	設計完了	◎
23 北谷町	1 ①	北谷町観光物産プロモーション事業	H24 ～ R13	北谷町の知名度を一層向上させ、本町への観光客誘客推進と観光資源の効果的なアピール及び販路拡大支援を図るため、県外等において、誘客プロモーション事業を展開する。	・プロモーションの実施 ・報告書の作成	・プロモーションの実施 ・報告書の作成	◎
23 北谷町	1 ②	北谷町観光統計調査事業	R5 ～ R13	携帯GPSデータ等を活用し、本町を訪れる観光客の動向等を調査・分析する。	・観光統計調査による実態の把握 ・町内観光関連事業者へ報告書を提供	・観光統計調査による実態の把握 ・町内観光関連事業者へ報告書を提供	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
23 北谷町	1 ③	サンセットビーチ改良事業	H29 ～ R6	これまで課題となっていたビーチの環境改善や、拡充整備によって新たなアクティビティを創出することにより観光誘客を図る。	サンセットビーチ改良工事のうち、園路工、照明工、給水工、休養施設工の竣工。	サンセットビーチ改良工事のうち、園路工、照明工、給水工、休養施設工の竣工。	◎
23 北谷町	2 ①	英語指導助手派遣事業	H24 ～ R13	小学校児童の英語への興味・関心を高めるため、英語指導助手(AET)を配置する。(隣接する幼稚園兼務) 中学校生徒の英語能力の向上を図るため、英語指導助手(AET)を派遣する。	小学校:児童の英語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 中学校:沖縄県学力到達度調査において、英語の県と本町の平均正答率の差2.1ポイント以上	小学校:児童の英語への興味・関心が高まったかアンケート(86.9%) 中学校:沖縄県学力到達度調査において、英語の県と本町の平均正答率の差△2.3ポイント	△
23 北谷町	2 ②	日本語指導学習支援員派遣事業	H25 ～ R13	日本語による会話能力の向上を図るため、日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童や帰国児童等への学習支援を行う。	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合80%以上等を含め本事業のあり方を検証する。	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合87.0%	◎
23 北谷町	2 ③	学力向上学習支援員派遣事業	H26 ～ R13	児童生徒の学力の向上を図るため、学習支援員を全小中学校に各校1名(計6名)配置し、個々の学力に応じた学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校 1.3ポイント以上 中学校 △0.9ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校 △0.9ポイント 中学校 △0.4ポイント	△
23 北谷町	2 ④	北谷町ハワイ短期留学派遣事業	H25 ～ R13	海外での生活や体験を通して国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、本町の中高生をハワイへ短期留学させる。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合(100%)	◎
23 北谷町	3 ①	跡地利用推進事業	H24 ～ R9	今後返還が予定される駐留軍用地の有効かつ適切な跡地利用計画策定に向けた跡地利用推進調査及び説明会等を実施する。	(桑江第一タンクファーム地区) ・調査報告書の作成 (インダストリアル・コリドー) ・調査報告書の作成	(桑江第一タンクファーム地区) ・調査報告書の作成 (インダストリアル・コリドー) ・調査報告書の作成	◎
23 北谷町	4 ①	里海プロジェクト事業	R3 ～ R7	本町に残された自然の保全・活用を図るため、本町の沿岸、河川及び緑地に生息する生物の全体把握を行う。また、それら結果を活用し展示公開等を行い自然保全の意識醸成を図る。	タイヘイヨウアカボウモドキの骨格標本およびレプリカの製作を完了。	タイヘイヨウアカボウモドキの骨格標本およびレプリカの製作を完了。	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
23 北谷町	5 ①	北谷町文化発信拠点整備事業	H24 ～ R5	北谷町の歴史、文化、自然の継承及び発信を行う事を目的に、文化発信拠点となる町立博物館整備を推進する。 今年度は建設工事及び外構工事を実施する。	建築工事及び外構工事の完了		繰
23 北谷町	6 ①	北谷城跡活用促進事業	R5 ～ R7	北谷城跡の公開活用を促進するため、課題の整理を行う。	・課題整理報告書の作成	・課題整理報告書の作成	◎
24 北中城村	1 ①	あやかりの社交体験事業	H24 ～ R13	沖縄の自然を活かした野外活動や沖縄の伝統文化を体験できる事業を実施する。	体験交流人数: 432人以上	体験交流人数	◎
24 北中城村	1 ②	北中城まつり活性化事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、伝統芸能プログラムを中心とした「青年エイサーまつり」、「北中城まつり」を開催する。	・青年エイサーまつり来場者数: 6,600人 ・北中城まつり来場者数: 10,100人/日	・青年エイサーまつり来場者数 ・北中城まつり来場者数	◎
24 北中城村	1 ③	観光誘客プロモーション事業	H26 ～ R13	ウェブやSNS等のICTを活用したプロモーションや、データ収集分析などDXの推進を図る。 また、観光案内や観光イベントでのプロモーションを実施するとともに、観光ガイドの育成及びWebマッチングをおこない、さらなる誘客を図る。	・PRブース来場者数: 2,803人 観光案内ページの閲覧数: 17,056回/月 ・ボランティアガイド育成: 20名	・PRブース来場者数 ・観光案内ページの閲覧数 ・ボランティアガイド育成	◎
24 北中城村	1 ④	コミュニティバス実証事業	H30 ～ R6	村内への観光誘客を図り、観光客をはじめとする交通弱者の利便性を高めるため、コミュニティバスによる実証実験を行う。	年間利用者数: 11,700人	年間利用者数	◎
24 北中城村	1 ⑤	ウェルネスツーリズム推進事業	R4 ～ R13	女性長寿日本一の健康長寿ブランドを活かしたウェルネスツーリズムの推進を図る。	・ウェルネスイベントへの総参加者数: 200人 ・ウェルネスワークショップへの総参加者数: 100人 ・国際ウェルネスツーリズムEXPOでの商談実績: 5件	・ウェルネスイベント総参加者数 ・ウェルネスワークショップ参加者数 ・国際ウェルネスツーリズムEXPOでの商談実績	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
24 北中城村	1 ⑥	北中城村観光振興基本計画策定事業	R5 ～ R13	・北中城村の観光資源の現状調査、掘り起こしおよび課題と改善に向けた調査の実施 ・調査結果をもとに北中城村観光振興基本計画を見直す。	・北中城村観光振興基本計画見直し:完了	北中城村観光振興基本計画の見直し	◎
24 北中城村	2 ①	キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業	H25 ～ R5	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を促進するため、これまで積立てた基金を活用し、公有地の先行取得を行う。	全体用地取得率:100%	全体用地取得率:100%	○
24 北中城村	2 ②	キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業	R3 ～ R9	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、跡地利用整備計画(案)の作成を行う。	跡地利用整備計画(案)の作成	跡地利用整備計画(案)の作成	◎
24 北中城村	2 ③	喜舎場住宅地区跡地利用推進事業	H25 ～ R5	キャンプ瑞慶覧喜舎場住宅地区整備計画案をもとに、返還予定区域の有効かつ適切な跡地利用の検討を行う。	・これまでの検討結果を踏まえた報告書の作成	・これまでの検討結果を踏まえた報告書の作成	◎
24 北中城村	3 ①	雇用サポートセンター事業	H24 ～ R13	地域に密着した就業支援による雇用機会の創出を図るため、雇用サポートセンターを設置する。	・就業者数:3人 ・職業訓練校マッチング人数:3人 ・相談件数130件以上	・就業者数 ・職業訓練校マッチング人数 ・相談件数	△
24 北中城村	3 ②	グッジョブ連携推進事業	H27 ～ R13	児童生徒の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、キャリア教育講演会等を実施する。	就業に対する意識が向上したか(80%)以上を含め、アンケート調査により本事業の検証を行う。	就業に対する意識が向上したか(80%)以上を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証を行う。	未
24 北中城村	4 ①	営農支援強化事業	H24 ～ R13	専門性の高い営農指導を行うことで、農家に対し生産から販売までの安定した営農体制構築の支援を実施する。また、安定した農業経営に必要なパイプハウス施設整備を支援する。	村アンテナショップにおける村内農家の出荷額:4,780千円	村アンテナショップにおける村内農家の出荷額	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
24 北中城村	4 ②	農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業	H30 ～ R7	耕作放棄地を利活用するため、民間事業者による医食同源・農福連携・健康長寿への取組支援及び円滑な事業展開を図るためのエリアマネジメント組織設立に向けた支援を実施する。	・民間事業者による第一段階整備(循環型農業・体験農業ゾーン)の整備支援 ・第二段階及び第三段階整備の実現に向けた事業計画の策定	・民間事業者による第一段階整備(循環型農業・体験農業ゾーン)整備支援 ・第二段階及び第三段階整備の実現に向けた事業計画の策定	△
24 北中城村	5 ①	総合英会話指導支援事業	H24 ～ R13	生きた英語に触れることで、児童生徒の英会話への興味・関心を高めるため、村立小中学校に英会話指導員を配置する。	・英語検定の受験者数:249人 ・児童生徒へのアンケートにより英会話が楽しいと感じる割合80%以上	・英語検定の受験者数 ・アンケートにより英会話が楽しいと感じる割合80%以上	○
24 北中城村	5 ②	アメリカ教育機関ネットワーク形成事業	H24 ～ R13	英会話力、英作文力、英文読解力の向上を図るため、米国教育機関とのWEBシステムを活用した小・中学生向けの英語講座を実施する。	定期テストにおける英語習熟度:講座を受けた生徒の平均点80点以上	定期テストにおける英語習熟度:講座を受けた生徒の平均点80点以上	未
24 北中城村	5 ③	海外移住者子弟研修生受入事業	H24 ～ R13	南米3カ国(ペルー、ブラジル、アルゼンチン)から海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため研修生を受け入れる。	・受入れた研修生が、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%)を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する。	受け入れた研修生が、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%)を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する。	◎
24 北中城村	6 ①	歴史まちづくり計画策定事業	R4 ～ R5	本村の歴史風致資産を核にしたまちづくりを推進するため、歴史まちづくり計画を策定する。	歴史まちづくり計画書(案)の作成	歴史まちづくり計画書(案)の作成	◎
24 北中城村	6 ②	米国統治下の北中城村実態調査事業	R4 ～ R6	米国統治下における本村の歴史的経過(集落復興、村行政の歩み、教育、産業、軍用地施設の推移など)を明らかにするため、各種調査を実施する。	・村関連資料のデータ化(4件) ・戦後集落地図作成(13字)	・村関連資料のデータ化 ・戦後集落地図作成	◎
24 北中城村	7 ①	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、支援員を配置する。	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、ニーズ・課題の把握を行う。	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、本事業のニーズ・課題の把握を行う	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
24 北中城村	7 ②	学習支援員配置事業	H27 ～ R13	学習の遅れがちな児童生徒に対する学習支援を行うため、村立小中学校に学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合及び無答率の減少 ○正答率30%未満の割合 小学5年生:算数(19.6%以下) 中学2年生:数学(32.3%以下) ○無答率 小学5年生:算数(8.2%以下) 中学2年生:数学(8.7%以下)	・沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合の減少 ・沖縄県学力到達度調査における無答率の割合の減少	未
24 北中城村	7 ③	児童生徒の県外派遣旅費等支援事業	H29 ～ R13	児童生徒が学校教育の一環として県外に派遣される場合に、その派遣費用のうち対象経費の2分の1の額について補助を行う。	派遣された児童生徒の視野が広がった(保護者アンケート):80%以上	派遣された児童生徒の視野が広がったか保護者に対するアンケート	◎
24 北中城村	7 ④	小中学生県外派遣支援(社会教育関連)事業	H29 ～ R13	県外大会への参加を村内に在住する小中学生に等しく機会を与え、子ども達の視野を広げるため、社会教育の一環として派遣されるスポーツや文化活動に係る大会派遣に対して航空運賃を補助する。	派遣された子ども達の視野が広がった(保護者アンケート):80%以上	派遣された児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	◎
24 北中城村	8 ①	屋宜原地区避難道路整備事業	R4 ～ R5	北中城村の大型宿泊施設等へのアクセス道路である仲順屋宜原線について災害時の村民や観光客等の安全を確保するため、災害に強い避難道路としての整備に必要な予備設計を実施する。	実測図を用いた道路改良範囲の決定	実測図を用いた道路改良範囲の決定	◎
25 中城村	1 ①	民間事業者の活力を活かした新たなまちづくり促進事業	R4 ～ R13	公共施設跡地に誘致する商業施設を核とした新たなまちを誘導するための地区計画を策定する。	地区計画策定の完了	-	繰
25 中城村	2 ①	吉の浦公園等機能強化整備事業	R5 ～ R5	プロサッカーチームの合宿誘致、村民等の健康増進及び利用者の利便性確保を図るため、今年度は芝の適正管理、東屋の設置、管理棟の整備、遊具の設置を行う。	①プロサッカーチームの合宿誘致件数:2件 ②整備の完了 ③整備の完了	①プロサッカーチームの合宿誘致件数:2件 ②整備の完了 ③整備の完了(一部、繰越)	繰

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
25 中城村	2 ②	プロサッカーキャンプ支援事業	R4 ～ R13	・プロサッカーチームの冬季キャンプ誘致活動を行う。 ・受け入れたチームの円滑なキャンプ環境を確保するため、場内警備や歓迎セレモニー等を実施する。 ・グッズ販売やトレーニングマッチを開催し、県内外からの集客を図る。 ・スタンプラリーを実施し、域内事業所での消費喚起を促す。	キャンプ見学者数:8,640人	キャンプ見学者数:2,219人	未
25 中城村	2 ③	観光地周辺環境美化事業	H29 ～ R13	作業対象箇所を増やし、より魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃等を行う。	魅力的な観光地としての景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観となっているかについて、観光客等を対象にしたアンケート結果:86%	◎
25 中城村	3 ①	海外移住者子弟研修生受入事業	R5 ～ R5	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材の育成を図るため、海外に移住した中城村出身の指定を研修生として受入、日本語研修、文化研修、地域交流等の交流プログラムを実施する。	沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、子弟へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する	沖縄の文化や歴史により興味を持ったかについて、子弟を対象としたアンケート結果:100%	◎
25 中城村	4 ①	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ R13	ICTを使用したわかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の確保及び教員のICT機器活用の習熟を図るため、授業支援やICT機器活用に向けた環境整備を行う。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:80%以上 以上の調査項目を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	・ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:95.6% ・ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:99.2%	◎
25 中城村	4 ②	きめ細かな児童生徒支援事業	H24 ～ R13	特別な支援を必要とする児童生徒に対し、個に応じた支援を行うため、特別支援員を配置する。また、不登校や発達障害等の課題解決を図るため、教育相談員と心理相談員を配置する。	・特別支援員の対応への満足度(70%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・不登校児童生徒復帰率41%以上	・特別支援員の対応への満足度の保護者へのアンケート:90% ・不登校児童生徒復帰率:42%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
25 中城村	4 ③	学力向上のための学習支援事業	H29 ～ R13	将来の沖縄振興に資する人材の育成に向けて、学力の向上を図るため、村内中学校に学習支援員を配置する。	①沖縄県学力到達度調査(数学)において、県との平均正答率差-5P以上	①+1.4ポイント	◎
25 中城村	4 ④	子育て保育支援事業	H29 ～ R5	特別な支援を必要とする子を預かる保育園を対象に、保育士の加配に対する支援を行う。	保育園での生活の困難が改善されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業の在り方について検証する。	・保育園での生活の困難が改善されたかについて、保護者へのアンケート結果:94%	◎
25 中城村	4 ⑤	保育施設機能強化整備事業	R5 ～ R5	園児に向けた遊びの場を提供している村内保育施設を安全に利用できるよう機能強化整備を行う。	工事の完了	-	繰
25 中城村	4 ⑥	オンライン英会話学習支援事業	R5 ～ R13	村内の小学生(5・6年生)及び中学生を対象としてアメリカ州立大学の英語講師とオンラインによる実用的な英会話学習を実施する。	初回の授業開始時と最終回のひとつ前の授業において独自のテストを実施し、生徒の英語力の伸びを測定する。 目標は筆記試験と面接試験で構成された年度末のテストで80点(100点満点)を達成すること。	筆記試験と面接試験で構成された年度末のテストで80点(100点満点)を達した率:82.35%	未
25 中城村	5 ①	歴史的資料整理公開活用事業	R4 ～ R9	寄贈資料の分類・整理を完了させ、資料調査のための準備を行う。	寄贈資料の分類・整理の完了	寄贈資料の分類・整理の完了	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
25 中城村	5 ②	文化財整備事業	R4 ～ R5	村指定文化財「伊舎堂のマーチューグワ」の保存に向けた工事を実施する。	工事の完了	工事の完了	◎
25 中城村	5 ③	中城村文化まつり事業	R5 ～ R5	・吉の浦会館における民俗芸能、組踊、琉舞、古典音楽などの舞台部門の上演、護佐丸歴史資料図書館企画展示室における陶器、漆器、水墨画などの展示部門の展示を行う。 ・獅子舞等の伝統芸能を兄弟都市である福岡県福智町の文化祭で演じ、沖縄の伝統芸能を県内外に発信するために要する経費について補助金を交付する。	・舞台部門来場者数(出演者も含む)約1,500人 ・展示部門来場者数(出品者も含む)約500人 ・文化祭の来場者数 約300人	・舞台部門来場者数(出演者も含む):1,809人 ・展示部門来場者数(出品者も含む):503人 ・文化祭の来場者数:350人	◎
25 中城村	5 ④	地域多世代交流活性化事業	R3 ～ R5	南上原自治会で行われている組踊で使用する新規台本の作成と、衣裳・小道具の購入を行い、組踊の公演会を行う。	①新規台本・道具・衣裳の製作 ②公演会の開催 見学者数:250人	①新規台本・道具・衣裳の製作:実施 ②公演会の開催:見学者数約450人	◎
25 中城村	6 ①	中城村農業振興推進事業	H30 ～ R8	①農業指導員及び補助員の配置及び試験栽培の実施 ②新たな推奨品目の検討	①農業指導員及び補助員の配置及び重点品目2品目の栽培試験の実施 ②新たな推奨品目1品目の継続的な栽培試験の実施	①栽培試験の実施 ②栽培試験の実施	◎
25 中城村	6 ②	水産物安定出荷事業	R5 ～ R5	水産物の安定的な出荷を図るために冷凍庫の整備を行う。	整備の完了	-	繰
25 中城村	7 ①	PFI導入による地元小規模事業者等経営安定化事業	R2 ～ R8	教育施設の再整備及び維持管理にPFIを導入することにより、沖縄の主要な産業のひとつである建設業における地元小規模事業者等の長期にわたる安定的な資金の確保を支援する。	教育施設整備に向けた基本設計の完了	基本設計の完了	◎
25 中城村	7 ②	中城村中学生平和体験学習事業	R5 ～ R13	中城中学校全生徒を対象とした平和体験学習(校外学習)を実施する。	平和体験学習を今後も継続して実施した方がよいか(80%以上)を含め、参加した中学生・教員へアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	平和体験学習を今後も継続して実施した方がよいと回答した割合:98%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
26 西原町	1 ①	観光地美化・緑化等環境整備事業	H24 ～ R13	沖縄らしい風景を保全するため、公園の芝刈り、樹木剪定、植栽等を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	観光客や地元住民に対し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光客や地元住民に対し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか:82%	◎
26 西原町	1 ②	文化財環境整備活用事業	H25 ～ R13	西原町内にある文化財及び文化財周辺の環境美化・整備や文化財ガイドの育成及び文化財巡り等イベントを開催し、観光誘客に向けた基礎的環境整備を図る。	文化財巡り等イベント参加者数170名	歴史講演会:56名 歴史の道を歩く:39名 地域散策事業:38名 合計:133名	○
26 西原町	1 ③	西原まつり運営事業	H27 ～ R13	西原まつりを開催し、観光誘客を図る。	まつり来場者数:35,000人	まつり来場者数:22,240人	△
26 西原町	2 ①	小学校外国語活動指導員派遣事業	H24 ～ R13	外国語活動指導員を小学校に派遣し、外国語教育の充実を図り、外国語への興味・関心を高める。	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(82%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検討する。	児童の外国語への興味・関心が高まったか:74.6%	未
26 西原町	2 ②	教育相談員配置事業	H24 ～ R13	町教育相談室に教育相談員を配置し、学校生活等に悩みを抱える児童生徒及び青少年やその保護者等に対して支援を行うことで、学校生活等の困難の改善を図る。	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合 35%以上	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合:64.78%	◎
26 西原町	2 ③	学習支援員配置事業	H25 ～ R13	学習支援員を小中学校に配置し、各児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、児童生徒の学力向上を図る。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語 3.6以上 算数 4.3以上 ・中学校 国語 4.3以上 数学 4.8以上 英語 0.3以上	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語:5.8 算数:3.2 ・中学校 国語:1.0 数学:-2.2 英語:-2.2	△
26 西原町	2 ④	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別支援教育支援員を小中学校に配置し、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	年度末に実施する支援対象児の状況調査において、改善した児童数を86%以上	年度末に実施する支援対象児の状況調査において、改善した児童数:84.9%	未

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
26 西原町	2 ⑤	幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R13	障がいや発達の違いなど特別な支援を必要とする幼児に対し特別支援教育支援員を配置することで、当該幼児の状態・特性・ニーズ等に応じたきめ細かな教育支援体制を確立し、集団生活を通して全体的な発達の促進及び安心・安全な学園生活の確保を図る。	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度:92.2%	◎
26 西原町	3 ①	親子通園事業	H28 ～ R13	乳幼児健診等の結果から、支援の必要性が高い発達の気になる子と保護者の受け入れを行い、日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応の訓練及び保護者に対する療育上の助言等を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図る。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか:100%	◎
26 西原町	4 ①	里道及び水路の境界確定復元事業	H27 ～ R13	戦後、地籍が確定しないまま家屋等が建築された箇所が多々あり、境界問題の解決や公共用地の適正な管理を行うため、境界復元の確定測量及び表示登記を実施する。不明確な里道及び水路の位置を確定する。	・確定測量の完了 ・表示登記申請の完了	・確定測量の:完了 ・表示登記申請:完了	◎
26 西原町	5 ①	西原町雇用サポートセンター活性化事業	H27 ～ R13	求人企業に既存支援制度の活用に向けた助言等を行い、求職者と企業のマッチングや、就職セミナーやスキルアップ講座を開催することで、雇用の拡大を図る。	新規雇用割合50%以上	新規雇用割合:50.4%	◎
26 西原町	6 ①	輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R13	麻しん風しん(MR)予防接種率の向上を図るとともに、外国人観光客受入に起因する感染症の蔓延を防ぐため、予防接種の費用を助成する。	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん(MR)集団感染の発生件数 0件	外国人観光客受入に起因する麻しん風しん集団感染の発生件数:0件	◎
26 西原町	7	官民連携によるコンパクトシティ形成事業	R4 ～ R6	・官民連携手法による施設再整備の実現に向け、策定予定である基本計画(案)に基づく事業実施に必要な調査業務を実施する。	・計画地内における各種調査業務を完了させ、事業者公募に必要な前提条件を整理する) ①測量調査の完了 ②擁壁健全度調査の完了 ③土壌汚染地歴調査の完了 ④建物アスベスト建材調査の完了	①測量調査:完了 ②擁壁健全度調査:完了 ③土壌汚染地歴調査:完了 ④建物アスベスト建材調査:完了	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
26 西原町	8	平和の約束運営事業	R4 ～ R4	西原町平和事業の一環として、西原町平和事業「平和の約束2023」を実施し、平和意識の醸成を図る。	「平和コンサート」イベント来場者350名。 「平和バスツアー」参加親子20組。 「チョコレート制作事業」参加者30名、作品数10作品。 「平和の語り部アーカイブ動画企画作成」戦争体験者1名の語り動画を制作。	・「平和コンサート」イベント来場者:350名 ・「平和バスツアー」参加親子:28名 ・「チョコレート制作事業」参加者:59名、作品数:9作品 ・「平和の語り部アーカイブ動画企画作成」戦争体験者1名の語り動画を制作:作成	○
26 西原町	9	西原町観光PR促進事業	R4 ～ R8	交流人口の増加・歴史・文化の継承、ブランド力の強化を実現するため西原劇場への人員の配置、観光PR、町産品のPR業務にかかる経費の支援を行う。	①誘客イベント 6回開催 ②観光キャラクター出動 100回以上 ③町産品PR事業 6回以上	①誘客イベント:6回 ②観光キャラクター出動:129回 ③町産品PR事業:7回	◎
26 西原町	10	緑のリサイクル事業	R4 ～ R13	町内家庭及び地域清掃で排出される木枝廃棄物を収集・処理することにより、焼却ごみを削減し清掃工場の負担低減、ごみ処理コスト低減、省エネルギー化を図る。	・木枝の収集量の増加(5%)を図る ・簡易車両重量計の購入 ・カッターの購入	・木枝の収集量の増加:+4.7% ・簡易車両重量計の購入:未購入 ・カッターの購入:未購入	未
26 西原町	11	シェアサイクル活用推進事業	R5 ～ R7	町民及び観光客の新たな移動手段の充実を図り、町内観光資源への誘引を図るとともに、本県の課題とされている過度な自動車依存からの脱却による脱炭素化の取組を進める。	シェアサイクル利用によるCO2排出量の削減目標値 6,156kg-CO2	シェアサイクル利用によるCO2排出量の削減: 5999.022kg-CO2	○
26 西原町	12	地域防災強化事業	R5 ～ R9	防災体制強化のため、災害監視カメラ等の整備や食料・飲料水等の備蓄を行い、災害に強いまちづくりを推進する。	・冠水被害の影響を特に受けている住宅地域へ監視カメラを2基設置し、大雨等の水害に警戒できる体制づくりを行う。 ・備蓄用飲料水をR9までの5年間で避難所最大想定避難者数(8,400人分)の1日分の飲料水を確保することを目標とし、R5は備蓄率40.3%整備することを目標とする。	・体制強化 ・40.3% ・15台整備、体制強化	◎
26 西原町	13	学校DX推進支援事業	R5 ～ R13	ICT機器やシステム・アプリ・サービスの利活用を支援する支援員を学校に配置する。	教職員のアンケートにてICT機器を活用した授業を自ら行えるとする回答を全員(100%)とする。 児童生徒アンケートにて昨年よりもICT技術の利活用能力が向上したとする回答を70%とする。	・教職員のアンケートにてICT機器を活用した授業を自ら行えるとする回答:94% ・児童生徒アンケートにて昨年よりもICT技術の利活用能力が向上したとする回答:96%	△

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
26 西原町	14	学校教室ICT環境整備事業	R5 ～ R10	町立小中学校の教室に大型提示装置等のICT機器を整備し、授業におけるデジタル教科書(含む独自教材などの教材)の活用、GIGAスクール構想にて整備されたタブレットの効果的な活用など授業でのICT活用の促進を図る。	児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合が80%以上	児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:96%	◎
26 西原町	15	西原町ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用支援事業	R5 ～ R13	ひとり親家庭等の児童が放課後児童クラブを利用した場合に当該家庭の生活の安定と自立の促進に寄与することを目的に、利用料を減免する放課後児童クラブへ減免に要した費用の一部を助成する。(1人当たり月額上限5,000円)	助成対象世帯(保護者)に対し、アンケート実施。「利用支援を受けたことで、役に立った」等の回答80%以上	助成対象世帯(保護者)に対し、アンケート実施。「利用支援を受けたことで、役に立った」等の回答:100%	◎
26 西原町	16	西原町公園照明LED化事業	R5 ～ R9	町内公園の既存照明をLED化することにより、二酸化炭素排出量(消費電力)を削減し、低炭素社会の実現を目指す。	公園照明のLED化の調査設計業務の完了。LED化による二酸化炭素排出量の削減値の把握。	・公園照明のLED化の調査設計業務:完了 ・LED化による二酸化炭素排出量の削減値:把握	◎
26 西原町	17	緊急避難路整備事業	R5 ～ R6	交通弱者等を含めた観光客や町民の安全かつ円滑な避難行動の実現を図るため、未舗装の下水路管理用道路を緊急時の避難路としても活用できるようアスファルト舗装を行う。	調査測量設計の完了	調査測量設計:完了	◎
27 与那原町	1 ①	与那原町魅力発信事業	H26 ～ R13	・与那原町の魅力を県内外に発信し、また観光客の誘致を図る為、各種事業により整備した新たな観光資源等を活用し、各種イベントを実施する。	・与那原大綱曳まつりへの40,000人誘客とアンケートによる満足度70%の達成(ぜひ、次回も参加したい人の割合) ・その他事業(地域活性化イベント・ゆかたまつり)での8,000人の誘客。	・与那原大綱曳まつりへの65,000人誘客、アンケートによる満足度75% ・その他事業(地域活性化イベント・ゆかたまつり)での13,084人の誘客。	◎
27 与那原町	1 ②	美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24 ～ R13	コンパクトな町域を活かして、町内を安心・安全で気持ちよく回遊・散策できるように公共空間(道路等)の美化・緑化を促進し、環境を整え、町民のみならず町外・県外の方々が訪れた際にきれいなまちという印象を与えられるような景観・美観の創出を図る。	・本事業による取組の結果、散策しやすくてきれいなまちとしてふさわしい景観及び環境であるを含め、再度訪れたいと概ね肯定的な回答(80%)について、アンケートで検証する。	・本事業による取組の結果、散策しやすくてきれいなまちとしてふさわしい景観及び環境であるを含め、再度訪れたいと概ね肯定的な回答:88%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
27 与那原町	2 ①	きめ細かな児童生徒支援事業 (小学校・中学校)	H24 ～ R13	学習に遅れのある児童生徒や、特別な支援を要する児童生徒や保護者に対し、きめ細かな支援を行う為の各種支援員を配置する。	・沖縄県学力到達度調査にて県と本町との平均正答率の差(小学校:0.3pt以内 中学校:0.9pt以内) ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上 ・不登校児童生徒復帰率10%以上	・沖縄県学力到達度調査にて県と本町との平均正答率の差(小学校:0.2pt 中学校:3.9pt ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度 87% ・不登校児童生徒復帰率 19.6%	○
27 与那原町	2 ②	国際理解人材育成事業	H24 ～ R13	英語の授業の指導助手及び小中学校の教職員とALTとの授業に関する連携・助言・支援の補助を行う。	・対前年度比 英検合格率5%上昇	・対前年度比 英検合格率 -0.5%	未
27 与那原町	2 ③	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ R13	児童生徒の学力向上の為、ICT教育の環境を整備する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%	◎
27 与那原町	3 ①	きめ細かな児童生徒支援事業 (幼稚園)	H30 ～ R13	特別な支援を要する児童に対し支援をする事により、幼稚園における集団生活での対応や先に控える小学校生活のスムーズな促しを図るため、個の発達に応じたきめ細かな支援を行う事が出来るよう特別支援教育支援員及び特別支援教育コーディネーター、臨床心理士を配置する。	・対象となる園児の保護者へのアンケート調査を実施し、「特別支援員の対応への満足度」(80%以上)を含め、本事業のあり方についての検証。	・対象となる園児の保護者へのアンケート調査を実施し、「特別支援員の対応への満足度」90%	◎
27 与那原町	3 ②	ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用支援事業	R4 ～ R13	ひとり親家庭等の児童が放課後児童クラブを利用した場合の経済的負担を軽減するために、利用料を減免する放課後児童クラブへ減免に要した費用の一部を助成する。	アンケート実施、「減免により利用することができた」等の回答:80%以上	アンケート実施、「減免により利用することができた」等の回答:100%以上	◎
27 与那原町	4	与那原町海外友好親善大使人材育成事業	H27 ～ R13	文化交流を推進するため、与那原町出身の海外移住者子弟を本町で研修生として受け入れ、日本語研修及び文化研修等を通して、本町及び本県と移住先国とのネットワークを強化し、友好親善並びに沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	・与那原町における交流会でのアンケート 違う国の文化や歴史に興味を持った人の割合:90% ・帰国後の研修報告会でのアンケート 沖縄・与那原に関心がある人の割合:90%	・与那原町における交流会でのアンケート 違う国の文化や歴史に興味を持った人の割合:92% ・帰国後の研修報告会でのアンケート 沖縄・与那原に関心がある人の割合:100%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
27 与那原町	5	新しい公共交通検討事業	H31 ～ R5	福祉型町内バスの導入に向けて検討するため実証実験を行う。 実証実験実施 ↓ アンケートの実施 ↓ 検討委員会の開催	町内バスの導入可否の決定	町内バスの導入可否 未決定	未
27 与那原町	6	与那原町防災力強化事業	H28 ～ R10	・災害時備蓄食料等の購入及び入替 ・災害時資機材の購入 ・防災士育成の支援	災害時備蓄食料等の購入 ・非常用食料(レトルト)1,446食 ・非常用食料(パン類)500食 ・粉ミルク 100箱 ・飲料水 2,328本 災害時資機材の購入 ・ポータブル電源 3台 ・ソーラーパネル 3台 ・差し替えベスト 200着 自主防災組織への防災マップ配布 130冊 防災士資格取得の支援 ・補助金 5人	災害時備蓄食料等の購入 ・非常用食料(レトルト)1,446食 ・非常用食料(パン類)500食 ・粉ミルク 100箱 ・飲料水 2,328本 災害時資機材の購入 ・ポータブル電源 3台 ・ソーラーパネル 3台 ・差し替えベスト 200着 自主防災組織への防災マップ配布 130冊 防災士資格取得の支援 ・補助金 3人	○
27 与那原町	7	与那原町伝統文化発信事業	R4 ～ R6	・与那原町の伝統文化の魅力を町民向けに発信することにより、その継承発展につなげ後継者の育成を図る。また合わせて県内外へ発信することにより、観光客の誘致につなげる。	網曳資料館への4,000人誘客		繰
27 与那原町	8	与那原町豊かな暮らしを支える交通環境構築事業	R4 ～ R13	将来の公共交通利用に係る児童への学習会の実施をおこなう。	・対象となる園児へのアンケート調査を実施し、「公共交通教育について理解できた」等の回答:80%以上	・対象となる園児へのアンケート調査を実施し、「公共交通教育について理解できた」等の回答:94.7%	◎
27 与那原町	9	新しいまちづくりに向けた公有地活用事業	R4 ～ R5	・事業者選定アドバイザーー委託業務 1式	・公有地公募の実施 ・優秀提案者との協定締結		繰

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
27 与那原町	10	運玉森「平和学習広場」整備事業	R1 ～ R5	運玉森山頂の斜面对策工事及び散策路、広場の整備を行う。	斜面对策工事及び散策路、平和学習広場の整備工事の完了	斜面对策工事及び散策路、平和学習広場の整備工事の完了	◎
27 与那原町	11	市街地拡大地区可能性調査事業	R5 ～ R7	与那原町都市計画マスタープランにおいて「市街地拡大検討地区」と位置づけられた「町道上与那原前の井線」周辺において、地権者等への市街化に対する意向調査及び市街地拡大の事業手法等を検討するとともに、都市拠点としての当該地区における都市機能の充実や良好な住宅市街地の形成を目指すための可能性を模索する。	可能性調査業務の完了		繰
27 与那原町	12	農業用被覆資材等導入推進補助事業	H29 ～ R5	農作物の出荷量向上を図る為、資材導入にかかる経費に対し、補助を行う。	ゴーヤー出荷量 1,506kg以上 マンゴー出荷量 3,791kg以上	ゴーヤー出荷量 把握できず マンゴー出荷量 2,645kg	未
27 与那原町	13	与那原町青少年人材育成交流事業	H24 ～ R13	町内の児童生徒及び青少年が、風土・文化の異なる地域での経験を通し広い視野を持つことで、これからの町の発展に寄与する人材となることを目的とする。県外へ派遣し現地で交流事業等を実施し、異文化に触れることでより一層の郷土愛、地元愛を育む。	・事後アンケートの実施。達成度の回答80% ・報告会の開催 1回 ・ジュニアリーダークラブまたは準会員としての登録 5名以上	・事後アンケートの実施。達成度の回答 98% ・報告会の開催 1回 ・ジュニアリーダークラブまたは準会員としての登録 5名以上	◎
28 南風原町	1 1	青少年国際交流事業	H24 ～ R13	海外移民者との交流や海外での生活体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、青少年を海外へ派遣し、教育・文化・歴史・産業などの視察学習、ホームステイ、及び現地の学校への体験入学を実施する。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったという回答:100%	◎
28 南風原町	1 2	小学校英語指導助手配置事業	H24 ～ R13	小学生のうちから英会話に触れさせ、英会話や英語圏の文化について興味を持たせ英語力を向上させるため、小学校に英語指導助手を配置する。	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う児童の割合:80%以上	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う児童の割合:86.5%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
28 南風原町	1 3	学力調査等事業	H24 ～ R13	学力調査等により個々の学力を把握することで、一人ひとりの課題を明確にし、学習の目的意識の醸成をはじめ、「わかる授業」の強化や家庭学習の習慣化を通して「確かな学力」の向上に繋げるため、学力調査等を実施する。 また、リーディングスキルテストにより読解力の課題を把握するとともに、外部講師による研修を中心に調査研究し、読解力の向上を取り入れた授業改善に取り組む。	①標準学力調査の平均正答率が目標値以上の科目数 ・小学2年:2科目/2科目 ・小学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 算数-1.0ポイント以上 ・中学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 数学+1.0ポイント以上	標準学力調査の平均回答率が目標値以上の科目数 小学2年:1科目/2科目 沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差の合計 小学校:算数-1.5ポイント 沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差の合計 中学校:中1 数学-1.1 中2 数学+0.4	未
28 南風原町	1 4	学習支援員配置事業	H24 ～ R13	通常の授業についていけない児童生徒の学力向上を図るため、小・中学校に学習支援員を配置する。	・小学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 算数-1.0ポイント以上 ・中学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 数学+5.1ポイント以上	・小学校 沖縄県学力到達度調査の県と本町との平均正答率の差の合計 算数-2.9ポイント ・中学校 沖縄県学力到達度調査の県と本町との平均正答率の差の合計 数学-1.5ポイント	未
28 南風原町	1 5	特別支援教育支援員配置事業	H24 ～ R13	特別な支援を要する障害がある児童生徒への学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したとの回答: 95.9%	◎
28 南風原町	1 6	学校ICT推進事業	H24 ～ R13	教員のICT機器の習熟及び学校教育の質を確保するため、ICT支援員を配置する。また、児童数の増加によるクラス数や特別教室が増えた学校へ電子黒板一式の整備を図る。 普通教室へ入れない児童生徒の学びの保障及び学力向上を図るため、特別教室へICTネットワークの整備を図る。	・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上 ・児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合:80%以上	教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったとの回答:94.29% 児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合:83.77%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
28 南風原町	1 7	教育相談支援事業	H24 ～ R13	不登校児童生徒数の改善を図るため、小中学校に教育相談員等を配置し、不登校または不登校傾向にある児童生徒及び不登校や発達障害等の子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対して相談等の支援を行う。 また、学校に作業療法士を派遣し児童生徒の多様性に対応した学習環境を構築し、不登校の未然防止に取り組む。	不登校児童生徒復帰率:22.8%以上	不登校児童生徒復帰率:0.8%	未
28 南風原町	1 8	中学校外国人英語指導助手配置事業	H24 ～ R13	中学校英語学力の向上を図るため、中学校に外国人英語指導助手を配置する。	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・中学校1年・2年 英語+0.0ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・中学校 英語 1年:-1.1 2年:+1.2	△
28 南風原町	1 9	南風原町県外等派遣支援事業	H25 ～ R13	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動参加のため県外や国外へ派遣される場合に必要派遣費用の支援を行う。	対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者等に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	対象児童等の視野が広がったとの回答:100%	◎
28 南風原町	1 10	南風原町幼稚園体育活動充実事業	H28 ～ R13	幼少期に運動する楽しさを実感してもらうことにより、その後の運動習慣を身に付けられるよう、南風原町内の幼稚園児を対象とし、専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施する。	運動する楽しさを実感したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する	運動する楽しさを実感したとの回答:94.07%	◎
28 南風原町	1 11	南風原町各種大会派遣支援事業	H25 ～ R13	県外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、町内の小・中学校の児童生徒が、学校を代表し、中学校体育連盟等が主催する県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の大会派遣費用を支援する。	保護者アンケートで、児童生徒の視野が広がったと実感した割合:80%以上	保護者アンケートで児童生徒の視野が広がったと実感した割合:100%	◎
28 南風原町	1 12	南風原町学校プール日よけ設置事業	R4 ～ R5	プール授業において児童生徒が安全に授業を行うことができるよう、熱中症対策のために日よけ設備の設置を行う。	整備工事完了		繰

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
28 南風原町	1 13	学習者用端末整備事業	R5 ～ R13	児童生徒一人ひとりがICT機器の活用を行えるよう、町立小中学校の児童生徒数の増加に伴う、学習者用端末を整備し、ICT教育の充実を図る。	・各学校において、学習者用端末を使用した課題の達成率 80%以上	各学校において、学習者用端末を使用した課題の達成率:100%	◎
28 南風原町	2 1	南風原町観光景観美化整備事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光ルートとなる道路及び公園等の美化整備を行う。	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する	景観形成が図られたと思う割合:86%	◎
28 南風原町	2 2	ヒーローのまちづくり事業	H25 ～ R13	南風原町が輩出した人材の功績を継承するとともに、観光客を本町へ誘客するため、南風原町が輩出した人材の功績や経歴、所有品の展示等のイベント等を実施する。	・イベント(上映会、風上げ、金城哲夫展等)来客者数:3,250人	イベント来客者数:2990人	○
28 南風原町	2 3	シマジマガイド事業	H24 ～ R13	住民が地元の歴史や文化を学ぶ機会を創出するとともに観光誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を実施する。	シマジマガイド参加者:1,700人	シマジマガイド事業参加者:1,253人	○
28 南風原町	2 4	黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25 ～ R13	陸上、サッカー等合宿利用者数の増加及び、Jリーグキャンプ誘致による誘客を図るため、黄金森公園スポーツ施設のJリーグキャンプ受入体制等の整備を行う。	・陸上、サッカー等合宿利用者数:1,300人 ・Jリーグキャンプ・全国大会来場者数:6,000人	・陸上、サッカー等合宿利用者数:1,601人 ・Jリーグキャンプ・全国大会来場者数:2,615人	○
28 南風原町	2 5	南風原町観光PR促進事業	H25 ～ R13	本町の認知度向上と地域資源の情報発信を図るため、イメージキャラクターのはえるんや野菜のお友達を活用し、様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを実施する。	SNS(インスタグラム)閲覧数64,800件	SNS(インスタグラム)閲覧数:188,536件	◎
28 南風原町	2 6	南風原北インターチェンジ周辺企業集積推進事業	R2 ～ R6	優先して取組む区域に対し、具体的な事業化に向けて検討し、関係地権者への説明会及び、企業ニーズヒアリング等を開催し期事業化に向けて取り組む。	・事業化に向けた検討 ・企業ニーズヒアリング ・地権者説明会の開催	・事業化に向けた検討を実施 ・企業ニーズヒアリングを2社に実施 ・関係地権者への説明会を実施	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
28 南風原町	2	7	南風原町商品展開力強化支援事業	H24 ～ R8	本町の地域資源を活用して製造及び販売する商品のブラッシュアップ、企業マッチングを支援するとともに、販路開拓を図ります。また、優れた特産品については、町内ブランド「はえばる良品」の認証を行います。	商品改良の実施 「はえばる良品」の認証の実施	商品改良を実施した 「はえばる良品」の認証を実施した	◎
28 南風原町	2	8	南風原町和牛改良支援事業	H27 ～ R6	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入母牛の子牛とそれ以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合 牝110% 去勢110%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛と導入牛以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合 (牝)88.03%、(去勢)103.57%	未
28 南風原町	2	9	琉球かすり会館機能強化事業	R5 ～ R5	国の伝統的工芸品である「琉球絣」、「南風原花織」の展示販売・保管の環境改善を図るため、琉球かすり会館の展示ホールに産業用除湿機を導入し、機能強化を図る。	琉球かすり会館における「琉球絣」、「南風原花織」の反物の売上高伸び率7%以上	琉球かすり会館における「琉球絣」、「南風原花織」の反物の売上高伸び率:-21%	未
28 南風原町	3	1	草木リサイクル事業	H24 ～ R13	焼却ごみを減らし、環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築によりごみ処理処分場の長寿命化を図るため、町内から排出される草木を細かく破碎し堆肥化する。	・家庭系草木のリサイクル量(堆肥化):509トン ・町内一斉清掃等草木のリサイクル量(堆肥化):105トン	家庭系草木のリサイクル量(堆肥化):398t 町内一斉清掃等草木のリサイクル量(堆肥化):86t	○
28 南風原町	3	2	環境保全3R推進事業	R1 ～ R13	環境負荷の少ない循環型社会の形成と、ごみ処理処分場の長寿命化を図るため、本町の一般世帯から回収された資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、廃食油、ペットボトル、古着)の分別作業を実施しリサイクルを推進する。	資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着)の分別量 1,079トン 廃食油の収集分別量22,000リットル	資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着)の収集分別量:888t 廃食油の収集分別量:11,102ℓ	未
28 南風原町	4	1	放課後児童の居場所づくり支援事業	H24 ～ R13	安心・安全に子供を預けることができ、保護者の子育てへの負担感を軽減するため、本町の民間の賃貸住宅等を利用している学童クラブに対して家賃の補助を実施する。また、学童クラブが生活保護世帯及びひとり親家庭等の学童利用者にに対し利用料を減免した場合の補助を実施する。	安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか、本事業により、就労できた又は就労を継続できたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減された、本事業により、就労できた又は就労を継続できたとの回答:97%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
28 南風原町	4 2	認可外保育園支援事業	R1 ～ R13	出生率の高い沖縄の喫緊の課題である待機児童の受入を担っている認可外保育園の保育の充実、児童の福祉向上を図るため、本町内認可外保育園に対し、運営費補助、歯科検診費用補助、傷害保険費用補助を行う。 また、町内在住の町外認可外保育園利用児童保護者に対し、保育料の助成を行う。	・対象園利用児童保護者に対し、保育の質が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。 ・対象児童保護者に対し、助成により保護者負担が軽減されたか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。	園児の保護者に対し、保育の質が向上したとの回答:80%	◎
28 南風原町	4 3	輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R13	新型コロナウイルス感染症対策の為の入国制限措置が段階的に緩和され、麻しん及び風しんに感染した観光客が来県した場合でも、感染症の蔓延を予防するとともに沖縄観光や経済への影響を最小限にするため、麻しん風しん(MR)予防接種の受けやすい体制の構築により接種率の向上を図る。	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数:0件	◎
28 南風原町	5 1	陸軍病院壕公開活用事業	H24 ～ R13	南風原町の歴史継承及び観光誘客を図るため、沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行うとともに、整備・公開している20号壕を訪れる県内外の見学者に対して壕内外のガイド案内を実施する。	見学者数8,000人	見学者数:6,363人	○
28 南風原町	5 2	子ども平和学習交流事業	H24 ～ R13	子どもたちが平和について理解を深めるため、戦争と平和、差別や人権等について、施設を訪ねたり交流や研修を重ね学習する。	・参加児童の保護者へのアンケートで、子どもにより変化がみられた:90% ・参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の問題に興味がわいた児童:90%	参加児童の保護者へのアンケートで、子どもにより変化がみられた:100% 参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の問題に興味がわいた児童:100%	◎
28 南風原町	5 3	伝統芸能保存育成事業	H24 ～ R13	伝統芸能の継承を図るため自治会への道具・衣装・楽器・面具などの購入や修繕に対して補助金を交付する。	補助団体による伝統芸能上演等回数 34回	補助団体による伝統芸能上演回数:4回	未
28 南風原町	5 4	民俗芸能交流会開催事業	H26 ～ R13	町内各地にある伝統芸能を披露する場、他地域と交流する場を設け、新たな世代へ地域の伝統芸能を継承し、地域活性化を図るため南風原町民俗芸能交流会を行う。	出演:6字12演目 参加者数(出演・来客):450人	出演:8字16演目 参加者数(出演・来客):528人(出演者:128人 来客:400人)	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
28 南風原町	5	5	資料の公開活用事業	H24 ～ R11	南風原町独自の資源を活用した地域づくりを図るため、南風原文化センターに収蔵されている貴重な歴史資料等をデータベース化して整理し、公開活用を行う。	資料約500点のデータベース化完了	資料のデータベース化完了:585点完了	◎
28 南風原町	6	1	長寿県復活食の応援事業	H25 ～ R13	将来の生活習慣病の予防に向けて、食生活や生活習慣の改善に係る知識の普及を図るため、生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。	中学2年生の継続受診率60%(令和2年度小学5年生で受診した者のうち、中学2年生でどれだけ健診を継続して受診できたか)	中学2年生の継続受診率:61.5%	◎
28 南風原町	7	1	南風原町防災情報発信強化事業	R5 ～ R7	災害時に住民や観光客への適確な情報発信として、防災行政無線の屋外子局(スピーカー)の機能向上や増設、複数メディアへの同時配信機能整備等により、被害を最小限に抑える対策を講ずるため、防災行政無線の情報発信強化を行う。	実施設計の策定完了		繰
28 南風原町	7	2	防災体制強化事業	H24 ～ R5	大規模災害時における観光客及び町民の安全確保を図るため、災害備蓄品及び資機材等を整備し、地域防災体制強化を行う。	指定避難所(南風原町総合保健福祉防災センター)及び緊急避難所(自治公民館)への災害用備品の設置完了 ・ポータブル電源:30台 ・避難所用テント:150張 ・防災倉庫整備:1箇所	災害用備品を設置完了した(完了率:100%)	◎
29 渡嘉敷村	1	①	渡嘉敷村観光総合推進事業	H24 ～ R13	観光需要の回復を図るため、県内外の観光イベントにおけるPR活動や、各種広告媒体を活用した情報発信を継続し、多様な観光ニーズに対応する、withコロナ時代の新しい観光地づくりに取り組む。	①年間入域観光客数 134,800人以上 ②観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	①年間入域観光客数 115,592人 ②観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか(86%)	○
29 渡嘉敷村	1	②	渡嘉敷村美化清掃事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施する	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図れたか(80%以上)をふくめ、アンケートにより本事業のあり方について検証する	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図れたか(87%)	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
29 渡嘉敷村	1 ③	渡嘉敷村観光振興事業	H29 ～ R13	渡嘉敷村の観光振興を図るため、各イベント実行委員会等への支援や、修学旅行等の誘致活動に取組む観光協会及び特産品(お土産品)のPRに取組む商工会への支援を行う。	①年間入域観光客数 134,800人以上 【参考指標 R1実績】 イベント来場者(参加者)数 ・とかしきまつり 600人 ・とかしきマラソン 890人 ・冬季(11月～3月)20,394人 ②修学旅行受入校数 10校以上/年 ③特産品のブランド化・PR 土産品に特化したサイトやSNSツールの構築 セミナーの実施 マラソンイベントでのPR	①年間入域観光客数 109,624人 ②修学旅行受入校数 0校/年 ③特産品のブランド化・PR 実施	△
29 渡嘉敷村	1 ④	渡嘉敷村海域安全確保事業	R1 ～ R13	村内の2ビーチ(阿波連ビーチ・渡嘉志久ビーチ)において、ビーチ利用者の水難事故防止及び安全確保を図るため水難救助員等を配置する。	① 水難救助員配置期間中の水難死亡事故 0件 ② 観光客を対象としたアンケートを実施し、安全性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	① 水難救助員配置期間中の水難死亡事故 0件 ② 観光客を対象としたアンケート未実施	未
29 渡嘉敷村	2 ①	自動車航送コスト負担軽減事業	H28 ～ R13	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図るため、渡嘉敷港～那覇泊港間の車輛航送利用者に対し運賃を半額補助する。	・沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(満足度80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(満足度99%)	◎
29 渡嘉敷村	2 ②	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25 ～ R3	渡嘉敷村営定期船の欠航、または時刻に変更あった場合にヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援する。	渡嘉敷村営定期船の欠航時等に代替手段となるヘリコプターの運賃補助を行うことで、利便性が確保されていると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する	渡嘉敷村営定期船の欠航時等に代替手段となるヘリコプターの運賃補助を行うことで、利便性が確保されていると感じたか(100%)	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
29 渡嘉敷村	3 ①	小学校学習支援員配置事業	H24 ～ R13	村立小学校に学習支援員を配置し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行う。 <R5取組> 配置人数 村立小学校2校に各2名、計4名	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率+7.9ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率+3.1ポイント	未
29 渡嘉敷村	3 ②	児童・生徒派遣支援事業	H25 ～ R13	村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会、県大会や全国大会等に参加する児童生徒に対し、航空運賃等の補助を行う。 <補助概要> 対象経費:交通費、宿泊費等 自己負担:一律2千円/回	児童生徒の視野が広がったかどうか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	児童生徒の視野が広がったかどうか(93%)	◎
29 渡嘉敷村	3 ③	家庭教育支援事業	H28 ～ R13	小学校5年生～中学3年生を対象にWebシステムを用いた授業による学習塾を実施する。	学習塾内で実施するテスト(全国規模)において、全国と本村の平均点の差を-14.1以内とする。 中学3年生は、志望校合格率80%	学習塾内で実施するテスト(全国規模)未実施 中学3年生の志望校合格率100%	未
29 渡嘉敷村	4 ①	渡嘉敷村農村整備振興事業	R4 ～ R13	農業(農家の利便性、安全性の確保及び新規農業従事者獲得に向けたアピール)、観光(自然を感じられる散策コースとしてアピール)、環境(動植物保護のための保全活動)の3つの総合的な観点から農村地域の整備を行い、魅力と活力のある継続可能な農業振興を図る。	村民・観光客へのアンケート 農環境が改善した80%以上	村民・観光客へのアンケート 農環境が改善した75%	未
29 渡嘉敷村	5 ①	渡嘉敷村防災体制強化事業	R5 ～ R6	安心安全に暮らせる村及び災害にも強い観光地づくりを推進するために、災害情報や避難情報伝達を様々な手段(メディア)で発信できるよう防災行政無線の機能強化を行い、村の防災体制の向上を図ります。	複数メディア配信装置(防災CMS)の導入	複数メディア配信装置(防災CMS)の導入	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
30 座間味村	1 ①	座間味村海域安全隊事業	H24 ～ R13	村内の指定3ビーチにおいて、観光客の増加する4月上旬から11月中旬の期間、水難事故防止及び安全確保を図るため、ライフセーバー員等を配置する。 また、ビーチ周辺の危険箇所や無人島のパトロールも併せて行う。	ライフセーバー配置期間中の死亡事故:0件	ライフセーバー配置期間中の死亡事故:0件	◎
30 座間味村	1 ②	座間味村がんばる観光支援事業	H24 ～ R13	観光客誘致を図るため、各イベント実行委員会へ補助金の交付するとともに、PR素材を活用した県内外へのプロモーション施策展開を実施する。	入域観光客数112,000人	入域観光客数:94,843人	○
30 座間味村	1 ③	座間味村観光受入拠点事業	H24 ～ R13	観光客の利便性確保及び観光誘客を図るため、座間味村観光協会が実施する観光誘客活動及び観光案内業務等の取り組みに対して補助を行う。	・観光客の利便性が図られたか(80%以上)を含め、観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・観光客へのおもてなしに活用できると感じたか(80%以上)を含め、講習会に参加した観光事業者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	観光客の利便性向上が図られた(満足した)との回答:85.3% 観光客へのおもてなしに活用できると感じたとの回答:90%	◎
30 座間味村	1 ④	座間味村戦跡及び戦争記念碑等整備	H29 ～ R5	平和学習を目的とした修学旅行の誘致を図るため、村内に点在する戦跡や石碑等の周辺環境整備を行う。	・躑躅の塔、昭和自決の碑、集団自決の碑の周辺環境整備工事/施工管理の完了	整備工事/施工管理を完了した。	◎
30 座間味村	1 ⑤	座間味港緑地公園照明設備更新工事業	R4 ～ R5	村内をはじめ、県内又は県外のスポーツ団体を誘致し、地域のスポーツ振興、活性化を図るため、本村既存の緑地公園グラウンドの照明設備の設置工事を行う。	設置工事の完了	工事完了	◎
30 座間味村	2 ①	座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業	H24 ～ R13	定期船欠航時等の沖縄本島への移動手段を確保し、離島の不利性解消を図るため、那覇～座間味村間のヘリコプターチャーター便利用に係る運賃負担に補助を行う。	利用者アンケートを実施し「利便性が確保された」との回答80%以上を目標とする。	利便性が確保されたとの回答:99.1%	◎
30 座間味村	2 ②	座間味村自動車航送運賃低減化事業	H25 ～ R13	村民が沖縄本島へ移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図るため、座間味村～泊港間の車両航送利用者に対し運賃を半額補助する。	利用者へアンケートを行い、フェリーの自動車輸送費補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	「事業に満足しているとの回答:90.8%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
30 座間味村	2 ③	座間味村冬季船舶運賃低減 化実証実験事業	R4 ～ R6	観光客誘客を図り、観光客の増加＝旅客の増加により、村民の生活に欠かすことの出来ない航路事業の安定化を図るため、冬季(1月～3月)の閑散期における那覇発の船舶運賃を低減化する実証実験を行う。	1月～3月旅客数:8,000名以上 1月～3売上:34百万円以上名以上	1月～3月旅客数:15,419名 1月～3売上:48,628千円	◎
30 座間味村	2 ④	座間味村大型2種免許取得助 成事業	R4 ～ R5	座間味村内の唯一の公共交通機関である村営バスについて、大型2種免許取得者が村内に少数である為、今後のバス運行を続けるために運転手の確保が喫緊の課題である。 免許取得費用並びに取得期間における宿泊費や交通費の支援を行い、運転手不足の解消、雇用拡大に繋げ、住民ならびに観光客の交通手段の確保、観光客の利用拡大、公共交通の安全性確保を図る。	助成人数:10名	助成人数:1名	未
31 粟国村	1 ①	環境美化促進事業	H24 ～ R13	魅力的な景観地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路を中心に美化活動を実施するとともに、外来植物の駆除を行う。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか:59%	未
31 粟国村	1 ②	粟国村「ア」のくにづくり推進事 業	H26 ～ R13	観光プロモーション活動を通して、地域の伝統芸能の保存継承を図るとともに、認知度の向上及び観光誘客を図るため、粟国村「ア」の国まつりの開催や観光PR活動及び広報周知活動を実施する。	①イベント開催【アの国まつり】 ・イベント出演者(粟国島芸能):演舞者:50人(むんじゅる節、むんじゅる太鼓、マースヤー、エイサー) ・イベント来場観光客数:112人(2日間) ・粟国村観光PR活動の実施 ②広報周知活動【フェア出展】 ・フェア全体での来場客数(3日間で15万人)の1割である15,000人に観光PR用の配布物を提供する。	①イベント開催【アの国まつり】 ・イベント出演者(粟国島芸能):演舞者:52人 ・イベント来場観光客数:145人 ・粟国村観光PR活動:実施 ②広報周知活動【フェア出展】 ・フェア全体で観光PR用の配布物を提供:15,000人	◎
31 粟国村	1 ③	ハブ対策事業	R2 ～ R13	ハブ捕獲・駆除を行うことにより、地域住民や観光客の安心安全が確保され、観光振興と安全な生活条件の整備を図る。	・ハブ咬傷被害:0件	・ハブ咬傷被害:0件	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
31 栗国村	2 ①	国際交流支援事業	H27 ～ R13	海外での生活体験を通して外国語への学習意欲の向上と豊かな国際性を身につけた人材を育成するため、本村中学生を対象に海外短期留学を実施する。	【成果目標①】 帰国後、派遣対象生徒へ「ホームステイ実施後、授業等への取組姿勢などが向上した」(80%以上)を含め、アンケートを取り本事業のあり方を検証する。 【成果目標②】 英語検定受験者の増加(生徒の70%以上が受検)	・帰国後、派遣対象生徒へ「ホームステイ実施後、授業等への取組姿勢などが向上した」: 100% ・英語検定受験者の増加:60%	○
31 栗国村	2 ②	学力向上支援事業	H27 ～ R13	島内の児童生徒の学習環境の充実を図り、生徒の学力向上を図るため、村営塾を実施する。	【成果目標①】 沖縄県学力到達度調査での県平均値以上 【成果目標②】 対象児童生徒の「授業等への取組姿勢などが向上したか」(80%以上)を含め、アンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	・沖縄県学力到達度調査での県平均値以上 小学校: +1.7ポイント 中学校: -0.73ポイント ・対象児童生徒の「授業等への取組姿勢などが向上したか」:54%	△
31 栗国村	2 ③	児童・生徒派遣支援事業	H25 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会等及びその指導者等に対し、運賃等の補助を行う。	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	対象児童生徒の視野が広がったか:100%	◎
31 栗国村	3 ①	栗国村交流人口航空運賃コスト負担軽減事業	R3 ～ R13	栗国村へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填する。	栗国村への観光入域者数:3,300人以上	栗国村への観光入域者数:2,967人	○
31 栗国村	3 ②	栗国村自動車航送運賃低減化事業	R2 ～ R13	栗国⇄那覇間の車両航送利用者に対して往復運賃の半減補助を行う。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか:83%	◎
31 栗国村	3 ③	栗国村墓地周辺環境整備事業	R4 ～ R6	墓地周辺整備に必要な基本設計及び実施設計を行う。	栗国村墓地周辺環境整備の基本設計及び実施設計の完了	栗国村墓地周辺環境整備の基本設計及び実施設計:完了	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
31 粟国村	3 ④	粟国村交通移動手段低減化対策事業	R5 ～ R13	本村への来島者の利便性の確保及び島民との交流増加を図るため、那覇泊港発フェリーの運賃を一部支援する。	・フェリーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、利用者へのアンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	アンケートにおいて満足度:98%	◎
31 粟国村	3 ⑤	離島空航路チャーター運航支援事業	R5 ～ R13	那覇・粟国間航空路線の確保・維持により定住条件の整備を図るため、村民の生活路線として運航するチャーター便の運航に伴い生じた欠損額に対し、県と協調して補助を行う。	那覇⇄粟国間航空路線の確保・維持	那覇⇄粟国間航空路線:確保・維持	◎
31 粟国村	4 ①	和牛改良支援事業	H25 ～ R8	本村畜産業の振興を図るため、県内外から母牛となる素牛としての優良雌牛の導入をして、付加価値の高い子牛の生産ができるよう支援する	優良雌子牛導入10頭	優良雌子牛導入:0頭	未
31 粟国村	4 ②	粟国島農業活性化事業	R5 ～ R13	干ばつ時の灌水対策や台風の追加後の塩害対策を行う為、散水車輛2台リースする。 【散水車使用時期(8カ月間)】 ①サトウキビ春植え:3月～6月 ②サトウキビ夏植え:8月～11月 ③もちきび種まき:2月～3月 ④タマネギその他の野菜:12月～1月 ⑤牛飲み水の運搬:12カ月間	サトウキビ:1,890トン以上 もちきび:3,175kg以上	・サトウキビ:1,462トン ・もちきび:81kg	未
32 渡名喜村	1 ①	環境保全美化推進事業	H24 ～ R13	観光地や集落内などの緑化及び美化活動の実施	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成を図られたか:85%	◎
32 渡名喜村	2 ①	離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25 ～ R13	島民及び来島者の交通手段を安定的に確保するため、フェリー欠航時に代替手段となるヘリタクシーを利用した場合の運賃を一部支援する。	フェリー欠航時に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	フェリー欠航時に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか:100%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
33 南大東村	1 ①	健康診査専門スタッフ派遣渡航費用支援事業	H24 ～ R13	住民検診が安定的に実施できる環境整備を整えるため、特定健診等で派遣される専門の医師、保健師、看護師、検査技師等の来島渡航費用を支援する。	集団検診受診率33.3%以上。	269人(28.2%)	○
33 南大東村	1 ②	専門病院受診渡航費助成事業	H25 ～ R13	村内の医療機関では対応できない専門的な治療を継続して受けられるようにするため、沖縄本島での治療、検査等にかかる渡航費を支援する。	渡航費支援が必要な人への支援率。100%。	支援率 100%	◎
33 南大東村	1 ④	遠隔離島定住促進住宅整備事業	R5 ～ R6	1ターン・リターンによる移住者等の定住促進を図るため、定住促進住宅を整備する。	住宅用地・基本設計・建築工事・住宅(ユニットハウス)を取得完了(4世帯)。	-	繰
33 南大東村	2 ①	花いっぱいクリーン環境整備事業	H26 ～ R13	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	観光客を対象に、観光地としての魅力向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:満足85%	◎
33 南大東村	2 ②	第2次南大東村観光振興計画事業	R5 ～ R5	本村の観光振興を推進するため、南大東村観光振興計画改定・観光危機管理計画策定を行う。	観光振興計画改訂完了。	-	繰
33 南大東村	3 ①	人材育成派遣事業	H25 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。	派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。	アンケート結果:100%	◎
33 南大東村	4 ①	循環型農業推進事業(土壌改良材製造施設整備事業)	R4 ～ R6	製造施設整備の実施設設計・施設の運用および実証試験による土壌改良の効果を検証。また、汚泥等による水質改善および汚泥等混合による土壌の実態調査の検証。	土壌改良資材の実証試験検証および施設の実施設設計、自然池の汚泥等混合による実態調査検証。	-	繰

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
33 南大東村	4 ②	南大東村水産業振興計画策定事業	R5 ～ R5	水産業振興計画策定に向けた調査の実施、現状分析及び課題抽出、具体的解決策の検討・策定	水産業振興計画の策定完了	－	繰
33 南大東村	5 ①	文化の継承と観光の拠点機能強化整備事業	R5 ～ R6	訪問者が歴史文化を学ぶスペースや滞在型観光にむけた整備計画及び歴史資料のデジタル化や新たな展示物の検討または配置計画を行う。	基本計画(案)の策定完了	－	繰
33 南大東村	6 ①	南大東村ビジターセンター施設機能強化事業	R5 ～ R7	天然記念物及び島の貴重な資料を損失リスクから守る対処案と、誰もが容易に施設内を観覧できる改善案をまとめ、島の特色を活かした観光資源の活用等を計画する。	基本計画(案)の策定完了	－	繰
33 南大東村	7 ①	南大東離島住民等交通コスト負担軽減事業	R5 ～ R5	離島住民に係る航路及び航空路の運賃を低減することにより、本県離島地域の定住条件を整備し、当該地域における活力向上を図る。	・離島航空路線を維持するために、渡航運賃低減化を図り、負担軽減された離島住民の率:100%	アンケート結果:100%	◎
34 北大東村	1 ①	観光アクセス道路美化緑化推進事業	H24 ～ R13	観光地周辺・重要アクセス道路の修景及び美化を実施し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な景観形成が図られたと回答した割合:93%	◎
34 北大東村	1 ②	地域の観光文化資源の担い手育成事業	H24 ～ R12	伝統文化である大東太鼓の担い手を育成・確保し、魅力を積極的に発信することによって観光誘客を図るため、島外の文化交流イベント等に参加する演者の渡航費を補助する。	・島の観光入客者数:1,100人以上	・島の観光入客者数:1,196人	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
34 北大東村	2 ①	オンライン双方向授業支援モデル事業	H25 ～ R13	遠隔地である離島において、課題となっている教育環境格差を解消するため、村営塾を開講し、都市部と同様の学習環境を提供できるオンライン双方向授業を行う。	・令和5年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①小学校 県平均以上 ・3年生から6年生の実施 ②中学校 県平均以上 ・1年生、2年生の実施	アンケート結果:100%	◎
34 北大東村	3 ①	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	H24 ～ R13	保護者の育児への負担感を軽減するため、認定こども園に支援員を配置する。	・対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合(80%以上)を含め事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合:90%	◎
34 北大東村	3 ②	離島の児童生徒の交流促進事業	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことにより児童・生徒に広い視野を持たせるため、島外・県外へのスポーツや交流学習に参加する児童・生徒に対し渡航費の補助を行う。	・派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。	保護者へのアンケートで広い視野を持てたと回答した割合:100%	◎
34 北大東村	3 ③	離島特別医療質確保推進事業	H24 ～ R13	特定重病患者等の健康を守るため、島内で対応できない専門医療を受ける際の渡航費の一部助成を行う。 また、村民の心身の健康に関する不安を解消するため、専門医療従事者を招聘し、相談や検診等を行う。	・渡航費支援が必要な人への支援率:100% ・心身の健康に関する不安が解消されたか(80%以上)を含め、受診者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・渡航費支援が必要な人への支援率:100% ・受診者へのアンケートで心身の健康に関する不安が解消されたと回答した割合:100%	◎
34 北大東村	4 ①	北大東村景観形成事業	H26 ～ R13	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備(伐採・植栽)を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・観光客等を対象としたアンケートで魅力的な景観形成が図られたと回答した割合:87%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
34 北大東村	5 ①	土づくり推進事業	R3 ～ R12	大東島の土壌は、特殊な土壌であり作物栽培を行う上での悪条件な土壌であることから、圃場ごとに土壌カルテの作成を行い、圃場ごとに適した土壌作りを促進し、農産物生産量を増加させる。	・土壌カルテ作成(40圃場)	・土壌カルテ作成(40圃場)	◎
34 北大東村	6 ①	北大東離島住民等交通コスト負担軽減事業	R5 ～ R5	離島住民に係る航路及び航空路の運賃を低減することにより、本県離島地域の定住条件を整備し、当該地域における活力向上を図る。	・離島航空路線を維持するために、負担軽減支援が必要な人への支援率:100%	・離島航空路線を維持するために、負担軽減支援が必要な人への支援率:100%	◎
34 北大東村	7 ①	緊急車両(消防車)導入事業	R3 ～ R5	緊急車両(消防車)を導入し、災害時の被害抑制等、防災体制の向上を図る。	・緊急車両(消防車)の導入	-	繰
34 北大東村	8 ①	避難所強化事業	R4 ～ R5	避難所の機能強化を図り災害発生時の安全性の確保を図る。	・避難所の安全性が向上されたか(80%以上)を含め、避難所利用者等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・避難所利用者等を対象としたアンケートで避難所の安全性が向上されたと回答した割合:88%	◎
35 伊平屋村	1 ①	商工観光産業支援事業	H24 ～ R13	民泊利用者の増加を図るため、伊平屋島観光協会の活動を支援する。	民泊利用者数 1,107人以上	民泊利用者数:2,078人	◎
35 伊平屋村	1 ②	観光地イメージアップ推進事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図る。	アンケート調査により、観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じる回答80%以上	アンケート調査により、観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じる回答:80%	◎
35 伊平屋村	1 ③	誘客イベント推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、イベントの開催及び開催支援等を行う。	村内入域観光客数 18,044人以上	村内入域観光客数:22,360人	◎
35 伊平屋村	2 ①	病虫害防除事業	H24 ～ R13	さとうきびの生産量低下の原因となっている病虫害の防除を図るため、ほ場に薬剤を設置する。	・さとうきびの生産量 5,060トン ・病虫害の発生件数の抑制 平均 6.00匹/日 以内	・さとうきびの生産量:3,931トン ・病虫害の発生件数の抑制:平均 0.20匹/日	○
35 伊平屋村	2 ②	伊平屋村優良繁殖牛導入事業	H26 ～ R13	農家の経営の安定化に向けて子牛のブランド化を推進するため、引き続き優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 103%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:107%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
35 伊平屋村	3 ①	伝統文化継承支援事業	H24 ～ R13	島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成するため、社会教育の一環として伝統文化、伝統芸能について、地域人材バンク登録者との連携による課外講座を月1回伝統文化学習の日を定め実施する。又、失われつつある本村特有の伝統芸能を継承していくため、保存会及び各集落の活動に対して支援を行う。	①伝統文化教室への参加率 100% ②伝統芸能演舞者数 80名 ③来場者数 300名	①伝統文化教室への参加率:100% ②伝統芸能演舞者数:中止	△
35 伊平屋村	3 ②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別支援を要する児童生徒に対応し特別支援員を配置するとともに、小・中学校での習熟度に遅れのある通級児童生徒を対象とした学習支援員の配置、また家庭学習支援として中学1年から3年生までを対象とした村営塾を開講し、個々にあったきめ細かい学習支援を図る。	①対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援の対応に満足したか(80%以上)を含め、当事業のあり方を検証する。 ②沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校(国語・算数・理科) -0.3ポイント以上 中学校(国語・数学・理科・社会・英語) -7.4ポイント以上	①対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援の対応に満足したか:100% ②沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校(国語・算数・理科) -4.925ポイント 中学校(国語・数学・理科・社会・英語) -7.175ポイント	△
35 伊平屋村	3 ③	英語学習支援事業	H25 ～ R13	グローバルな時代に適応できる国際性豊かな人材を育成をするため、小中学生を対象としたイングリッシュキャンプの開催による動機付けや、本村の中学生を海外に派遣し、異文化体験する機会を与え、将来の本村及び地域社会へ貢献できる人材の育成を図る。	保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか:100%	◎
35 伊平屋村	3 ④	伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業	H26 ～ R13	村外で実施されるスポーツ大会及び交流や文化交流等各種教育活動の派遣にかかる負担を支援し、他地域校の児童生徒等との交流や各種スポーツ大会の参加による児童生徒の意識の向上やスポーツの技術向上等様々な面で離島の抱える教育的なハンディを克服する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検討する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたか:96.4%	◎
35 伊平屋村	3 ⑤	キャリア教育支援事業	H26 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(60%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか:67%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
35 伊平屋村	3 ⑥	福祉従事者人材育成事業	R4 ～ R6	本村の福祉人材を確保・育成するため、研修を実施する。	・村内外での福祉人材育成確保研修の完了 ・福祉人材3名以上	・村内外での福祉人材育成確保研修:完了 ・福祉人材:4名	◎
35 伊平屋村	3 ⑦	琉球弧に関する広域調査・文化資源創出事業	R5 ～ R7	離島間連携・交流活性化、関係人口増加。風土・環境の資源を軸にした広域への配信により今後の交流・観光および定住促進事業の推進力とする。	調査委託の完了 展示会の実施	・調査委託:完了 展示会:実施	◎
35 伊平屋村	4 ①	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ R13	預かり保育の実施により、保護者の育児における負担感の軽減を図る。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児における負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児における負担感が軽減されたと感じたか:100%	◎
35 伊平屋村	4 ②	適正飼養推進化事業	R4 ～ R8	本村の住みよい住環境の提供を図るため、猫の適正飼養に向けた普及・啓発活動の取組を行う。	・避妊去勢手術実施済猫50頭以上	避妊去勢手術実施済猫:19頭	未
35 伊平屋村	4 ③	自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R13	島民に対しフェリー自動車航送費の支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか:96%	◎
35 伊平屋村	4 ④	公営墓地等整備事業	R4 ～ R7	墓地整備計画を策定する。	墓地整備計画の策定完了	墓地整備計画の策定:完了	◎
35 伊平屋村	4 ⑤	商福連携環境整備事業	R5 ～ R5	地域住民や移住・定住者等の起業支援策として、多用途に使用可能な特産品の生産、製造拠点を整備し、産業の育成による雇用の場を創出する	村内入域観光客数 18,044人以上 心身の弱者の延べ就労数 4名	・村内入域観光客数:22,360人 ・心身の弱者の延べ就労数:4名	◎
36 伊是名村	1 ①	観光地等クリーンアップ事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設等の美化緑化作業を実施する。	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検討する。	アンケート結果:86%	◎
36 伊是名村	1 ②	いげな尚円王まつり支援事業	H24 ～ R13	いげな尚円王まつり開催支援	来場者数 2,475人以上	1,570人(63%)	未

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
36 伊是名村	1 ③	いげな88トライアスロン大会支援事業	H24 ～ R13	いげな88トライアスロン大会支援	大会参加者の満足度(80%以上)を含め、当該事業のありかたについて、アンケート調査により検証する。	アンケート結果:100%	◎
36 伊是名村	1 ④	「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業	H24 ～ R6	観光誘客を図るため、尚円王の血族に関わる旧蔵品の修復を行う。	旧蔵品(復元資料)を活用した祭時への来場者数:80人以上	150人	◎
36 伊是名村	1 ⑤	伊是名モータースポーツ支援事業	H26 ～ R13	観光客の誘致を図るため、モータースポーツ大会の開催を支援する。	来場者数 754人以上	765人	◎
36 伊是名村	1 ⑧	伊是名海岸環境整備事業	R3 ～ R7	地域資源を活かした心安らぐ魅力的な観光地を目指すため、伊是名海岸周辺整備を行う。	伊是名海岸環境整備事業における整備工事の完了	完了	◎
36 伊是名村	2 ①	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R13	島民に対し、フェリーの自動車航送費へ支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:90.6%	◎
36 伊是名村	2 ②	定住促進住宅整備事業	H30 ～ R5	Iターン・Uターンによる移住者の定住促進を図るため。	建築工事(勢理客地区)整備を行う。	－	繰
36 伊是名村	3 ①	人材育成事業(日高小との交流事業)	H24 ～ R13	伊是名小学校6年生を北海道に派遣し、日高小学校との交流学习・体験学習を実施する。	・児童の協調の精神等の向上についてまとめた報告書の作成 ・保護者へのアンケートを行い、県外での交流により、児童の視野が広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方について検証する。	①作成 ②85%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
36 伊是名村	3 ②	児童生徒島外諸教育活動 支援事業	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童 生徒に広い視野を持たせる。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケート で、児童・生徒が島内ではできない経験を することができたか(80%以上)を含め、当該 事業のあり方について検証する。	アンケート結果:93.0%	◎
36 伊是名村	3 ③	幼稚園預かり保育支援事 業	H24 ～ R13	預かり保育の実施により保護者の育児における負担 軽減を図る。	保護者へのアンケートで、預かり保育により 育児の負担軽減が図ることができたか(80% 以上)を含め当該事業のあり方を検証する。	アンケート結果:100%	◎
36 伊是名村	3 ④	学習支援事業	H24 ～ R13	学校への学習支援員の配置及び放課後教室・学習 塾の開講を行い、学力の向上を図る。	平成29年度～令和3年度までの沖縄県学 びのたしかめ調査での村と県の平均正答率の 差 小学校 -11.6ポイント以上 中学校 -4.9ポイント以上	小学校 -11.9ポイント 中学校 -31.0ポイント	未
36 伊是名村	4 ①	伊是名村土づくり支援事 業	H24 ～ R13	さとうきびの生産量の増加を図るため、圃場に堆肥 の散布を行う。	さとうきびの単収 : 6,600kg	4,840kg	○
36 伊是名村	4 ②	農地の地力強化推進事業	R4 ～ R8	除礫作業・作土供用開始	作土造成量:13,410t	1,504.56t	未
37 久米島町	1 ①	優良雌牛導入事業	H26 ～ R13	農家の経営の安定化に向けて、町内の繁殖農家が 生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、優 良繁殖雌牛を導入する畜産農家または優良繁殖雌 牛を導入し農家へ貸付を行う団体に対し、導入に係 る経費の支援を行う。	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうで ない子牛との価格差の割合:106%以上	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない 子牛との価格差の割合:108%	◎
37 久米島町	2 ①	久米島紬販売促進事業	H24 ～ R13	久米島紬及び関連商品の売上増加を図るため、久 米島紬事業協同組合が実施する販促活動を支援す る。	久米島紬及び関連商品の年間売上高 ①反物売上額 6,446万円以上 ②小物売上額 1,174万円以上	久米島紬及び関連商品の年間売上高 ①反物売上額 6,446万円 ②小物売上額 1,630万円	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
37 久米島町	2 ②	久米島特産品販路開拓事業	H25 ～ R13	島の特産品の売上増加を図るため、久米島商工会が行う特産品の販促活動やPR活動へ支援を行う。	開催、出展した物産展における島特産品の販売額:1,932万円以上	開催、出展した物産展における島特産品の販売額:2,022万円	◎
37 久米島町	2 ③	地域型就業意識向上支援事業	H30 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、児童生徒へキャリア教育等を実施する。	①各種取組に参加した児童生徒へアンケートを実施し、「職業に対して【良いイメージ】と回答した割合(80%以上)」により本事業の効果を検証する。 ②小中高と本事業のプログラムを実施してきた18歳の生徒へ追跡調査を実施し、「将来、本町で仕事につきたいと回答した割合(65%以上)」により本事業の効果を検証する。	①各種取組に参加した児童生徒へアンケートを実施し、「職業に対して【良いイメージ】と回答した割合(94%)」。 ②小中高と本事業のプログラムを実施してきた18歳の生徒へ追跡調査を実施し、「将来、本町で仕事につきたいと回答した割合(35%)」	△
37 久米島町	2 ④	ブランディングサポート事業	R4 ～ R6	本町の島素材を活かした特産品の売上向上を目的に、新商品開発や既存商品のブラッシュアップを含めた、販売戦略手法や経営マネジメントを学べるブランディングセミナーを開催する。	特産品売上額:8,349千円以上	特産品売上額:13,273千円	◎
37 久米島町	3 ①	観光誘客促進事業	H26 ～ R13	観光地としての知名度向上を図るため、「久米島観光の日」イベントの開催や県内外のイベントでのプロモーション活動を行う。観光閑散期に向けた誘客として、チャーター便を確保し入域数の平準化を図る。また観光客の利便性を確保するため、久米島空港内に観光案内所を設置する。	・久米島に旅行でいま訪れてみたいと回答した割合(80%以上) ・離島周遊ツアー参加人数2,160人	・久米島に旅行でいま訪れてみたいと回答した割合(98%) ・離島周遊ツアー参加人数510人	△
37 久米島町	3 ②	体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26 ～ R13	観光関連商品の売上増加を図るため、観光体験プログラムの販売促進及び、教育旅行誘致強化を行う。	観光体験プログラム売上額(一般)1,853,511円以上 (教育旅行)9,140,653円以上	観光体験プログラム売上額(一般)2,189,050円 (教育旅行)13,794,110円	◎
37 久米島町	3 ③	航空運賃コスト負担軽減事業	H30 ～ R13	久米島へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割引いて販売した際の差額分を補填する。	久米島町への観光入域者数:130,000人以上	久米島町への観光入域者数:98,082人	○
37 久米島町	3 ④	久米島観光ブランディング事業	R4 ～ R6	久米島観光の「ブランド化」を進め、観光資源の高質化と高付加価値化を図るとともに、効率的な情報発信を行う。	一人当たりの観光消費額 R5目標一人当たり 食事・お酒12,851円 お土産・買い物8,329円	一人当たりの観光消費額 R5目標一人当たり 食事・お酒14,135円 お土産・買い物8,957円	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
37 久米島町	3 ⑤	観光地等環境美化強化事業	R5 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている広場等の環境美化作業を行う。	観光客に対してアンケートを行い、「魅力的な観光地として景観形成が図られたか」に対して思うと回答した割合が80%以上	観光客に対してアンケートを行い、「魅力的な観光地として景観形成が図られたか」に対して思うと回答した割合 85.7%	◎
37 久米島町	3 ⑥	アウトドアツーリズム展開促進事業	R5 ～ R6	新たな旅のスタイルとして注目されるアウトドアツーリズムについて、奥武島キャンプ場を拠点に商品化及び販売促進を行い、久米島観光における新たな付加価値の創出と消費拡大を図る。	奥武島キャンプ場の利用者数 R5:1,000人	奥武島キャンプ場の利用者数 R5:1,399人	◎
37 久米島町	3 ⑦	離島住民航空運賃負担軽減事業	R5 ～ R5	久米島町民にとって生活路線として必要不可欠である那覇～久米島を結ぶ航空路の運賃が令和5年4月に値上げされることから、激変緩和措置として半年間限定で運賃低減を行い、急激な住民負担の増を抑制することで、定住環境の整備を図る。	負担軽減された離島住民の利用者数: 40,000人以上	負担軽減された離島住民の利用者数:37,887人	○
37 久米島町	3 ⑧	持続可能な観光地域づくり戦略検討事業	R5 ～ R5	観光消費額の向上や滞在日数の延長など多彩かつ質の高い観光産業の構築のため、第3次久米島町観光振興基本計画(計画期間:令和6年～令和10年)を策定し、着実かつ計画的に施策を展開する。	第3次久米島町観光振興基本計画の策定完了	第3次久米島町観光振興基本計画の策定完了	◎
37 久米島町	3 ⑨	スポーツコンベンション推進事業	R5 ～ R13	野球場及び多目的運動場の土・芝生等をプロ野球チームに求められる水準に整備することにより、スポーツキャンプ・合宿のより一層の誘致を図る。	スポーツキャンプ、合宿受入件数:10件	スポーツキャンプ、合宿受入件数:8件	○
37 久米島町	4 ①	島外保育士確保対策事業	R3 ～ R13	待機児童の解消に必要な保育士の確保を図るため、島外からの保育士誘致等を行う。	待機児童数 0人/R5.4.1時点	待機児童数 4人/R6.4.1時点	未
37 久米島町	4 ②	自主防災組織強化推進事業	R5 ～ R5	高齢化や人口減少に伴い、車両・消防機械の取扱いが困難となっている遠隔地域に、消防用資機材を整備し、自主防災組織の機能強化を図る。	格納箱・消防用資機材の設置の完了	格納箱・消防用資機材の設置の完了	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
37 久米島町	5 ①	英語指導員配置事業	H24 ～ R13	小中学生の英語への興味・関心を高めるため、小中学校に英語指導員を配置し、外国語授業等の支援を行う。	・管内6小学校の児童が英語に対する興味・関心が高まったか(85%以上)を含め、児童へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・管内2中学校の全国学力学習状況調査における平均正答率の全国との差が-3ポイント	・管内6小学校の児童が英語に対する興味・関心が高まったかアンケート(81%) ・管内2中学校の全国学力学習状況調査における平均正答率の全国との差が2.4ポイント	△
37 久米島町	5 ②	基礎学力向上学習支援員配置事業	H26 ～ R13	児童の学力向上を図るため、小学校に学習指導員を配置し、国語・算数を中心に学習未定着の児童を対象とした学習支援を行う。	・沖縄県達成度調査において、国語・算数で 中学年(3年生・4年生) 県平均+6点以上 高学年(5年生・6年生) 県平均+7点以上	中学年(3年生・4年生) 県平均+8.6点 高学年(5年生・6年生) 県平均+2.1点	△
37 久米島町	5 ③	特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R13	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を各学校に配置する。	・特別支援教育支援員の対応への満足度(89%以上)を含め、対象児童生徒の保護者へのアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	・特別支援教育支援員の対応への満足度対象児童生徒の保護者へのアンケート(78%)	未
37 久米島町	5 ④	児童・生徒各種大会派遣支援事業	H27 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を確保し、生徒に広い視野を持たせるため、課外活動として島外で開催される各種大会・コンクールへ参加する生徒に対し、派遣旅費の支援を行う。	派遣によって生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、大会等に参加した生徒とその保護者に対してアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。	派遣によって生徒の視野が広がったか大会等に参加した生徒とその保護者に対してアンケート(90%)	◎
37 久米島町	5 ⑤	小中アシスト相談員事業	R4 ～ R13	小中アシスト相談員を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校や問題行為の早期対応、改善に取り組み、不登校者数減少を図る。	不登校者数減少率6% 不登校者数計20人 小学校4人(R4年10月時点) 中学校16人(R4年10月時点)	不登校者数減少率6.1% 不登校者数計20人	◎
37 久米島町	5 ⑥	ホームステイ等派遣事業	R5 ～ R13	沖縄県の次世代を担う若者の語学力の向上や異文化理解を目的に、海外ホームステイ、島内在住外国人との交流を通じた英語の実践機会を提供する。	・国際的な視野が広がった生徒の割合:80%以上 ・英語に対する学習意欲向上生徒の割合:85%以上	・国際的な視野が広がった生徒の割合:80% ・英語に対する学習意欲向上生徒の割合:85%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
37 久米島町	5 ⑦	久米島現代版組踊り推進事業	H24 ～ R13	久米島の歴史的遺産を題材に、沖縄に古くから伝わる古典芸能「組踊り」をベースに、琉舞、エイサー、空手、獅子舞、棒術等の民俗芸能の要素を取り入れたミュージカルの現代版組踊りの舞台公演を通して地域の誇りを醸成し、地域活性化を図る。	舞台公演の入場者へのアンケートで、歴史や文化に対する興味関心が高まった割合(80%以上)	舞台公演の入場者へのアンケートで、歴史や文化に対する興味関心が高まった割合(80%)	◎
37 久米島町	5 ⑧	学校ICT活用支援事業	R5 ～ R12	児童生徒の学力、情報活用能力の向上を図るため、教職員によるICT機器を活用した分かりやすい授業が展開できるようICT支援員を配置する。また、授業をさらに効果的なものにするために電子黒板等のICT機器を整備する。	ICT活用により授業がわかりやすかったと答えた児童生徒の割合:80%以上	ICT活用により授業がわかりやすかったと答えた児童生徒の割合:85.4%	◎
38 八重瀬町	1 ①	八重瀬町外国語指導強化事業	H24 ～ R13	小中学校の発達過程に応じ、外国文化への興味関心や英語能力を高め、国際化社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、英語指導助手を配置する。	①小学校 対象児童へのアンケート調査により「英語に対する興味・関心が高まった」の割合:80%以上 ②中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差 平均以上	①小学校英語に対する興味・関心が高まった:76% ②中学校沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差:+2.7ポイント	△
38 八重瀬町	1 ②	八重瀬町ICT支援員配置事業	H24 ～ R13	児童生徒の情報機器操作能力や情報活用能力の向上を図るための支援と併せ、教員による電子黒板等のICT機器を活用した分かりやすい授業が展開できるよう小中学校にICT支援員を配置する。	対象児童生徒へのアンケート調査により「ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか」の割合:80%以上	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか:95.5%	◎
38 八重瀬町	1 ③	八重瀬町学力向上支援事業	H25 ～ R13	学習の遅れがちな児童生徒へ授業中や放課後学習の支援を行い、基礎基本の学力を定着させ学力の向上を図るため、小中学校へ学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 小学校(国語・算数) 平均以上 中学校(国語・数学) +4.0ポイント以上	沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数):+0.6 ・中学校(国語・数学):+10.2	◎
38 八重瀬町	1 ④	八重瀬町特別支援員配置事業	H27 ～ R13	特別な支援を要する児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援員を配置する。	保護者に対するアンケートにより「特別支援員の対応に満足した」と考える割合:80%	対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、「特別支援員の対応に満足したか」:81.1%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
38 八重瀬町	1 ⑤	八重瀬町ICT教育強化事業	H26 ～ R6	校内ネットワークへの接続や学習用端末と連携が可能な電子黒板を導入し主体的な学びの意欲向上及び学びの深化を図るため、町内小中学校にICT機器を整備する。	児童生徒へのアンケートによりICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	児童生徒へのアンケートにより、ICT機器を活用した授業が分かりやすかった:94%	◎
38 八重瀬町	1 ⑥	八重瀬町学力調査等事業	R5 ～ R13	学力調査等を実施することにより、生徒の学力や学習状況を把握し、課題の明確化及び分析、検証することで、学習習慣を確立し、生徒の更なる学力向上に繋げる。	沖縄県学力到達度調査における県と本町との平均正答率の差 ・八重瀬町共通テスト(中学1年～3年)(国語・数学・英語・理科・社会)+3ポイント以上 県内実施市町村の平均と本町との平均正答率の差 ・中学3年生(国語・数学・英語・理科・社会)+3ポイント以上	○沖縄県学力到達度調査における県と本町との平均正答率の差 ・八重瀬町共通テスト(中学1年～3年)(国語・数学・英語・理科・社会):+10ポイント ○県内実施市町村の平均と本町との平均正答率の差 ・中学3年生(国語・数学・英語・理科・社会):+1ポイント	△
38 八重瀬町	1 ⑦	「夢・未来」スポーツレベルアップ事業	H27 ～ R13	八重瀬町民のスポーツへの意識を高めるとともに、沖縄県及び全国レベルの各種競技大会での八重瀬町出身選手(児童生徒)の活躍を支援するため、派遣費の助成やスポーツ教室を開催する。	①スポーツ教室の保護者へのアンケートで、「スポーツへの意識が更に高まったか」の割合:80%以上 ②県外大会派遣費助成の保護者へのアンケートで、「児童生徒が広い視野を持てたか」の割合:80%以上	・スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、「児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったか」:96% ・派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、「児童生徒が広い視野を持てたか」:100%	◎
38 八重瀬町	1 ⑧	八重瀬町国際交流人材育成事業	H24 ～ R13	海外での生活や体験を通して、国際的な視野を持つ人材を育成するため、中学生を海外に派遣する。	保護者へのアンケート実施。「児童生徒の国際的な視野が広がった」の回答率100%	保護者へのアンケート実施。「児童生徒の国際的な視野が広がった」の回答率:100%	◎
38 八重瀬町	1 ⑨	八重瀬町少年少女人材育成交流事業	H26 ～ R13	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外の児童生徒との交流を実施する。	保護者へのアンケート実施。「児童生徒の視野が広がった」の回答率100%	保護者へのアンケート実施。「児童生徒の視野が広がった」の回答率:97%	未
38 八重瀬町	2 ①	八重瀬町イベント事業	H24 ～ R13	伝統芸能の継承と観光客誘致を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントの開催支援を行い、国内外へ情報を発信することで町内への集客を図る。	①青年エイサー祭り 13,000人以上 ②やえせ桜まつり 7,400人上	①青年エイサー祭り:6,500人 ②やえせ桜まつり:23,600人	○
38 八重瀬町	2 ②	八重瀬町観光地美化作業事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じている人の割合:80%	観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じている人の割合:95%	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
38 八重瀬町	2 ③	運動公園施設等整備事業	H24 ～ R13	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。	野球キャンプの受入れ 4件以上 サッカーキャンプの受入れ 4件以上	・'野球キャンプの受入れ：4件 ・サッカーキャンプの受入れ：5件	◎
38 八重瀬町	2 ④	八重瀬町観光プロモーション事業	H26 ～ R13	観光振興を推進するために観光プロモーションの管理業務支援員の配置、観光プロモーションの企画立案及び運営管理を行い、観光客の誘客を図る。	主要観光施設の入域客数 267,000人以上	主要観光施設の入域客数：約158,000人	未
38 八重瀬町	2 ⑤	八重瀬町スポーツ観光交流屋内運動場整備事業	R4 ～ R7	各種スポーツキャンプやスポーツイベント等の誘致強化を図るため、既設体育施設を屋内運動場として機能強化改修整備を行い、スポーツツーリズムの推進を図る。	旧具志頭小学校体育館の屋内運動場リ ニューアル機能強化整備実施設計完了	旧具志頭小学校体育館の屋内運動場リ ニューアル機能強化整備実施設計：完了	◎
38 八重瀬町	2 ⑥	八重瀬町スポーツ観光交流施設活性化事業	R4 ～ R13	Jリーグ規格を満たす練習拠点機能を有するサッカーグラウンド施設において、プロサッカーチームを誘致し、練習拠点として必要な環境整備を行い、サッカーを活用したスポーツツーリズムの推進を図る。	来場者数 4,000人 (県外観光客1,450人)	来場者数：432人	未
38 八重瀬町	2 ⑦	スポーツキャンプ事業	H26 ～ R13	スポーツチームのキャンプを誘致し、観光客を誘致する。	スポーツチームのキャンプ4チーム誘致	スポーツチームのキャンプ誘致：4チーム	◎
38 八重瀬町	3 ①	放課後児童クラブ利用者負担軽減事業	R4 ～ R13	放課後児童児童クラブを利用する非課税、ひとり親世帯に対してひとりにつき月5,000円補助する。	就労できた又は就労を継続できたか、経済的な負担軽減の割合：80%以上	就労できた又は就労を継続できたか、経済的な負担軽減の割合：100%	◎
38 八重瀬町	4 ①	農業用機械施設整備事業	H24 ～ R5	沖縄県の基幹産業であるさとうきび生産が県内でも上位の生産量がある。植替え期の深耕(天地返し)や休耕地の再利用を円滑に行うため、油圧ショベルを整備する。	遊休地の解消や植替え期圃場の深耕(天地返し)を行いさとうきび単収増加を図る。	未実施	未
38 八重瀬町	4 ②	八重瀬町地産地消フェア事業	H26 ～ R13	農作物等や畜産・水産及びそれらを使用した加工品等の情報発信や展示販売等を行うイベントを開催し、農林水産業の振興を図る。	・地産地消フェア来場者数：4100人以上	地産地消フェア来場者数：4,447人	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
38 八重瀬町	5 ①	若い世代からの健康づくり推進事業	R1 ～ R5	実物大のフードモデル(食育SATシステム:体験型栄養教育システム)を活用した栄養相談や食に関する啓発を行い、「食」に対する意識や健康観の向上を図る。	食育SATを体験後、アンケート調査により「食事を改善したいと思った」の割合:80%以上	食育SATを体験後、アンケート調査により「食事を改善したいと思った」の割合:97.5%	◎
38 八重瀬町	6 ①	八重瀬歴史文化継承事業	R4 ～ R13	八重瀬町の歴史・文化の継承を図るため、八重瀬町の歴史・文化に関して調査、資料収集、編纂し、冊子として発刊する。発刊した冊子や調査成果を活用し、企画展を開催する。	企画展の来場者数 100人	企画展の来場者数:292人	◎
38 八重瀬町	6 ②	八重瀬町無形文化財活用推進事業	R4 ～ R6	八重瀬町内の多彩な無形民俗文化財等を教育や観光に広く活用するため、ワークショップ及び鑑賞公演のパッケージ化並びに既存施設の設備強化を行い、新たな文化観光コンテンツを整備する。	・各種団体との協議 ワークショップ及び公演内容の組み立て ・テスト公演による観覧者アンケートを実施 ・施設機能強化工事の完了	・各種団体との協議:実施 ・ワークショップ及び公演内容の組み立て:実施 ・テスト公演による観覧者アンケート:実施 ・施設機能強化工事の完了:工事完了	◎
38 八重瀬町	6 ③	八重瀬町伝承話資料保存継承事業	R5 ～ R8	八重瀬町に伝わる伝承話の保存、継承を図るため、伝承話保存センターに保管されている音源資料総数約2200話を調査、資料収集、整理をする。	伝承話600話のデジタル化	伝承話のデジタル化:600話	◎
38 八重瀬町	7 ①	八重瀬町高齢者等おでかけサポート事業	R4 ～ R6	公共交通の利用が不便な高齢者や交通弱者等の外出支援を行うため、住民ボランティアドライバーによる外出支援の実証運行を行う。	①参加自治会数:7自治会 ②利用人数:月平均25人以上 ③稼働率:40.0%以上	①参加自治会数:5自治会 ②利用人数:月平均27人 ③稼働率:34.5%以上	○
39 多良間村	1 ①	美化緑化推進事業	H25 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を行う。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、本事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	観光地としてふさわしい景観及び道路環境と回答した割合:85%	◎
39 多良間村	1 ②	多良間村の自然を活用した観光コンテンツ開発事業	R3 ～ R5	1人当たりの村民所得が県内でも低位にある多良間村において、滞在型観光を推進し、誘客促進及び島内消費額の増加を図るため、地理的特性や地域資源を生かした、体験型観光コンテンツを開発する。	(1)観光PR動画を作成することによって観光客の増加が見込まれる (2)ガイド・コーディネーターを育成することにより、本村の特有の体験することができる	(1)観光PR動画製作…製作済 (2)教育人材の不足等により事業廃止	○

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
39 多良間村	2 ①	優良繁殖雌牛導入支援事業	H27 ～ R6	生産農家の経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 111%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合：119.3%	◎
39 多良間村	2 ②	地域資源循環活用機械導入事業	R4 ～ R5	本村における農業振興のため堆肥施設に大型機械を導入し、農作物の生産性を高め、農家所得の向上及び資源循環型農業の確立する。	自走式攪拌機の導入 1台	-	繰
39 多良間村	3 ①	児童生徒島外教育諸活動事業	H27 ～ R13	島外で開催される大会に参加するための航空運賃や宿泊費に対して補助金を交付する。	アンケートにより大会を通して、「島内ではできない経験ができた。意識の向上につながった」割合：80%	島内ではできない経験ができた、意識の向上につながったと回答した割合：97%	◎
39 多良間村	3 ②	学力向上推進ALT活用事業	H27 ～ R13	児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、ALTを招聘する。	①小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 ②中学校 英検4級の保有割合：45%以上	①興味・関心が高まったと回答した割合：87% ②：英検4級以上の保有割合：46%	◎
39 多良間村	3 ③	村営学習塾開設事業	H28 ～ R13	児童生徒の学力の向上を図るため、村営学習塾を開講し、国語・算数(数学)・英語を中心とした学習支援を対面で実施する。また、社会情勢を鑑みたと臨機応変に対応できるように、オンライン方式での支援も視野に入れ実施する。	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数) -4.0ポイント以上 ・中学校(国語・数学・英語) -6.5ポイント以上	・小学校(国語・算数) -3.9ポイント ・中学校(国語・数学・英語) -5.5ポイント	◎
39 多良間村	3 ④	多良間村就業意識向上支援事業	H30 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、職業体験等のキャリア教育を社会情勢を鑑みた方法(対面方式とオンライン方式)で行う。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	働くことへの興味・関心が湧いたと回答した割合：87%	◎
39 多良間村	3 ⑤	多良間村自然文化継承事業	H30 ～ R6	多良間村の歴史・文化の継承及びこれらを活用した観光誘客を図るため、ふるさと民俗学習館の郷土資料の修復調査、年中行事の調査記録編集等を行い整理する。	①ふるさと民俗学習館の村民利用者数 127人以上 ②ふるさと民俗学習館の観光客利用者数 309人以上 ③シンポジウム来場者数 60人以上	①：207人 ②：1,073人 ③：60人	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
39 多良間村	3 ⑥	多良間中学校グラウンド舗装工事(外周路)	H29 ～ R5	村民等の交流機会や運動機会の確保を図るため、ジョギングやウォーキングコースとして多良間中学校グラウンドの外周路を全天候型に改修する。	外周路の舗装工事の完了	舗装工事の完了	◎
39 多良間村	3 ⑦	電子黒板整備事業	R5 ～ R5	将来を担う児童生徒の人材育成及び学力の向上を図るため、小中学校に電子黒板を整備し児童生徒の興味関心を引き出し、分かりやすく集中力を高める授業環境を整える。	電子黒板の整備完了	電子黒板の整備完了	◎
39 多良間村	4 ①	多良間村自動車航送負担コスト軽減事業	H27 ～ R13	村民が島外へ移動しやすい環境を構築することで、小規模離島における定住環境の改善を図るため、村民の自動車航送に係る運賃の一部を補助する。	運賃補助によって島外へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	島外へ移動しやすい環境となったと回答した割合：100%	◎
39 多良間村	4 ②	多良間村離島住民交通コスト負担軽減事業	R5 ～ R13	コロナ禍や燃料価格高騰等さまざまな要因により離島の航空運賃が値上がりするため、運賃に対し負担額を交付することにより運賃の低減化を図る。	宮古島⇄多良間島間の航空路を利用する村民(離島カード所持者)への補助適用率：100%	離島カード所持者の補助適用率：100%	◎
39 多良間村	5 ①	多良間村心身障害児等渡航費助成事業	R3 ～ R13	本村では対応できない心身障害及び療育児等が、島外専門医療機関に通院する際の旅費を助成する。	渡航費支援が必要な児童への支援率：100%	渡航費支援が必要な児童への支援率：100%	◎
39 多良間村	6 ①	たらぴん公園整備工事	R4 ～ R5	住民の健康維持や、安心して子育てができる環境づくりの促進のため、運動スペースや遊具を備えた公園を整備する。	大型アスレチック遊具等の設置完了	大型アスレチック遊具等の設置完了	◎
39 多良間村	7 ①	ヤシガニ生息状況調査及び表示板設置事業	R5 ～ R10	ヤシガニ保護のため、現在の多良間島、水納島におけるヤシガニの生息状況を把握し、保全及び今後の持続的な利用に資する	①ヤシガニ生息状況調査…ヤシガニの採取は、繁殖期2回、非繁殖期1回行い150匹を目標とする。 ②注意喚起・啓蒙普及表示板設置…表示板は島内の一周道路沿いに10か所ほど選定して設置する。	①：2,035匹 ②：表示看板の設置数：10か所	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
40 竹富町	1 ①	健康診査用機材搬送事業	H26 ～ R13	島嶼地域において健康診査を受ける機会を確保し、健康診査の受診促進を図るため、検診に必要な検診車両を各島へ海上輸送する。	①特定健診対象者の受診率 60%以上 ②胃がん検診対象者の受診率 10%以上 ③婦人がん(子宮頸がん)検診対象者の受診率 30%以上	①特定健診対象者の受診率 56% ②胃がん検診対象者の受診率 10.5% ③婦人がん(子宮頸がん)検診対象者の受診率 18.4%	○
40 竹富町	1 ②	竹富町民等交通コスト負担軽減事業	H27 ～ R13	町民が島嶼間を移動しやすい環境を整備し、生活の利便性を確保するため、町民等が町内各地点及び石垣市間を移動する際の船賃の一部を補助する。	本事業について、利用者へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	利用者へのアンケートで、利便性が確保されたとの回答：86%	◎
40 竹富町	1 ③	町外保育士等誘致支援事業	R4 ～ R6	保育所の職員不足を解消するため、町外在住で竹富町内へき地保育所への就労を希望する者に対し、渡航費、引っ越し費用の移住費用(実費)を補助する。	待機児童:0名	待機児童:0名	◎
40 竹富町	1 ④	竹富町救急救命搬送拡充事業	R5 ～ R8	島嶼のため医療体制及び救急搬送体制が脆弱であるうえ、世界遺産の登録により観光客が増加している西表島において、救急救命体制の拡充を図るため、民間救急事業者による救急救命士の24時間専任体制を構築し、安心な定住・観光環境を推進する。	・急患搬送の拡充が図られたか(80%以上)を含め、消防団・医療機関へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・西表西部地区における救急搬送要請への対応率 100%	・急患搬送の拡充が図られたとの回答 100% ・西表西部地区における救急搬送要請への対応率 100%	◎
40 竹富町	1 ⑤	祖納上村地区観光路整備事業	R4 ～ R13	西表島祖納地区の通称「上村(ウィムラ)」と呼ばれる一帯の国有地において、地域主導で活用に向けた土地利用計画を進められている。点在している昔ながらの貴重な史跡や文化財を観光資源として活用するため、歴史・文化・自然をめぐりコースの整備、砲台跡の戦争遺跡としての整備及び平和の夕日公園(仮称)の整備を図る。	散策路整備に関する用地補償総合技術業務の完了	未完了	未
40 竹富町	2 ①	竹富町観光誘客・受入対策事業	H24 ～ R13	滞在型・着地型観光および責任ある観光を推進し、観光客の満足度の確保を図るため、竹富町観光に関する情報発信や受入体制強化を行う。	観光客を対象としたアンケート調査を実施し、「非常に満足」(5段階評価の最高評価)と回答した割合(60%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	観光客を対象としたアンケート調査を実施し、「非常に満足」(5段階評価の最高評価)と回答した割合:87.2ポイント	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
40 竹富町	2 ②	竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業	R2 ～ R7	年長者からわらべ歌・方言等地域の無形文化財の資料収集を行い、地域住民の活用や国内外へ情報を公開・発信し、伝統文化の伝承・発信・交流の取組みを行う	町保管等のアナログ資料のデジタル化を行い、公開可能なものについてはHPIにて公開を行う。	デジタル化完了	◎
40 竹富町	2 ③	竹富島ンブル坂、世持御嶽前石畳整備事業	R5 ～ R6	住民や観光客の多くが利用されるンブル坂及び世持御嶽前の道路を通行者の快適性や安全性を確保し安心安全な観光地として景観にふさわしい石畳道路の整備を行う。	石畳整備工事の完了	整備工事の完了	◎
40 竹富町	3 ①	児童生徒派遣費支援事業	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を確保し、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツ・文化活動で島外へ派遣される際の渡航費を補助する。	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、学校教諭・保護者へのアンケートにより、本事業の効果を確認する。	保護者に対するアンケートにより、児童生徒が広い視野を持てたとの回答：100%	◎
40 竹富町	3 ②	外国語指導助手派遣事業	H27 ～ R8	幼稚園児及び小学児童の外国語への興味・関心を高めるため、小学校と幼稚園に英語指導助手を派遣し、外国語のサポートを行う。	幼児児童の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上を含め)、アンケート調査を実施し、本事業のあり方を検証する。	アンケートより、幼児児童の外国語への興味・関心が高まったと回答した割合：91%	◎
40 竹富町	4 ①	竹富町和牛生産推進事業	H24 ～ R13	優良繁殖雌牛の導入(購入費の1/2以内、1頭当たり600千を上限とする。)及び口蹄疫等家畜伝染病の侵入防止策を実施し、本町基幹産業である農業畜産の生産基盤整備、環境整備をすることで生産の振興を図る。	・防疫マット設置6箇所 家畜伝染病等の発生件数0件 ・優良繁殖雌牛導入支援 60万×80頭導入支援	・防疫マット設置6箇所設置 家畜伝染病等の発生件数0件 ・優良繁殖雌牛導入支援43頭導入	○
40 竹富町	4 ②	文化財美化保全事業	H24 ～ R13	・観光地として魅力的な景観形成を図るため、観光スポットとして観光客が訪れる文化財等の美化保全(除草・清掃)を行う。	事業対象の文化財について、観光スポットにふさわしい景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートによる、本事業のあり方を検証する。	本事業について、観光客や地域住民へのアンケート調査を実施し、文化財の保存が図られたとの回答：87%	◎
40 竹富町	4 ③	ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業	H24 ～ R13	世界自然遺産に登録された西表島の貴重な自然生態系の保全、特に国の天然記念物である絶滅危惧種にも指定されたイリオモテヤマネコの生息環境を保全する	・飼い主不明の保護収容数4頭以内 ・飼い猫のその年におけるウイルス検査及びワクチン接種率30%	逸失ペット保護収容個数0頭 飼い猫のその年におけるウイルス検査及びワクチン接種率26.6%	○
41 与那国町	1 ①	地域振興対策事業	H24 ～ R13	「日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会」及び「与那国島一周マラソン大会」への支援を行う。	イベント開催月入域観光客数 カジキ釣り大会:3,000人(7月) 一周マラソン大会:3,600人(11月) 合計:6,600人	カジキ釣り大会開催月(7月)の入域観光客数:3467人 一周マラソン大会開催月(11月)の入域観光客数:3952人 合計:7419人	◎

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
41 与那国町	1 ②	与那国町誘客促進活性化事業	H30 ～ R13	観光PRを行い、与那国町の知名度アップや観光客誘致につなげるとともに、観光客の受入体制の整備・強化を行う	・物産・伝統芸能フェア来場者数 4,000人	与那国島観光・物産と芸能フェア来場者数：12683人	◎
41 与那国町	1 ③	与那国島特産品アピール力強化事業	H25 ～ R13	・与那国島特産品のブランディング向上 ・各事業所の売り上げアップと販路開拓を図る	県内外物産展・フェア・商談会への出展 ・県内3回 ・県外1回	県内外物産展・フェア・商談会への出展 ・県内2回 ・県外1回	○
41 与那国町	2 ①	優良牛繁殖雌牛導入事業	H25 ～ R12	農家の経営の安定化に向けて、町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、優良繁殖雌牛及び妊娠牛導入を支援する。	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 115%以上	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合：125%	◎
41 与那国町	2 ②	与那国町漁業担い手育成プラン実施事業	H26 ～ R8	漁業従事者の維持確保を図るため、漁業の担い手に漁船や漁業設備を貸し付ける団体に対し、漁船等の導入費用の一部を補助する。	・漁業従事者数の維持確保：39人以上	漁業従事者数の維持確保：39人	◎
41 与那国町	2 ③	官民一体型新産業推進基本計画策定事業	R5 ～ R5	官民一体型による新規産業を推進するため、官民連携に係る基本方針と一定の導入基準を設定し円滑な事業実施を図る。	官民一体型新産業推進基本計画書の策定完了	策定完了	◎
41 与那国町	2 ④	与那国島地域デジタル推進事業	R5 ～ R5	与那国町における「地域デジタル推進に向けた調査・分析」業務。	・与那国町「地域デジタル推進に向けた調査・分析」資料の作成	資料の作成	◎
41 与那国町	3 ①	家庭学習支援モデル事業	H24 ～ R13	都市部と学習環境に格差がある本町の小中学生のため、家庭学習支援を目的とした「町営学習塾」を開設する。	沖縄県学力到達度調査において、町と県の平均正答率の差 小学生 国語：+7.5ポイント 以上 算数：+9.8ポイント 以上 中学生 数学：+2.7ポイント 以上 英語：0ポイント 以上	沖縄県学力到達度調査において、町と県の平均正答率の差 小学生 国語：4.2ポイント 算数：4ポイント 中学生 数学：5.2ポイント 英語：1ポイント	△
41 与那国町	3 ②	教育諸活動助成事業	H24 ～ R13	児童生徒に広い視野を持たせるため、島外・県外で開催される大会に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。	全児童生徒が派遣に行く機会をえることで、視野を広げること。児童生徒の保護者に対し、アンケートを取り、検証する。(80%以上)	未実施	未

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「一」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R5成果目標(指標)	R5成果実績(指標)	評価
41 与那国町	3 ③	地域国際交流事業	H24 ～ R13	小学6年生を台湾花蓮縣にあるタバロン小学校へ派遣し、地元小学生との交流授業やICT交流を通じて国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	事業実施後、児童の「国際的な視野の広がり」を感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検討する。	帰国後、児童の国際的な視野がより広まったと感じた保護者の割合：91%	◎
41 与那国町	3 ④	与那国町ジュニア海外語学研修派遣事業	H25 ～ R13	中学生を英語圏の語学研修へ派遣し、ネイティブによる語学学校の授業や海外での生活・体験をとおして、語学力の向上と国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	事後アンケート調査において「国際的な広い視野を持てたかどうか」「語学能力・学習意欲の向上」の肯定回答(80%以上)を含め、保護者・教員へのアンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた保護者の割合：100	◎
41 与那国町	4 ①	安心・安全のまちづくり支援事業	H25 ～ R13	子ども達が安心して遊び学べるよう指導員の確保を行い、幼稚園から学童までを安全かつ効率よく移動するためバスの運行を実施する。また、指導員のスキルアップのため研修等への参加を支援する。	利用者にアンケート実施 子育てに対する負担感の軽減が感じられた(90%以上)	保護者へのアンケートにより、安心・安全に子どもを預けることができ、育児に関する負担感が軽減されたと感じた割合：91%	◎
41 与那国町	5 ①	少子高齢化対策事業	H24 ～ R13	本町唯一の医療機関である与那国診療所には各専門医がいないため、出産または専門医療を受けるためには島外の石垣島へ通院する必要がある。そのため妊娠から出産までに必要となる渡航費等の費用について支援を行う。	・島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合100%	島内での妊産婦定期健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合：100%	◎
41 与那国町	6 ①	公共交通路線支援事業	H26 ～ R13	公共交通路線バス運行費用への支援	利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケートにより、利便性の確保が図られたとの回答：85.7%	◎
41 与那国町	6 ②	与那国町離島住民等交通コスト負担軽減事業	R5 ～ R5	与那国町民等の交通コスト負担低減の実施	離島航空路の渡航運賃低減化を図り、離島航空路線を維持する。	離島航空路の渡航運賃低減化を図り、離島航空路を維持した。	◎
41 与那国町	6 ③	与那国町国境交流結節点化推進事業	R1 ～ R5	新たなボーダーツーリズムの形を創り、八重山圏域における観光の流れを変化させ、観光振興による地域経済の活性化を図るため、与那国町と台湾(花蓮市)を高速船で結ぶ「社会実験」を実施する。	・新たなボーダーツーリズムの形として有効であると回答した人数8割以上(参加者へアンケート実施)(R5) ・与那国-台湾間の就航による交流人口増加数:5,000人(R9)	-	繰